

取扱説明書 - 詳細版 -

液晶プロジェクター

CP-X4022WNJ/CP-WX4022WNJ

(形名: CP-X4022WN/CP-WX4022WN)

応用編

【応用編】

応用編では、詳細な設定や調節を行うメニュー等について説明します。



警告

ご使用前に、必ず本書を全てよくお読みになり、ご理解のうえ正しくお使いください。

もくじ



設定・調節…………… 2 - 2

メニュー機能の使い方……………	2 - 2
簡単メニュー……………	2 - 4
映像メニュー……………	2 - 6
表示メニュー……………	2 - 9
入力メニュー……………	2 - 12
設置メニュー……………	2 - 16
オーディオメニュー……………	2 - 19
スクリーンメニュー……………	2 - 20
その他メニュー……………	2 - 25
ネットワークメニュー……………	2 - 38
セキュリティメニュー……………	2 - 49

簡易スタック…………… 2 - 74

はじめに……………	2 - 74
準備……………	2 - 77
設置……………	2 - 78
スタックメニュー設定……………	2 - 86
ケーブルを接続する……………	2 - 95
メニューを使って入力端子の設定をする……………	2 - 97
スケジュール機能の制限について……………	2 - 102
故障かなと思ったら……………	2 - 104

プレゼンテーションツール…………… 2 - 57

PC レスプレゼンテーション……………	2 - 57
USB ディスプレイ……………	2 - 66

お知らせ

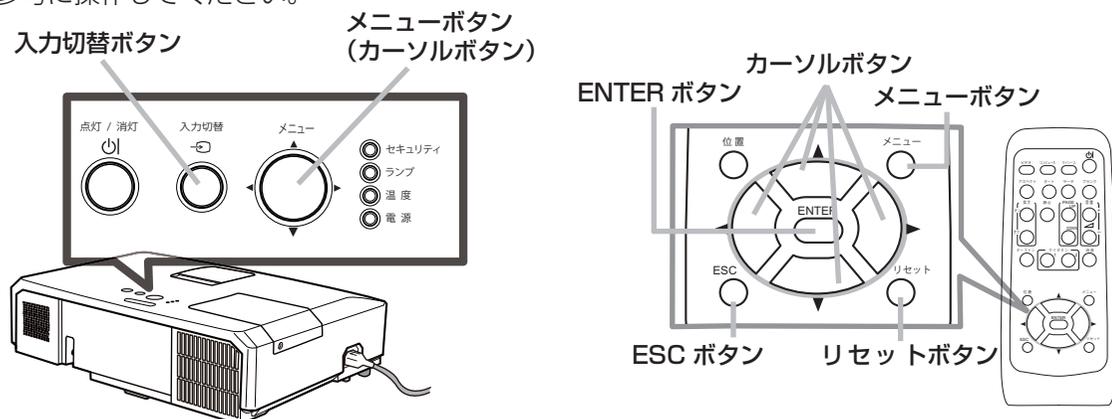
- 本書の内容は、製品の仕様を含め、改良のため予告無く変更することがありますので、ご了承ください。
- 本書の運用結果については責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本書の内容の一部、あるいは全部を無断で複製、転載しないでください。
- 本書に記載している挿絵は、説明のための一例です。お客様のプロジェクターとは若干の相違がある場合があります。

設定・調節

メニュー機能の使い方

詳細な設定や複雑な調節には、メニュー機能をご使用ください。

本機には、よく使われる機能をまとめた「**簡単メニュー**」と、「**詳細メニュー**」があります。詳細メニューは、「映像」「表示」「入力」「設置」「オーディオ」「スクリーン」「その他」「ネットワーク」「セキュリティ」「**簡単メニュー**」の9つの機能別メニューに分かれています。どのメニューも基本操作は同様です。下記をご参考に操作してください。



メニューの表示と操作ボタン

本機のメニュー操作には、主に上図のボタンを使用します。操作パネルの**メニューボタン** (▲/▼/◀/▶) は、各々カーソルボタンとしてご使用いただけます。また、**入力切替ボタン** は多くの場合に **ENTER** ボタンと同様にご使用いただけます。

はじめに操作パネルの**メニューボタン**のいずれか、またはリモコンの**メニューボタン**を押してください。「簡単メニュー」または「詳細メニュー」のどちらか、前回ご使用になっていたほうのメニューが表示されます。電源を入れた後は必ず「簡単メニュー」が表示されます。メニューでは、現在選択されている項目が橙色の反転表示（または枠）でカーソル表示されます。

メニュー操作を終了するには、もう一度リモコンの**メニューボタン**を押すか、「終了」を選んでカーソルボタン◀または **ENTER** ボタンを押します。また、なにも操作しない状態が約30秒間続くと、自動的に終了します。

お知らせ

- メニュー表示中に**位置**ボタンを押すと、カーソルボタン◀/▶/▲/▼でメニューの表示位置を調節することができます。

メニューの操作

■簡単メニューの操作

1. カーソルボタン▲/▼で操作したい項目を選んでください。「詳細メニュー」に切り替えたいときは、「詳細メニュー」を選びます。
2. カーソルボタン◀/▶で、選択した項目の設定、調節および実行することができます。



簡単メニュー

■詳細メニューの操作

1. カーソルボタン▲/▼で操作したい項目を選んでください。「簡単メニュー」に切り替えたいときは、「簡単メニュー」を選びます。
2. カーソルボタン▶または **ENTER** ボタンを押すと、選択カーソルが右側に移ります。操作したい項目をカーソルボタン▲/▼で選択してください。
3. カーソルボタン▶または **ENTER** ボタンを押すと、選択した項目を実行、もしくは操作するためのダイアログやサブメニューが表示されます。画面表示に従って操作してください。



詳細メニュー

お知らせ

- 受信信号によっては、いくつか実行できない機能があります。
- 詳細メニューを操作中に前の表示に戻りたいときには、カーソルボタン◀または **ESC** ボタンを押してください。ただし、いくつかの項目 (例: 言語、音量) はリセットできません。
- 詳細メニューを操作中に前の表示に戻りたいときには、カーソルボタン◀または **ESC** ボタンを押してください。

■メニューやダイアログなどのオンスクリーン表示の単語について



表示	意味
終了	これを選択すると、メニュー操作を終了します。メニューボタンを押すことと同じになります。
戻る	これを選択すると、前のメニューに戻ります。
初期化しない/いいえ	これを選択すると、現在の操作をキャンセルして、前のメニューに戻ります。
OK / はい	これを選択すると、用意された機能を実行するか、次のメニューに移行します。

簡単メニュー

「メニュー機能の使い方」(図2-2,3)に従い、簡単メニューを表示してください。
簡単メニューでは、下表の項目を操作することができます。
カーソルボタン▲/▼で項目を選択し、下表およびメニュー表示に従って操作してください。



設定項目	操作内容																														
アスペクト (画面の縦横比)	カーソルボタン◀/▶で、アスペクト(画面の縦横比)を選択できます。 「表示」メニューの「アスペクト」(図2-9)をご参照ください。																														
オート キーストン	カーソルボタン▶または ENTER ボタンを押すと、垂直キーストン(▽方向の台形歪み)補正を自動調整します。 「設置」メニューの「オートキーストン」(図2-16)をご参照ください。																														
▽ キーストン	カーソルボタン◀/▶で、垂直キーストンの補正量を調節できます。 「設置」メニューの「▽キーストン」(図2-16)をご参照ください。																														
◁ キーストン	カーソルボタン◀/▶で、水平キーストン(◁方向の台形ひずみ)の補正量を調節できます。「設置」メニューの「◁キーストン」(図2-17)をご参照ください。																														
コーナー フィット	カーソルボタン▶または ENTER ボタンを押すと、「キーストン_コーナーフィット」ダイアログを表示し、画面の四隅の位置と四辺のたわみを調節することができます。 「画面のひずみを補正する」(図1-41, 42)をご参照ください。																														
映像モード	<p>カーソルボタン◀/▶で、映像モードを選択できます。 映像モードは、ガンマモードと色温度モードの組み合わせです。下表をご参考に、映像に合わせてお選びください。</p> <p> ノーマル シネマ ↔ ダイナミック ↔ 黒板(黒) ↔ 黒板(緑) ← ↳ DICOM SIM. ↔ フォト ↔ デイタイム ↔ ホワイトボード ↳ </p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>映像モード</th> <th>ガンマ</th> <th>色温度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ノーマル</td> <td>デフォルト-1</td> <td>中</td> </tr> <tr> <td>シネマ</td> <td>デフォルト-2</td> <td>低</td> </tr> <tr> <td>ダイナミック</td> <td>デフォルト-3</td> <td>高</td> </tr> <tr> <td>黒板(黒)</td> <td>デフォルト-4</td> <td>ハイブライト-1</td> </tr> <tr> <td>黒板(緑)</td> <td>デフォルト-4</td> <td>ハイブライト-2</td> </tr> <tr> <td>ホワイトボード</td> <td>デフォルト-5</td> <td>中</td> </tr> <tr> <td>デイタイム</td> <td>デフォルト-6</td> <td>ハイブライト-3</td> </tr> <tr> <td>フォト</td> <td>デフォルト-7</td> <td>ハイブライト-4</td> </tr> <tr> <td>DICOM SIM.</td> <td>デフォルト-8</td> <td>中</td> </tr> </tbody> </table>	映像モード	ガンマ	色温度	ノーマル	デフォルト-1	中	シネマ	デフォルト-2	低	ダイナミック	デフォルト-3	高	黒板(黒)	デフォルト-4	ハイブライト-1	黒板(緑)	デフォルト-4	ハイブライト-2	ホワイトボード	デフォルト-5	中	デイタイム	デフォルト-6	ハイブライト-3	フォト	デフォルト-7	ハイブライト-4	DICOM SIM.	デフォルト-8	中
映像モード	ガンマ	色温度																													
ノーマル	デフォルト-1	中																													
シネマ	デフォルト-2	低																													
ダイナミック	デフォルト-3	高																													
黒板(黒)	デフォルト-4	ハイブライト-1																													
黒板(緑)	デフォルト-4	ハイブライト-2																													
ホワイトボード	デフォルト-5	中																													
デイタイム	デフォルト-6	ハイブライト-3																													
フォト	デフォルト-7	ハイブライト-4																													
DICOM SIM.	デフォルト-8	中																													

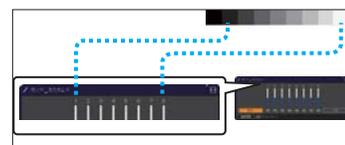
設定項目	操作内容
<p>映像モード （つづき）</p>	<p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ガンマモードと色温度モードの組み合わせが上記の映像モードと異なる場合、メニュー上の表示は「カスタム」と表示されます。「映像」メニューの「ガンマ」（図2-6）および「色温度」（図2-7）をご参照ください。 ●選択した瞬間に、ノイズが発生することがありますが故障ではありません。 ●「DICOM SIM.」は、本機における、DICOM[®] (Digital Imaging and Communication in Medicine) 近似表示モードです。このモードはDICOM規格での規定に近似して表示します。本機は医療用機器ではなく、また、DICOM規格に準拠していませんので、実際の診断などの医療行為にはご利用頂けません。
<p>エコモード</p>	<p>カーソルボタン◀ / ▶で、本機使用中のエコモードを選択できます。「設置」メニューの「エコモード」（図2-17）をご参照ください。</p>
<p>設置方法</p>	<p>カーソルボタン◀ / ▶で、映像を上下左右に反転させることができます。「設置」メニューの「設置方法」（図2-18）をご参照ください。</p>
<p>初期化</p>	<p>「簡単メニュー」の設定を一括して初期化できます。カーソルボタン▶または ENTER ボタンを押すと、確認のためのダイアログが表示されます。</p> <p>初期化しない → OK</p> <p>初期化を実行するときは、カーソルボタン▶を押して「OK」を選択してください。</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ●「フィルター時間」と「表示言語」は初期化されません。
<p>フィルター時間</p>	<p>メニューに表示されている数字は、エアーフィルターの使用時間です。カーソルボタン▶または ENTER ボタンを押すと、フィルター時間初期化確認のためのダイアログが表示されます。フィルター時間の初期化については、「その他」メニューの「フィルター時間」（図2-27）をご参照ください。</p>
<p>表示言語</p>	<p>カーソルボタン◀ / ▶で、メニューなどのオンスクリーン表示の表示言語を選択できます。「スクリーン」メニューの「表示言語」（図2-20）をご参照ください。</p>
<p>詳細メニュー</p>	<p>この機能は、「詳細メニュー」を選択し、カーソルボタン▶または ENTER ボタンを押した時点で実行されます。カーソルボタン▶または ENTER ボタンを押すと、「簡単メニュー」を「詳細メニュー」（「映像」、「表示」、「入力」、「設置」、「オーディオ」、「スクリーン」、「その他」、「ネットワーク」、「セキュリティ」メニュー）に切り替えられます。「詳細メニュー」には、より多彩な機能を備えております。お好みに合わせた調節や設定にして、ご活用ください。（図2-6 ~ 56）</p>
<p>終了</p>	<p>カーソルボタン◀または ENTER ボタンを押すと、操作を終了し、メニューを閉じます。</p>

映像メニュー

「映像」メニューでは下表の項目を操作することができます。
 カーソルボタン▲/▼で項目を選択し、カーソルボタン▶または
ENTER ボタンを押すと、操作を開始または実行できます。
 下表およびメニュー表示に従って操作してください。



設定項目	操作内容
明るさ	カーソルボタン◀ / ▶で、映像の明るさを調節できます。 暗く ↔ 明るく
コントラスト	カーソルボタン◀ / ▶で、コントラストを調節できます。 弱く ↔ 強く
ガンマ	<p>カーソルボタン▲ / ▼で、ガンマモードを選択できます。</p> <p>ガンマのカスタムモード調節手順</p> <p>カスタムモード（“カスタム” のつくモード）を選択し、カーソルボタン▶または ENTER ボタンを押すと、調節メニューが表示されます。この機能を使うと、特定の階調の明るさを変更できます。カーソルボタン◀ / ▶で調節したい項目を選択し、カーソルボタン▲ / ▼でレベルを調節してください。カスタムモード調整メニューを表示している間に ENTER ボタンまたは入力切替ボタンを押すと、右図のようなテストパターンが表示されます。テストパターンは ENTER ボタンを押すたび以下のように変更できます。</p> <p style="text-align: center;"> パターンなし → グレイスケール (9 ステップ) ↘ ↙ ランプ波形 ← グレイスケール (15 ステップ) </p> <p>お好みのパターンをお選びになり、これを参考に調節してください。</p> <p>8つの調節バーは、テストパターン (9 ステップ) の最も暗い階調 (左端) を除く 8つの階調に対応しています。例えばテストパターン上の左から 2 番目の階調を調節したい場合、それに対応する「1」の調節バーを使用します。テストパターン左端の最も暗い階調は調節できません。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>お知らせ</p> <p>●調節した瞬間にノイズが発生することがありますが故障ではありません。</p> </div>



設定項目	操作内容
色温度	<p>カーソルボタン▲ / ▼で、色温度を設定するための色温度モードを切り替えられます。色温度モードは、色温度を設定／調節するためのモードです。</p> <p>色温度のカスタムモード調節手順</p> <p>カスタムモード（“カスタム” のつく各モード）を選択し、カーソルボタン▶または ENTER ボタンを押すと、選択したモードのオフセットとゲインを調節するメニューが表示されます。</p>  <p>この調節機能を使うと、オフセット調節は、テストパターンの全階調の色温度を変更できます。またゲイン調節は、主にテストパターンの明るい階調の色温度を変更できます。</p> <p>カーソルボタン◀ / ▶で各色のオフセットまたはゲインを選び、カーソルボタン▲ / ▼でレベルを調節してください。</p> <p>カスタムモード調節メニューを表示している間に ENTER ボタンを押すと、右図のようなテストパターンが表示されます。テストパターンは ENTER ボタンを押すたびに以下のように変更できます。</p> <p>パターンなし → グレイスケール（9 ステップ）↵ ↑ ランプ波形 ← グレイスケール（15 ステップ）</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ●調節した瞬間にノイズが発生することがありますが故障ではありません。
色の濃さ	<p>カーソルボタン◀ / ▶で、色の濃さを調節できます。</p> <p>淡く ↔ 濃く</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ●この項目はビデオ信号、S-ビデオ信号、コンポーネントビデオ信号でのみ選択できます。 ●HDMI 信号は「入力」メニューの「HDMI フォーマット」（図2-13）を「VIDEO」に設定している場合に有効となります。もしくはHDMI フォーマットを「オート」に設定し、本機がフォーマットを「VIDEO」と認識した場合に有効となります。
色あい	<p>カーソルボタン◀ / ▶で、色合いを調節できます。</p> <p>赤っぽく ↔ 緑っぽく</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ●この項目はビデオ信号、S-ビデオ信号、コンポーネントビデオ信号でのみ選択できます。 ●HDMI 信号は「入力」メニューの「HDMI フォーマット」（図2-13）を「VIDEO」に設定している場合に有効となります。もしくはHDMI フォーマットを「オート」に設定し、本機がフォーマットを「VIDEO」と認識した場合に有効となります。

表示メニュー

「表示」メニューでは下表の項目を操作することができます。
 カーソルボタン▲/▼で項目を選択し、カーソルボタン▶または
ENTER ボタンを押すと、操作を開始または実行できます。下表およ
 びメニュー表示に従って操作してください。



設定項目	操作内容
アスペクト (画面の縦横比)	<p>カーソルボタン▲/▼で、アスペクト(画面の縦横比)を選択できます。</p> <p style="text-align: right;"><CP-X4022WNJ></p> <p>■コンピュータ信号を受信時 ノーマル↔ 4:3 ↔ 16:9 ↔ 16:10</p> <p>■HDMI 信号を受信時 ノーマル↔ 4:3 ↔ 16:9 ↔ 16:10 ↔ 14:9</p> <p>■ビデオ信号、S-ビデオ信号、コンポーネントビデオ信号を受信時 4:3 ↔ 16:9 ↔ 14:9</p> <p>■信号の入力がないとき、もしくはLAN、USB TYPE A、USB TYPE Bの信号 を表示しているとき 4:3 (固定)</p> <p style="text-align: right;"><CP-WX4022WNJ></p> <p>■コンピュータ信号を受信時 ノーマル↔ 4:3 ↔ 16:9 ↔ 16:10 ↔リアル</p> <p>■HDMI 信号を受信時 ノーマル↔ 4:3 ↔ 16:9 ↔ 16:10 ↔ 14:9 ↔リアル</p> <p>■ビデオ信号、S-ビデオ信号、コンポーネントビデオ信号を受信時 4:3 ↔ 16:9 ↔ 16:10 ↔ 14:9 ↔リアル</p> <p>■信号の入力がないとき、もしくはLAN、USB TYPE A、USB TYPE Bの信号 をしてしているとき 16:10 (固定)</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 「ノーマル」は入力信号そのままの縦横比です。
オーバースキャン	<p>カーソルボタン◀/▶で、オーバースキャン(表示率)を調節できます。 小さく(画像は大きくなります) ↔ 大きく(画像は小さくなります)</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● この項目はビデオ信号、S-ビデオ信号、コンポーネントビデオ信号で選択できます。 ● HDMI 信号は「入力」メニューの「HDMI フォーマット」(2-13)を「VIDEO」に設定している場合に有効となります。もしくはHDMI フォーマットを「オート」に設定し、本機がフォーマットを「VIDEO」と認識した場合に有効となります。 ● 表示率を大きくしすぎると、画面のふちにノイズが現れる場合があります。この場合には表示率を小さくしてください。

表示メニュー（つづき）

設定項目	操作内容
垂直位置	<p>カーソルボタン◀ / ▶で、画面の位置を上下に調節できます。 下へ ↔ 上へ</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 位置を動かしすぎると、画像のふちにノイズが現れることがあります。このような場合には、リセットボタンを押して、「垂直位置」を初期設定に戻してください。 ● ビデオ信号、S-ビデオ信号を受信しているときの調節範囲は、「オーバースキャン」(2-9)の設定に依存します。「オーバースキャン」が10に設定されている場合は、調節できません。 ● LAN 信号、USB TYPE A 信号、USB TYPE B 信号、HDMI 信号を受信している時は、調節できません。
水平位置	<p>カーソルボタン◀ / ▶で、画面の位置を左右に調節できます。 右へ ↔ 左へ</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 位置を動かし過ぎると画面のふちにノイズが現れることがあります。このような場合には、リセットボタンを押して、「水平位置」を初期設定に戻してください。 ● ビデオ信号、S-ビデオ信号を受信しているときの調節範囲は、「オーバースキャン」(2-9)の設定に依存します。「オーバースキャン」が10に設定されている場合、調節できません。 ● LAN 信号、USB TYPE A 信号、USB TYPE B 信号、HDMI 信号を受信している時は、調節できません。
クロック位相	<p>カーソルボタン◀ / ▶で、クロック位相を調節し、画面のちらつきを低減できます。 右へ ↔ 左へ</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● コンピュータ信号、コンポーネントビデオ信号を受信しているときのみ、調節が可能です。 ● LAN 信号、USB TYPE A 信号、USB TYPE B 信号、HDMI 信号を受信している時は、調節できません。
水平サイズ	<p>カーソルボタン◀ / ▶で、画面の横幅を調節できます。 小さく ↔ 大きく</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● コンピュータ信号を受信しているときのみ調節が可能です。 ● 大きくしすぎたり小さくしすぎたりすると、映像が正しく表示されない場合があります。このような場合には、リセットボタンを押して「水平サイズ」を初期設定に戻してください。 ● 調整時に映像が劣化して見える場合がありますが、故障ではありません。 ● LAN 信号、USB TYPE A 信号、USB TYPE B 信号、HDMI 信号を受信している時は、調節できません。

設定項目	操作内容
オートアジャスト 実行	<p>カーソルボタン▶または ENTER ボタンを押すと、画面の自動調整を実行できます。</p> <p>■コンピュータ信号を受信している場合 「垂直位置」(M2-10)、「水平位置」(M2-10)、「クロック位相」(M2-10)が自動的に調整されます。コンピュータで、アプリケーションのウィンドウを最大化表示して実行してください。また、暗い映像では正しく調整されない場合がありますので、明るい映像を表示して実行してください。</p> <p>■ビデオ信号、S-ビデオ信号を受信している場合 「入力」メニューの「ビデオフォーマット」(M2-13)が「オート」に設定されていると、受信している信号に最適な信号方式が自動的に選択されます。「垂直位置」「水平位置」が自動的に初期設定に戻ります。</p> <p>■コンポーネントビデオ信号を受信している場合 「垂直位置」、「水平位置」が自動的に初期設定に戻ります。「クロック位相」が自動的に調節されます。</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ●自動調整には 10 秒程度の時間がかかることがあります。また、入力信号によっては正しく調整できないことがあります。 ●ビデオ信号を受信している時に画面の自動調整を実行すると、画面の端に線などが映る場合があります。 ●コンピュータ信号を受信している時に画面の自動調整を実行すると、コンピュータのモデルによっては画面の縁に黒いフレームが映る場合があります。 ●「その他」メニューの「特別な設定」－「オートアジャスト」(M2-30)で、「詳細」または「無効」が設定されていると、自動調整される項目が変わります。

設定項目	操作内容
<p>COMPONENT</p>	<p>カーソルボタン▲/▼で、COMPONENT 端子の機能を切り替えることができます。</p> <p>COMPONENT ↔ SCART RGB</p> <p>「SCART RGB」を選択すると、COMPONENT 端子は RGB 信号の入力端子として、また VIDEO 端子が同期信号の入力端子として機能します。本機に SCART RGB 信号を入力するには SCART アダプターか SCART ケーブルが必要です。詳しくは、販売店にお問い合わせください。</p>
<p>ビデオ フォーマット</p>	<p>S-VIDEO 端子と VIDEO 端子から受信する映像信号の、ビデオフォーマット（信号方式）を設定できます。</p> <p>(1) カーソルボタン▲/▼で、設定する入力端子を選択します。</p>  <p>(2) カーソルボタン◀/▶で、選択した端子から受信する映像信号のビデオフォーマットを選択してください。</p> <p>オート ↔ NTSC ↔ PAL ↔ SECAM ↓ ↓ N-PAL ↔ M-PAL ↔ NTSC 4.43</p> <p>「オート」を選択すると、入力信号のビデオフォーマットが自動的に選択されます。</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ●この機能は、VIDEO 端子、S-VIDEO 端子からの映像信号を受信しているときのみ動作します。 ●入力信号によっては正しく機能しない場合があります。画像が不安定な場合（画像が乱れる、色がつかないなど）には、オート以外で、入力信号に合った信号モードを選択してください。 ●「オート」の実行には 10 秒程度の時間がかかる場合があります。
<p>HDMI フォーマット</p>	<p>HDMI 端子から受信する映像信号のデジタルフォーマットが設定できます。カーソルボタン▲/▼で、選択した端子から受信する映像信号のビデオフォーマットを選択してください。</p> <p>オート ↔ VIDEO ↔ COMPUTER</p>  <ul style="list-style-type: none"> ■オート：自動的にフォーマット判定 ■VIDEO：DVD 信号として映像処理を行います。 ■COMPUTER：コンピュータ信号として映像処理を行います。 <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ●「COMPUTER」を選択しているときは「色の濃さ」、「色合い」、「オーバースキャン」の調節はできません。

入力メニュー（つづき）

設定項目	操作内容
HDMI レンジ	<p>HDMI 端子から受信する映像信号のデジタル信号モードを選択できます。カーソルボタン▲ / ▼で、デジタル信号モードを選択します。</p> <p>オート ↔ ノーマル ↔ 拡張</p>  <p>映像のコントラストが強すぎたり弱すぎたりするときに、この設定を切り替えると改善される場合があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 「オート」：自動的に入力信号レベルに合わせます。 ■ 「ノーマル」：DVD 信号レベル（16-235）に合わせます。 ■ 「拡張」：コンピュータ信号レベル（0-255）に合わせます。
COMPUTER- イン	<p>COMPUTER IN1 と COMPUTER IN2 端子から入力される映像信号（コンピュータ信号）の、信号受信モードを設定できます。</p> <p>((1) カーソルボタン▲ / ▼で、COMPUTER IN 端子を選択します。 (2) カーソルボタン◀ / ▶で、映像信号を選択してください。</p> <p>オート ↔ SYNC ON G オフ</p>  <p>「オート」モードに設定すると、その端子からの SYNC. ON G 信号、およびコンポーネントビデオ信号を受信できるようになります。COMPUTER IN 端子へのコンポーネントビデオ信号入力の接続については、(4-4, 5) を参照してください。</p> <p>「オート」モードで映像が正しく表示されない、または正常な入力信号が検出されない場合には、「SYNC ON G オフ」モードに設定してください。</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 正常な入力信号が検出されないときに「SYNC ON G オフ」モードに設定する場合は、一旦信号ケーブルを外して無信号の状態にし、「SYNC ON G オフ」に設定してから、信号を再入力してください。
フレームロック	<p>各端子から入力される映像信号の、フレームロック機能の有効 / 無効が設定できます。</p> <p>(1) カーソルボタン▲ / ▼で、設定する入力端子を選択します。 (2) カーソルボタン◀ / ▶で、フレームロック機能の有効 / 無効を選択してください。</p> <p>有効 ↔ 無効</p> <p>フレームロック機能は、動画をよりスムーズに表示する為の機能です。</p>  <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● この機能は、垂直周波数が 49 ~ 51Hz と 59 ~ 61Hz の信号を受信しているときのみ有効です。 ● この機能により画質が劣化することがあります。この場合には「無効」にしてください。

設定項目	操作内容
<p>解像度</p>	<p>COMPUTER IN1 と COMPUTER IN2 端子から入力される映像信号の解像度を設定できます。</p> <p>カーソルボタン▲ / ▼で設定したい解像度を選択します。</p> <p>■ 「オート」： 入力信号に適切な解像度が自動的に設定されます。</p> <p>■ 「標準」： 設定された解像度に合わせて「水平位置」、「垂直位置」、「クロック位相」、「水平サイズ」が自動的に調整されます。</p> <p>■ 「カスタム」： 「カスタム」を選択すると、「解像度_カスタム」設定ダイアログが表示されます。カーソルボタンの◀ / ▶でカーソルを移動させながら、カーソルボタン▲ / ▼で、「水平」と「垂直」の解像度を入力してください。</p> <p>入力が終わりましたら、カーソルを「OK」に置き、カーソルボタン▶または ENTER ボタンを押してください。「解像度設定を変更しますか？」というメッセージが表示されます。変更した設定を保存するには、▶ボタンを押してください。設定された解像度に合わせて「水平位置」、「垂直位置」、「クロック位相」、「水平サイズ」が自動的に調整されます。</p> <p>設定を保存せずに以前の解像度に戻る場合は、カーソルを「取消」に置き、カーソルボタン◀または ENTER ボタンを押してください。設定は変更されず、「解像度」メニューに戻ります。</p> <p>お知らせ</p> <p>●すべての解像度が保証されているわけではありません、信号によっては正しく動作しない場合があります。</p> <div data-bbox="953 347 1282 589" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="1001 637 1241 743" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="953 821 1282 917" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="1008 1043 1241 1120" data-label="Image"> </div>

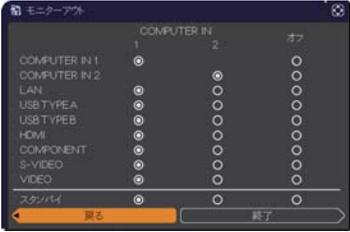
設置メニュー

「設置」メニューでは、下表の項目を操作することができます。カーソルボタン▲/▼で項目を選択し、カーソルボタン▶または ENTER ボタンを押すと、操作を開始または実行できます。下表およびメニュー表示に従って操作してください。



設定項目	操作内容
オートキーストン	<p>この機能は、「オートキーストン」を選択し、カーソルボタン▶または ENTER ボタンを押した時点で実行されます。</p> <p>カーソルボタン▶を押すと、垂直キーストン（垂直方向の台形歪み）補正の自動調整が一回動作します。本機の傾きを変えた場合は、再度「オートキーストン」を実行してください。</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ●調整範囲は入力信号によって異なります。また、入力信号によっては正しく動作しないことがあります。 ●「設置方法」(図2-18)が「前面投射 / 机上」以外に設定されているときなど、スクリーンが傾いていたり、本機を下向きに投映させたりしている場合は正しく補正できないことがあります。 ●この機能は、できるだけズーム調節を WIDE(大きく表示)に調節してお使いください。ズーム調節が TELE(小さく表示)側に調節されていると、過補正となることがあります。 ●本機がほぼ水平(前後方向に約±4°以下)に設置されているときには、この機能は動作しません。 ●本機が約±40°以上に傾いて設置されているときには、この機能は動作しません。 ●この項目は、「セキュリティ」メニューの「状態監視」(図2-52, 53)を「有効」に設定している場合、または「コーナーフィット」(図2-4, 17)により画面が調節されている場合は選択できません。
▽キーストン	<p>カーソルボタン◀/▶で、垂直キーストン(垂直方向の台形歪み)の補正量を調節できます。</p> <p>画像の下側を小さく ↔ 画像の上側を小さく</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ●キーストン補正の調節範囲は、入力信号によって異なります。また、入力信号によっては正しく動作しないことがあります。 ●この項目は、「セキュリティ」メニューの「状態監視」(図2-52, 53)を「有効」に設定している場合、または「コーナーフィット」(図2-4, 17)により画面が調節されている場合は選択できません。

設置メニュー（つづき）

設定項目	操作内容
<p>設置方法</p>	<p>カーソルボタン▲ / ▼で、画面の設置方法を選択できます。</p> <div style="text-align: center;">  </div> <p>例</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 「セキュリティ」メニューの「状態監視」(図2-52, 53)を「有効」に設定している状態で設置方法を変更し、電源を完全に切ってから再度電源を入れると、状態監視アラームが表示されます。
<p>スタンバイモード</p>	<p>カーソルボタン▲ / ▼で、本機がスタンバイ状態のときの消費電力モードを選択できます。</p> <p>通常 ↔ 省電力</p> <p>「省電力」を選択すると、消費電力を下げることはできますが、スタンバイ時の機能が以下のように制限されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● MONITOR OUT 端子から信号は出力されません。 ● RS-232C 通信はパワーオンおよびスタンバイモード切替以外は無効になります。 ● 「オーディオ」メニューの「音声入力設定」(図2-19)の設定に関わらず、AUDIO OUT 端子から信号が出力されなくなります。 ● プロジェクターの「スタンバイモード」の設定が「省電力」に設定されていると、プロジェクターがスタンバイ状態の間は USB からの通電ができなくなります。 ● 省電力を選択すると、スタンバイ時のクローニングロード機能が動作しません。
<p>モニターアウト</p>	<p>本機の画面に表示する映像信号と MONITOR OUT 端子から出力される映像信号の組み合わせを設定できます。</p> <p>(1) カーソルボタン▲ / ▼で、表示中の出力信号を設定する、映像信号の入力端子を選択してください。本機がスタンバイ状態であるときに出力される映像信号を設定するには、「スタンバイ」を選択してください。「スタンバイ」は、「スタンバイモード」(図 上記)の設定別(「通常」と「省電力」)に設定できます。</p> <div style="text-align: right;">  </div> <p>(2) カーソルボタン◀ / ▶で、COMPUTER IN 端子を選択してください。</p> <p>COMPUTER IN ↔ オフ</p> <p>「オフ」を設定すると、その端子からの映像信号を表示中は、MONITOR OUT 端子から映像信号が出力されません。</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● MONITOR OUT 端子から出力される信号は、COMPUTER IN 端子に入力された映像信号のみです。

オーディオメニュー

「オーディオ」メニューでは下表の項目を操作することができます。カーソルボタン▲/▼で項目を選択し、カーソルボタン▶または ENTER ボタンを押すと、操作を開始または実行できます。下表およびメニュー表示に従って操作してください。



設定項目	操作内容								
音量	カーソルボタン◀/▶で、音量を調節できます。 小さく(−側) ↔ 大きく(+側)								
スピーカー	カーソルボタン▲/▼で、内蔵スピーカーの有効/無効を選択できます。 オン ↔ オフ 無効が選択されているときは、内蔵スピーカーから音声が出力されません。								
音声入力設定	<p>(1) で選択した入力端子からの映像信号が表示されているあいだ、(2) で選択した入力端子からの音声信号が本機の内蔵スピーカーと AUDIO OUT 端子の両方から出力されます。ただし、スピーカーがオフに設定されている場合は内蔵スピーカーは動作しません。</p> <p>(1) カーソルボタン▲/▼で、映像の入力端子を選択してください。本機がスタンバイ状態のときの音声出力を選択するには、「スタンバイ」を選択してください。</p> <p>(2) カーソルボタン◀/▶で、音声入力端子または消音のアイコンを選択してください。</p> <p>アイコンは以下を示します。</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">No.1: AUDIO IN1 端子</td> <td style="width: 50%;">No.2: AUDIO IN2 端子</td> </tr> <tr> <td>No.3: AUDIO IN3 端子</td> <td>No.4: LAN 端子</td> </tr> <tr> <td>No.5: USB TYPE A 端子</td> <td>No.6: USB TYPE B 端子</td> </tr> <tr> <td>No.7: HDMI 端子</td> <td>⊗: 消音</td> </tr> </table> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● No.4 から 7 の端子からの音声は、各(映像)端子にのみ選択できます。 ● 消音「⊗」を選んだ場合は、自動的に C.C. 機能が有効となり、C.C. の入力信号を受信します。なお、この機能は、NTSC 方式のビデオ信号、S-ビデオ信号または COMPONENT、COMPUTER IN1、COMPUTER IN2 に入力される 480 @ 60 を受信すると、自動的に C.C. 機能が有効になります。 	No.1: AUDIO IN1 端子	No.2: AUDIO IN2 端子	No.3: AUDIO IN3 端子	No.4: LAN 端子	No.5: USB TYPE A 端子	No.6: USB TYPE B 端子	No.7: HDMI 端子	⊗: 消音
No.1: AUDIO IN1 端子	No.2: AUDIO IN2 端子								
No.3: AUDIO IN3 端子	No.4: LAN 端子								
No.5: USB TYPE A 端子	No.6: USB TYPE B 端子								
No.7: HDMI 端子	⊗: 消音								
マイクレベル	カーソルボタン▲/▼で、MIC 端子に接続するマイクの種類に合わせて、マイク音声の入力レベルを切り替えることができます。 高 ↔ 低 アンプ内蔵マイクを接続する場合は、「高」を選択してください。								
マイク音量	カーソルボタン◀/▶で、マイクの音量を調節できます。 小さく(−側) ↔ 大きく(+側)								

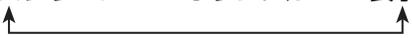
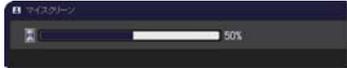


スクリーンメニュー

「スクリーン」メニューでは下表の項目を操作することができます。カーソルボタン▲/▼で項目を選択し、カーソルボタン▶またはENTER ボタンを押すと、操作を開始または実行できます。下表およびメニュー表示に従って操作してください。



設定項目	操作内容
表示言語	カーソルボタン▲/▼/◀/▶で、メニュー表示言語を選択できます。選択した表示言語を適用するには、 ENTER または 入力切替 ボタンを押してください。
メニュー位置	カーソルボタン▲/▼/◀/▶で、メニュー位置を調節できます。操作を終了するには、リモコンの メニュー ボタンを押すか、約 10 秒間操作しないと終了します。
ブランク	<p>カーソルボタン▲/▼で、ブランク画面を選択できます。 「ブランク画面」はリモコンのブランクボタンを押したときに投映される映像です。</p> <p style="text-align: center;"> マイスクリーン ↔ オリジナル ↔ 青 ↔ 白 ↔ 黒 </p> <p>■「マイスクリーン」: 「マイスクリーン」(■2-21) で登録したお好みの映像が表示されます。</p> <p>■「オリジナル」: 本機の標準映像が表示されます。投映してご確認ください。</p> <p>■「青、白、黒」: 各色の無地画面が表示されます。</p> <p>お知らせ</p> <p>●本機は、同じ映像を長時間投映し続けると残像が残ることがあります。これを防ぐため、「マイスクリーン」または「オリジナル」は数分でオートブランクの画面に変わります。</p>
オートブランク	<p>カーソルボタン▲/▼で、オートブランク画面を選択できます。</p> <p style="text-align: center;"> 青 ↔ 白 ↔ 黒 </p> <p>お知らせ</p> <p>●本機は、同じ映像を長時間投映し続けると残像が残ることがあります。これを防ぐため、以下のいずれかの状態になると数分でオートブランクで設定した画面に変わります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「マイスクリーン」または「オリジナル」がブランク画面に設定されているとき ・「初期画面」が表示されているとき

設定項目	操作内容
初期画面	<p>カーソルボタン▲ / ▼で、初期画面を選択できます。「初期画面」は起動時の信号が安定するまでの間や、正常な信号が見つからない(入力信号が無い、入力信号が本機の仕様に合わない、など)ときに投映される映像です。</p> <p style="text-align: center;"> マイスクリーン ↔ オリジナル ↔ 表示しない  </p> <ul style="list-style-type: none"> ■「マイスクリーン」:「マイスクリーン」(☑2-21)で登録したお好みの映像が表示されます。 ■「オリジナル」:本機の標準映像が表示されます。投映してご確認ください。 ■「表示しない」:黒の無地画面が表示されます。 <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ●本機は、同じ映像を長時間投映し続けると残像が残ることがあります。これを防ぐため、初期画面は数分でオートブランク画面に変わります。 ●「セキュリティ」メニューで、「マイスクリーンパスワード」(☑2-50)が有効に設定されているときは、初期画面は「マイスクリーン」に固定されます。
マイスクリーン	<p>ブランク画面や初期画面用に、お好みの画像(マイスクリーン)を登録することができます。あらかじめ、登録したい映像信号を入力・選択してください。</p> <p>「マイスクリーン」を選択してダイアログを表示させ、「マイスクリーン」に登録したい映像が画面に表示されるのを待って ENTER ボタンまたは入力切替ボタンを押してください。</p>   <p>画像の位置を元に戻したい、または前のダイアログに戻りたい場合はリセットボタンを押してください。</p> <p>登録には数分ほどかかります。</p> <p>登録が完了すると、登録した画像と「マイスクリーンの画像登録が完了しました」のメッセージが数秒間表示され、通常画面に戻ります。</p> <p>登録に失敗すると、「画像の取り込みエラーです。もう一度やり直してください。」のメッセージが数秒間表示されて通常画面に戻りますので、最初からやり直してください。</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ●この項目は、「マイスクリーンロック」(☑ 下記)が「有効」に設定されているときは選択できません。 ●この項目は、「セキュリティ」メニューの「マイスクリーンパスワード」(☑2-50)が有効に設定されているときは選択できません。 ●この項目は、HDMI 端子からの映像信号を受信している時は設定できません。
マイスクリーンロック	<p>カーソルボタン▲ / ▼で、マイスクリーンの上書き防止機能を設定できます。</p> <p style="text-align: center;">有効 ↔ 無効</p> <p>「有効」に設定すると、「マイスクリーン」の登録操作を禁止し、登録済みの映像を保護することができます。</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ●この項目は、「セキュリティ」メニューの「マイスクリーンパスワード」(☑2-50)が有効に設定されているときは選択できません。

設定項目	操作内容
<p>メッセージ</p>	<p>カーソルボタン▲／▼で、メッセージモードを選択できます。</p> <p>表示する ↔ 表示しない</p> <p>「表示する」を選択すると、以下のメッセージが表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「オート実行中」 ・「信号が入力されていません」 ・「信号は同期範囲外です」 ・「入力信号が不安定です」 ・「操作できないボタンが入力されました。」 ・「検索中…」 ・「信号検出中…」 ・「エコモード」 ・「オート エコモード」 ・「操作できないボタンが入力されました」 ・ 入力切替による入力信号表示 ・ 「アスペクト」の変更による縦横比の表示 ・ 「マイメモリー」の変更による表示 ・ 「アクティブアイリス」の変更による表示 ・ 「映像モード」の変更による表示 ・ 静止ボタンを押したときの「静止」 ・ 「テンプレート」の変更による表示 <p>お知らせ</p> <p>● 「表示しない」に設定したときは、静止ボタンを押して映像を静止させても「静止」のメッセージが表示されません。映像の静止を解除するには、もう一度静止ボタンを押す必要があります。静止ボタンを押して映像を静止させていることを忘れないようご注意ください。</p>
<p>入力チャンネル名</p>	<p>本機の入力端子に名前（チャンネル名）を割り当てることができます。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) カーソルボタン▲／▼で、チャンネル名を付けたい端子を選択してください。 (2) カーソルボタン▶を押すと、「入力チャンネル名」ダイアログが表示されます。以下の手順にしたがって、チャンネル名を登録してください。 (3) 入力チャンネル名ダイアログで端子に割り当てたいアイコンを選択します。アイコンを選択するとそのアイコンに応じて端子の名称は自動的に切り換えられます。カーソルボタン▶または ENTER ボタンを押すと設定されます。 (4) 端子のアイコンにつける番号を選択します。空白（番号未設定）、1、2、3、4から選択できます。 (5) チャンネル名を決定するには、「OK」にカーソルを合わせ、カーソルボタン▶または ENTER ボタン（または入力切替ボタン）を押します。変更を保存せずに入力を終えるには、「取消」にカーソルを合わせて、カーソルボタン◀または ENTER ボタン（または入力切替ボタン）を押します。端子の名称を変更したい場合は、「名称変更」を選択して、ENTER ボタン（または入力切替ボタン）を押してください。チャンネル名入力ダイアログが表示されます。 

設定項目	操作内容
<p>入力 チャンネル名 (つづき)</p>	<p>(6) チャンネル名を入力する 最初の行（下線付き）に現在のチャンネル名が表示されます。名前をまだ指定していないときは、最初の行は空白です。 カーソルボタン▲ / ▼ / ◀ / ▶で各文字を選択し、ENTER ボタンまたは入力切替ボタンを押して入力してください。リセットボタン（またはカーソルボタン◀と入力切替ボタンの同時押し）で1文字削除することができます。また、「全消去」でENTER ボタンまたは入力切替ボタンを押すと表示されている文字を全て削除することができます。チャンネル名は最大16文字入力できます。</p> <p>(7) チャンネル名を編集する カーソルボタン▲ / ◀ / ▶で、チャンネル名が表示されている行の、変更／削除する文字へカーソルを移動し、ENTER ボタンまたは入力切替ボタンを押して選択します。選択した文字を、チャンネル名を入力するときと同じ手順で編集してください。</p> <p>(8) チャンネル名を保存する チャンネル名の入力・編集が終わったら、一番下の行の「OK」にカーソルを合わせ、カーソルボタン▶（またはENTER ボタン）、または操作パネルの入力切替ボタンを押します。変更を保存せずに入力を終わるには、「取消」にカーソルを合わせて、カーソルボタン◀（またはENTER ボタン）、または入力切替ボタンを押します。</p>
<p>テンプレート</p>	<p>カーソルボタン▲ / ▼で、テンプレート画面のパターンを選択できます。</p> <p>↙→ テストパターン ↔ 点線 1 ↔ 点線 2 ↔ 点線 3 ↘ スタック ↔ 地図 2 ↔ 地図 1 ↔ 円 2 ↔ 円 1 ↔ 点線 4</p> <p>選択したテンプレート画面を表示させるには、カーソルボタン▶またはENTER ボタンを押してください。</p> <p>カーソルボタン◀で表示画面からパターン選択画面に戻ります。</p> <p>テンプレート画面は、テンプレート機能を割り当てられたマイボタン (☐2-28) を押すことによっても表示できます。表示はマイボタンを押す直前に選択していたテンプレート画面となります。</p> <p>「地図 1」および「地図 2」では、地図を水平にスクロールしたり、上下をさかさまにすることができます。「地図 1」または「地図 2」を表示中にリセットボタンを3秒間以上押してください。操作のガイダンスが表示されます。ガイダンスには、地図表示の以下の機能のボタン操作を示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 北半球を上にして表示 カーソルボタン▲を押してから ENTER ボタン（または入力切替ボタン）を押す。 ■ 南半球を上にして表示 カーソルボタン▼を押してから ENTER ボタン（または入力切替ボタン）を押す。 ■ 表示した地図を水平にスクロールする カーソルボタン◀ / ▶を押してから ENTER ボタン（または入力切替ボタン）を押す。



その他メニュー

「その他」メニューでは下表の項目を操作することができます。
カーソルボタン▲ / ▼で項目を選択し、カーソルボタン▶または
ENTER ボタンを押すと操作を開始または実行できます。下表およびメニュー表示に従って操作してください。



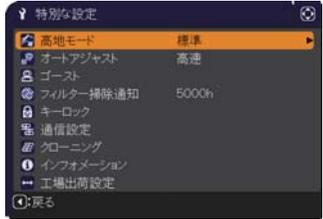
設定項目	操作内容
オートサーチ	<p>カーソルボタン▲ / ▼で、入力信号の自動検索機能の有効 / 無効を設定できます。</p> <p>有効 ↔ 無効</p> <p>「有効」を選択すると、信号を受信できなくなったとき、本機は自動的に他の端子からの入力信号を検索し始めます。正常な入力信号が見つかったら、検索をやめ、その映像が表示されます。</p> <p>検索は、オートサーチ実行前に選択されていた入力端子から、正常な入力信号を検出するまで、次の順序で繰り返し行われます。</p> <p style="text-align: center;"> COMPUTER IN1 → COMPUTER IN2 → LAN → USB TYPE A ↑ ↓ VIDEO ← S-VIDEO ← COMPONENT ← HDMI ← USB TYPE B </p>
オートキーストン	<p>カーソルボタン▲ / ▼で、オートキーストン（台形ひずみ自動補正）機能の有効 / 無効を設定できます。</p> <p>有効 ↔ 無効</p> <p>■「有効」: 本機の傾きを変更した際に、キーストンの補正量を自動的に調整します。</p> <p>■「無効」: オートキーストンは、機能しません。</p> <p>キーストンの自動調整を実行するには、「設置」メニューの「オートキーストン」（図2-16）を使用してください。</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ●天吊りのように、本機を固定して使用する場合はこの機能は「無効」を選択することを推奨します。 ●この機能は「セキュリティ」メニューの「状態監視」（図2-52, 53）を「有効」に設定しているときは選択できません。
ダイレクトパワーオン	<p>カーソルボタン▲ / ▼で、ダイレクトパワーオン機能の有効 / 無効を設定できます。</p> <p>有効 ↔ 無効</p> <p>「有効」に設定すると、本機の使用（ランプ点灯中）に、テーブルタップのスイッチやブレーカーをご使用になって電源を切ったあと、再度電源に接続したときに、点灯 / 消灯 ボタンの操作無しで電源が入り、ランプが自動的に点灯します。</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ●以下のいずれかの手順で電源を切った場合は、電源を接続しても、ランプは自動的に点灯しません。点灯 / 消灯 ボタンを押して点灯してください。 <ul style="list-style-type: none"> ・点灯 / 消灯 ボタンでランプを消灯したとき。 ・オートパワーオフ機能でランプが消灯したとき（図2-26）。 ●ダイレクトパワーオン機能で電源が入ってから約 30 分間、何も信号が入力されなかったり、何も操作をされなかった場合は、オートパワーオフ機能が無効設定になっていても、自動的にランプが消灯します。

その他メニュー（つづき）

設定項目	操作内容
<p>オートパワーオフ</p>	<p>カーソルボタン▲/▼で、入力信号が検出されなくなってから自動的に電源を切る（ランプを消灯し、冷却動作を始める）までの待ち時間を設定できます。</p> <p style="text-align: center;">長く（最長 99 分） ↔ 短く（最短 1 分、0 分：無効）</p> <p>例</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>オートパワーオフ機能は 1 ～ 99 分に設定されているときのみ有効です。0 に設定すると無効になります。</p> <p>有効に設定（待ち時間を設定）すると、入力信号が検出されない場合、設定時間経過後に自動的にランプが消灯します。</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● リモコンまたは操作パネルのボタンを押すか、または、Get コマンド以外のコマンドを送受信すると、その時点から再び設定時間が経過するまでオートパワーオフ機能は動作しません。 ● 手で電源を切る方法については「電源を切る」（図 1-33）をお読みください。
<p>USB TYPE B</p>	<p>カーソルボタン▲/▼で、USB TYPE B 端子の用途を切り替えられます。</p> <p style="text-align: center;">マウス → USB ディスプレイ</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 「マウス」：リモコンをコンピュータの簡易マウス／キーボードとしてご使用いただけます（図 1-29）。 ■ 「USB ディスプレイ」：USB TYPE B 端子はコンピュータからの映像信号入力端子として機能します。 <p>本機の USB TYPE B 端子は、コンピュータの USB(A) 端子と接続してください（図 1-22）。</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● USB TYPE B 端子からの映像を表示するには数秒かかる場合があります。 ● 以下の場合には、USB TYPE B 端子が映像入力端子として使用できないことを通知するメッセージが、ダイアログとともに表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> - USB TYPE B 端子に映像信号が入力されているのに、「マウス」に切り替えようとしている場合。 - この項目が「マウス」に設定されているのに、USB TYPE B 端子を映像信号の入力端子として使用しようとしている場合

設定項目	操作内容
ランプ時間	<p>「その他」メニューに表示されている「ランプ時間」の右側の値は、ランプの使用時間です。初期、または前回ランプ時間を初期化した時から現在までのランプの点灯時間を1時間単位で表示します。</p> <p>「ランプ時間」を選択してカーソルボタン▶またはリセットボタンを押すと、ランプ時間初期化確認ダイアログが表示されます。カーソルボタン▶を押して「OK」を選択すると、ランプ時間を初期化することができます。</p> <p>初期化しない → OK</p> <p>ランプ時間を初期化した後は、メニューの「ランプ時間」の右側の値が「0」になっていることを確認してください。</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ランプを交換したときは必ずランプ時間を初期化してください。ランプの交換に合わせて初期化しないと、実際のランプの使用時間とランプ時間の値が一致しません。 ●ランプ交換の際は必ず「ランプを交換する」(☞1-45, 46)をお読みください。
フィルター時間	<p>「その他」メニューに表示されている「フィルター時間」の右側の値は、エアーフィルターの使用時間です。初期、または前回フィルター時間を初期化した時からの現在までの本機の稼働時間を1時間単位で表示します。</p> <p>「フィルター時間」を選択してカーソルボタン▶またはリセットボタンを押すと、フィルター時間初期化確認ダイアログが表示されます。カーソルボタン▶を押して「OK」を選択すると、フィルター時間を初期化することができます。</p> <p>初期化しない → OK</p> <p>フィルター時間を初期化した後は、メニューの「フィルター時間」の右側の値が「0」になっていることを確認してください。</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ●エアーフィルターを掃除または交換したときは必ずフィルター時間を初期化してください。エアーフィルターの掃除または交換に合わせて初期化しないと、実際の稼働時間とフィルター時間の値が一致せず、また、エアーフィルターの掃除時期をお知らせするメッセージ(☞2-30)が正しく表示されません。 ●エアーフィルターの掃除または交換については、「エアーフィルターを掃除／交換する」(☞1-47, 48)をお読みください。

設定項目	操作内容
マイボタン	<p>リモコン上の2つのマイボタン 1/2に機能を割り当てることができます。</p> <p>(1) カーソルボタン▲ / ▼で、設定するボタン（1 または 2）を選択し、カーソルボタン▶でマイボタンセットアップダイアログを表示します。</p> <p>(2) カーソルボタン▲ / ▼ / ◀ / ▶でマイボタンに割り当てる機能を選択し、ENTER ボタン（または入力切替ボタン）を押してください。</p> <p>◎ COMPUTER IN1： COMPUTER IN1 端子からの信号を選択します。</p> <p>◎ COMPUTER IN2： COMPUTER IN2 端子からの信号を選択します。</p> <p>◎ LAN： LAN 端子からの信号を選択します。</p> <p>◎ USB TYPE A： USB TYPE A 端子からの信号を選択します。</p> <p>◎ USB TYPE B： USB TYPE B 端子からの信号を選択します。</p> <p>◎ HDMI： HDMI 端子からの信号を選択します。</p> <p>◎ COMPONENT： COMPONENT 端子からの信号を選択します。</p> <p>◎ S-VIDEO： S-VIDEO 端子からの信号を選択します。</p> <p>◎ VIDEO： VIDEO 端子からの信号を選択します。</p> <p>◎スライドショー： USB TYPE A からの信号入力が選択され、スライドショーを表示します。</p> <p>◎マイイメージ：マイイメージメニューを表示します。(☞2-46)</p> <p>◎メッセージャー： メッセージャー表示のオン / オフを切替えます。</p> <p>◎インフォメーション： マイボタンを押すたびに、「システム_インフォメーション」ダイアログ（ランプ、エアフィルターの使用時間）、「入力_インフォメーション」ダイアログ（受信中の入力信号情報）(☞2-37)、「無線 LAN インフォメーション」ダイアログ（無線 LAN の設定情報）(☞2-42)、「有線 LAN インフォメーション」ダイアログ（有線 LAN の設定情報）(☞2-44) を表示します。</p> <p>◎オートキーストン：キーストンの自動調整を実行します。(☞2-16)</p> <p>◎マイメモリ：「マイメモリ」で記憶した設定のロード操作を行います。(☞2-8)</p> <p>■マイメモリを設定したときのマイボタン動作</p> <p>設定データがメモリに保存されていれば、操作パネルのマイボタンを押すたびに、順次設定データを読み出し適用します。メモリに設定データが保存されていないときは「保存データ無し」のダイアログが表示されます。操作パネルのマイボタンを押したときの「映像」メニューの設定とロードしようとする設定が異なると、右のようなダイアログが現れます。</p>  <p>現在の設定を変えたくない場合はカーソルボタン▶を押してください。データをロードすると、現在の設定が上書きされます。</p> <p>◎アクティブアイリス：アクティブアイリスモードを変更します。(☞2-8)</p> <p>◎映像モード：映像モードを変更します。(☞2-4)</p> <p>◎フィルターリセット：フィルター時間の初期化確認ダイアログを表示します。(☞2-27)</p> <p>◎テンプレート：テンプレート選択画面の表示 / 非表示を切り替えます。(☞2-23)</p> <p>◎ AV ミュート：映像と音声のオン / オフを切り替えます。</p> <p>◎解像度：解像度のメニューの表示 / 非表示を切り替えます。</p> <p>◎マイク音量：マイク音量調節ダイアログを表示します。(☞2-19)</p> <p>◎エコモード：エコモード設定画面の表示 / 非表示を切り替えます。</p> <p>◎セーバーモード：セーバーモード設定画面のオン / オフを切り替えます。</p>

設定項目	操作内容
<p>特別な設定</p>	<p>この項目を選択してカーソルボタン▶またはENTER ボタンを押すと、「特別な設定」メニューが表示されます。カーソルボタン▲/▼で操作したい項目を選択してください。カーソルボタン▶またはENTER ボタンを押すと、その項目のサブメニュー、またはダイアログが表示されます。</p> 
	<p>高地モード カーソルボタン▲/▼で、冷却ファンの回転速度モードを選択できます。</p> <p>高地 ↔ 標準</p> <p>山岳地域などの高地でご使用の場合には、「高地」に設定することをおすすめします。「高地」に設定すると本機のファンの回転速度を上げ、冷却効率を上げることができます。</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ●「高地」ではファンによる騒音が大きくなります。また、高地以外で設定すると、逆に部品（ランプなど）の信頼性に影響を与える恐れがあります。
	<p>オートアジャスト カーソルボタン▲/▼で、画面の自動調整を実行する際に自動的に調整、あるいは初期設定に戻す項目を設定できます。</p> <p>詳細 ↔ 高速 ↔ 無効</p> <p>自動的に調整される項目は、受信中の信号によって異なります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■「詳細」：画面の自動調整を実行すると、各項目が自動的に調整されます。 ■「高速」：画面の自動調整を実行すると、自動的に調整される項目のうち、「水平サイズ」は初期設定に戻り、残りの項目は自動的に調整されます。 ■「無効」：画面の自動調整を実行すると、各項目が初期設定に戻ります。 <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ●入力信号、信号ケーブル、接続機器の状態によっては正常に機能しない場合があります。その場合は、「無効」に設定してから、手動で調整をお願いします。
	<p>ゴースト</p> <p>カーソルボタン▲/▼で、ゴーストが見えなくなるように調節してください。</p> 
	<p>フィルター掃除通知 カーソルボタン▲/▼で、エアーフィルターの掃除時期をお知らせするメッセージが表示されるまでの時間を設定できます。</p> <p>100h ↔ ↔ 5000h ↔ 無効</p> <p>エアーフィルターを清潔に保てるよう、本機のご使用環境に合わせて設定してください。「無効」以外を設定すると、フィルター時間 (図2-27) の値が設定した時間に達したとき、エアーフィルターの掃除をお願いするメッセージが表示されます。「無効」が設定されていると、このお知らせメッセージは表示されません。</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ●お掃除メッセージが表示されなくても、エアーフィルターは定期的に掃除してください。エアーフィルターがホコリなどでつまると、本機の内部温度が上がり過ぎて、故障や本機の寿命を縮める原因となることがあります。 ●ご使用環境やエアーフィルターの状態に気を付けてご使用ください。

設定項目	操作内容
特別な設定 （つづき）	<p>キーロック (1) カーソルボタン▲ / ▼で、操作パネルのボタンをロック設定できます。 (2) カーソルボタン ◀ / ▶ で、キーロック機能の有効 / 無効を設定できます。 有効 ↔ 無効</p>  <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ●キーロック機能を「有効」に設定した場合は、操作パネルの点灯 / 消灯には適用されません。「無効」に設定した場合は、操作パネルはもとに戻ります。 ●いたずらや誤操作を防止したい場合などに、この機能をご使用ください。
	<p>通信設定 この項目を選択してカーソルボタン▶または ENTER ボタンを押すと、「通信設定」メニューが表示されます。</p>  <p>「通信設定」メニューでは、CONTROL 端子を経由する通信の設定を行うことができます。カーソルボタン▲ / ▼で設定したい項目を選択してください。カーソルボタン▶または ENTER ボタンを押すと、その項目のサブメニュー、またはダイアログが表示されます。</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ●「通信タイプ」(2-32) を「オフ」に設定していると「通信設定」メニューの、他の項目は選択できません。

設定項目	操作内容		
特別な設定 (つづき)	通信設定 (つづき)	スタック (つづき)	<p>ランプモード 連結モードで使用する場合の、プロジェクター (ランプ) の点灯モードを設定します。</p> <p>同時点灯 ↔ 交互点灯</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 「同時点灯」: 2台のプロジェクターを同時に点灯します。 ■ 「交互点灯」: 電源を入れるたびに、点灯するプロジェクターを変更します。 <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● この項目は、メイン機での設定のみ有効となります。 ● 「同時点灯」に設定すると、リモコンや操作パネルのボタンを押したときや、その他の画面表示、およびメニューの設定が一部変更されます。詳細は、「簡易スタック」(☞2-74 ~ 105) をご参照ください。 <p>交互点灯モード 「ランプモード」(☞ 上記) を「交互点灯」に設定した場合の、ランプの点灯順を設定します。</p> <p>オート ↔ ノーマル</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 「オート」: ランプの使用時間 (☞2-27) が短い方を点灯させます。 ■ 「ノーマル」: 前回点灯していなかった方を点灯させます。 <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 「オート」に設定しても、本機の画質や信頼性を維持するため、ランプ使用時間の長い方が点灯する場合があります。 <p>サブ入力チャンネル 連結モードで使用する場合の、サブ機の映像入力信号を設定します。</p> <p>連動 ↔ 固定 (COMPUTER IN1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 「連動」: メイン機の設定に連動します。 ■ 「固定」: COMPUTER IN1 端子からの入力に固定されます。COMPUTER IN1 端子には、メイン機の MONITOR OUT 端子からの入力を接続してください。 <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 「固定」に設定すると、入出力信号の設定やリモコンや操作パネルのボタンを押したときの画面表示が変更されます。詳細は、「簡易スタック」(☞2-74 ~ 105) をご参照ください。

設定項目	操作内容
<p>特別な設定 （つづき）</p>	<p>プロジェクトの各設定を USB メモリーを介して他のプロジェクトへコピーすることができます。</p> <p>■保存：プロジェクトの各設定を USB メモリーに保存します。 ■ロード：プロジェクトの各設定を USB メモリーからロードします。 ロードが完了すると、メッセージが表示され、5分経過または▶キー入力すると電源が切れます。（ロードが失敗すると、メッセージが数秒間表示され、通常画面に戻ります。） 保存もしくはロード後に USB メモリーを外してください。</p> <p>以下の項目は対象外です。</p> <p>その他：ランプ時間、フィルター時間、特別な設定（ゴースト）、通信設定（スタック）</p> <p>ネットワーク：無線と有線の設定 （IP ADDRESS、SUBNET MASK、DEFAULT GATEWAY、日付と時刻の設定）、マイ イメージ、プレゼンテーション</p> <p>セキュリティ：マイテキスト表示、スタックロック</p> <ul style="list-style-type: none"> ・セキュリティ_クローニングロック 有効時は操作できません。 ・スクリーン_マイスクリーンはロードのみ可能です。 <p>スタンバイ状態でのクローニング ロード機能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本機がスタンバイ状態の時に、まずは操作パネルの INPUT ボタンと ▶ ボタンを同時に押した後、次に ▲ ボタンを押すと、クローニングのロード機能が動作します。 ・ロード中は、操作パネルの 3 つのインジケータ（電源（橙）、温度、ランプ）をすべて点灯します。 ・ロードが完了すると、3 つのインジケータ（電源、温度、ランプ）を消灯します。その後、USB メモリーを抜いてください。 ・ロードに失敗すると、3 つのインジケータ（電源（橙）、温度、ランプ）を同時に点滅します。 ・以下の場合、クローニングは動作しません。 <ul style="list-style-type: none"> - クローニングロックが有効に設定されているとき この場合、3 つのインジケータ（電源（橙）、温度、ランプ）を約 3 秒間隔で点滅します。 - スタンバイモードが省電力に設定されているとき - USB メモリーが USB TYPE A 端子に挿入されていないとき - 暗証コードロックまたは状態監視のロックが解除されていない時 - システムエラー時 - スタックモードが無効に設定されていない時 ・ロード完了後、下記いずれか一つの操作を行ってください。 <ul style="list-style-type: none"> - 操作パネルの INPUT ボタンと ◀ ボタンを同時に押してください。 - ロード完了後 5 分経過するまでお待ちください。 - 一度電源ケーブルを外した後、再起動してください。

設定項目	操作内容
<p>特別な設定 (つづき)</p>	<p>ロードするマイスクリーンデータについて</p> <ul style="list-style-type: none"> • USB メモリに pj_logo.bmp または pj_logo.gif という名称でイメージデータをセーブしてください。 • 対応するフォーマットは、下記のみですので、ご注意ください。 <ul style="list-style-type: none"> - ファイルフォーマット Windows BMP bit/pixel: 4/8/16/24/32bit 圧縮形式：圧縮なし / RLE / GIF - イメージサイズ：36 × 36 以上、1280 × 800 以下 • ファイルが 2 つ共セーブされている場合は、pj_logo.bmp をマイスクリーンデータに登録します。 • マイスクリンロック及びマイスクリーンパスワードの設定が有効になっていた場合、マイスクリーンデータのロードはできませんので、ご注意ください。 <p>設定データについて</p> <ul style="list-style-type: none"> • クローニングのセーブ機能を実行すると、USB メモリに pj_data.bin という名称でファイルが作成されます。 ファイル名称やフォルダ構成を変更しないようご注意ください。 • USB メモリに同名のファイルがある場合、セーブ機能を実行すると、上書きされますのでご注意ください。 <p>ロード機能について</p> <ul style="list-style-type: none"> • 別の機種でセーブしたファイルは、ロードできませんので、ご注意ください。 • セキュリティメニューのマイスクリーンパスワード、暗証コードロック、状態監視、マイテキストパスワードおよびスクリーンメニューのマイスクリーンロックについては、設定が On になっていた場合は、それぞれのデータはロードできませんので、ご注意ください。 • セキュリティメニューの状態監視が有効に設定されている場合、設置メニューのキーストンおよびコーナーフィットと、その他メニューのオートキーストンはロードできませんので、ご注意ください。 • セキュリティメニューのマイスクリーンパスワードが有効に設定されている場合、スクリーンメニューの START UP およびマイスクリーンロックはロードできませんので、ご注意ください。 • セキュリティメニューのマイテキストパスワードが有効に設定されている場合、マイテキスト入力はロードできませんので、ご注意ください。

設定項目	操作内容
<p>特別な設定 （つづき）</p>	<p>インフォメーション この項目を選択すると「入力_インフォメーション」のダイアログが表示されます。このダイアログには現在受信中の映像信号についての情報が表示されます。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">   </div> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● “フレームロック” と表示されている場合は、フレームロック機能（図2-14）が動作していることを示します。 ● “SCART RGB” と表示されている場合は、COMPONENT 端子が SCART RGB 入力端子として動作していることを示します。詳細は「入力」メニューの「COMPONENT」（図2-13）をご参照ください。 ● 無信号と同期外れ状態では、この項目は選択できません。 ● 「セキュリティ」の「マイテキスト表示」（図2-55）が「有効」に設定されていると、「入力_インフォメーション」ダイアログには、登録したマイテキストも一緒に表示されます。
	<p>工場出荷設定 カーソルボタン▶を押して、「OK」を選択すると、メニューの各項目を一括して初期設定に戻すことができます。</p> <p>初期化しない → OK</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 設定の再設定の際は、「高地モード」も設定を必ずしてください。

ネットワークメニュー

本機をネットワークに接続するには、あらかじめご使用になるネットワーク環境に合わせた設定が必要です。本機をネットワークに接続する前に、必ずご使用になるネットワークの管理者へご相談ください。誤った接続や設定はネットワーク障害などの原因となることがあります。

「メニュー機能の使い方」(図2-2, 3)に従い、「ネットワーク」メニューを表示してください。「ネットワーク」メニューでは、下表の項目を操作することができます。

カーソルボタン▲ / ▼で項目を選択し、カーソルボタン▶または **ENTER** ボタンを押すと、操作を開始または実行できます。下表およびメニュー表示に従って操作してください。

ネットワーク機能の詳細については、【ネットワーク編】をご参照ください。



お知らせ

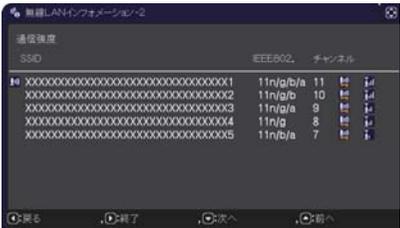
- ご利用のネットワークが SNTP に非対応の場合、日時を設定する必要があります (図2-40)。
- 「設置」メニューの「スタンバイモード」(図2-18)が「省電力」に設定されていると、本機がスタンバイ状態のときネットワークの通信はできません。スタンバイモードを「通常」に設定してから本機をネットワークに接続してください。

設定項目	操作内容
無線 LAN 設定	<p>この項目を選択してカーソルボタン▶または ENTER ボタンを押すと、無線 LAN 設定メニューを表示します。無線 LAN 設定メニューでは、本機を無線ネットワークに接続する際に必要な、本機の設定を行います。本機に接続するコンピュータやアクセスポイントなどの設定は、【ネットワーク編】をご参照ください。カーソルボタン▲ / ▼で設定したい項目を選択してください。カーソルボタン▶または ENTER ボタンを押すと、その項目のダイアログが表示されます。</p>
	<p>モード</p> <p>カーソルボタン▲ / ▼で、ネットワーク通信システムのモードを選択します。コンピュータの設定に基づいて選択してください。</p> <p>ADHOC ↔ INFRASTRUCTURE</p> <p>設定を保存するには、▶ボタンを押してください。暗号設定で WPA-PSK か WPA2-PSK のどれかを選択しているときに、ADHOC を設定すると、(暗号設定が)自動的に OFF に切り替わります。</p>

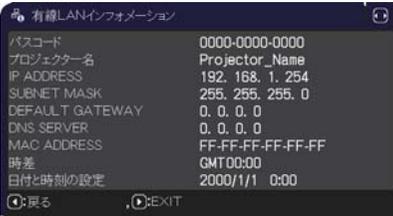


設定項目	操作内容
無線 LAN 設定 (つづき)	<p>DHCP (Dynamic Host Configuration Protocol) カーソルボタン▲ / ▼で、DHCP のオン / オフを切り替えることができます。 オン ↔ オフ DHCP に対応していないネットワークに接続する場合は「オフ」を選択してください。</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 「DHCP」を「オン」に設定したときには、DHCP サーバから IP アドレスを取得するのに少々時間がかかります。 ● 「DHCP」が「オン」に設定されているのに DHCP サーバから IP アドレスを取得できなかった場合には、自動的に IP アドレスが割り当てられます。
	<p>IP ADDRESS カーソルボタン▲ / ▼ / ◀ / ▶で、IP アドレスを入力します。 この項目は「DHCP」が「オフ」に設定されているときのみ設定できます。</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● IP アドレスは、ネットワーク上で本機を識別するための数字です。同じネットワーク上で 2 台以上の装置が同じ IP アドレスを持つことはできません。 ● IP アドレスに“0.0.0.0”は設定できません。
	<p>SUBNET MASK カーソルボタン▲ / ▼ / ◀ / ▶で、ご利用のコンピュータと同じサブネットマスクを入力します。 この項目は「DHCP」が「オフ」に設定されているときのみ設定できます。</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● サブネットマスクに“0.0.0.0”は設定できません。
	<p>DEFAULT GATEWAY カーソルボタン▲ / ▼ / ◀ / ▶で、デフォルトゲートウェイを入力します。 デフォルトゲートウェイは、ネットワークへのアクセスポイントとして機能するネットワーク上のノードです。 この項目は「DHCP」が「オフ」に設定されているときのみ設定できます。</p>
	<p>DNS SERVER カーソルボタン▲ / ▼ / ◀ / ▶で、DNS サーバーのアドレスを入力します。 DNS サーバーはネットワーク上のドメイン名と IP アドレスを対応させるシステムです。</p>
	<p>時差 カーソルボタン▲ / ▼で、時差を入力します。 ご利用のコンピュータと同じ時差を設定してください。不確かな場合は IT 管理者にお尋ねください。 時差を設定し終わったら、カーソルボタン▶を押すと、「無線 LAN 設定」メニューに戻ります。</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● この項目を設定すると有線 LAN 設定メニューの同項目が同じ設定に上書きされます。

設定項目	操作内容
無線 LAN 設定 (つづき)	<p>日付と時刻の設定</p> <p>カーソルボタン▲/▼/◀/▶で、年(西暦下2桁)、月、日、時、分を入力します。接続したネットワークがSNTP対応の場合は、タイムサーバーから日付と時刻を受信すると設定が上書きされます。</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ●この項目を設定すると有線設定メニューの同項目が同じ設定に上書きされます。 ●本機は、SNTPが有効に設定されているとき、日付と時刻を時間サーバーから取得します。 ●この設定は、設置メニューのスタンバイモードを省電力に設定して本機の電源を切るか、AC電源を切ると、初期化されます。
	<p>チャンネル</p> <p>カーソルボタン▲/▼、モードがADHOCに設定されている場合に使用する無線LANのチャンネルを選択してください。コンピュータの設定に基づいて選択してください。</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ●この項目は、ADHOCモードが選択されているときにのみ選択可能です。 ●INFRASTRUCTUREに設定されている場合は、自動的にチャンネルが割り当てられます。
	<p>暗号方式</p> <p>カーソルボタン▲/▼で、暗号方式を選択してください。</p> <pre> WPA2-PSK(AES) ←→ WPA2-PSK(TKIP) ↓ ↓ OFF WPA-PSK(AES) ↓ ↓ WEP 64bit ↔ WEP 128bit ↔ WPA-PSK(TKIP) </pre> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ●モードがINFRASTRUCTUREに設定されているときにIEEE802.11n(で通信)を使用する場合は、TKIPとWEPは設定できません。

設定項目	操作内容
<p>無線 LAN インフォメーション</p>	<p>この項目を選択すると、無線 LAN の設定を確認 (表示) する、無線 LAN インフォメーションダイアログが表示されます。カーソルボタン▲/▼でページに切替ができます。</p> <p>最初のページは、無線 LAN の設定を表示します。</p> <p>2 ページ目以降は、無線 (LAN) 接続機器からの信号の情報を表示します。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● パスコードの詳細は、付属品 CD-ROM 「Wireless & Network software」内の「LiveViewer」をご参照ください。 ● プロジェクター名および SSID は設定されていない場合、空白で表示されます。プロジェクター名は先頭から 16 文字が表示されます。 ● IP アドレス、サブネットマスクそしてデフォルトゲートウェイは、以下の条件で“0.0.0.0”と表記されます。 <ul style="list-style-type: none"> (1) 本機に USB ワイヤレスアダプターが挿入されていない。 (2) DHCP が「オン」になっており、本機が DHCP アドレスを取得できない。 ● USB ワイヤレスアダプターが挿入されていない場合は、チャンネルと通信速度は空白のままとなります。 ● 無線設定メニューで設定した値ではなく、チャンネル項目に表示される実際の値で動作しています。 ● プロジェクタに接続している機器の SSID の左には、(接続を示す) アイコンが表示されます。

設定項目	操作内容
有線 LAN 設定	<p>この項目を選択してカーソルボタン▶または ENTER ボタンを押すと、有線 LAN 設定メニューを表示します。有線 LAN 設定メニューでは、本機を有線ネットワークに接続する際に必要な、本機の設定を行います。本機に接続するコンピュータやアクセスポイントなどの設定は、【ネットワーク編】をご参照ください。カーソルボタン▲/▼で設定したい項目を選択してください。カーソルボタン▶または ENTER ボタンを押すと、その項目のダイアログが表示されます。</p> 
	<p>DHCP (Dynamic Host Configuration Protocol) カーソルボタン▲/▼で、DHCP のオン/オフを切り替えることができます。 オン ↔ オフ DHCP に対応していないネットワークに接続する場合は「オフ」を選択してください。 お知らせ ● 「DHCP」を「オン」に設定したときには、DHCP サーバから IP アドレスを取得するのに少々時間がかかります。 ● 「DHCP」が「オン」に設定されているのに DHCP サーバから IP アドレスを取得できなかった場合には、自動的に IP アドレスが割り当てられます。</p>
	<p>IP ADDRESS カーソルボタン▲/▼/◀/▶で、IP アドレスを入力します。この項目は「DHCP」が「オフ」に設定されているときのみ設定できます。 お知らせ ● IP アドレスは、ネットワーク上で本機を識別するための数字です。同じネットワーク上で 2 台以上の装置が同じ IP アドレスを持つことはできません。 ● IP アドレスに“0.0.0.0”は設定できません。</p>
	<p>SUBNET MASK カーソルボタン▲/▼/◀/▶で、ご利用のコンピュータと同じサブネットマスクを入力します。この項目は「DHCP」が「オフ」に設定されているときのみ設定できます。 お知らせ ● サブネットマスクに“0.0.0.0”は設定できません。</p>
	<p>DEFAULT GATEWAY カーソルボタン▲/▼/◀/▶で、デフォルトゲートウェイを入力します。デフォルトゲートウェイは、ネットワークへのアクセスポイントとして機能するネットワーク上のノードです。この項目は「DHCP」が「オフ」に設定されているときのみ設定できます。</p>
	<p>DNS SERVER カーソルボタン▲/▼/◀/▶で、DNS サーバーのアドレスを入力します。DNS サーバーはネットワーク上のドメイン名と IP アドレスを対応させるシステムです。</p>

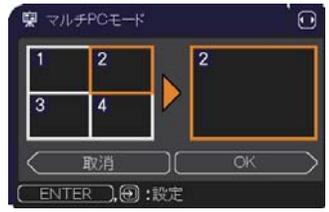
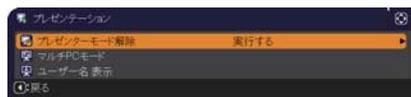
設定項目	操作内容
<p>有線 LAN 設定 (つづき)</p>	<p>時差 カーソルボタン▲ / ▼で、時差を入力します。 ご利用のコンピュータと同じ時差を設定してください。不確かな場合は IT 管理者にお尋ねください。 時差を設定し終わったら、カーソルボタン▶を押すと、「有線 LAN 設定」メニューに戻ります。</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ●この項目を設定すると無線 LAN 設定メニューの同項目が同じ設定に上書きされます。 <p>日付と時刻の設定 カーソルボタン▲ / ▼ / ◀ / ▶で、年（西暦下 2 桁）、月、日、時、分を入力します。接続したネットワークが SNTP 対応の場合は、タイムサーバーから日付と時刻を受信すると設定が上書きされます。</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ●この項目を設定すると有線設定メニューの同項目が同じ設定に上書きされます。 ●本機は、SNTP が有効に設定されているとき、日付と時刻を時間サーバーから取得します。 ●この設定は、設置メニューのスタンバイモードを省電力に設定して本機の電源を切るか、AC 電源を切ると、初期化されます。
<p>有線 LAN インフォメーション</p>	<p>この項目を選択すると、有線 LAN の設定を確認（表示）する、有線 LAN インフォメーションダイアログが表示されます。</p>  <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ●パスコードの詳細は、付属品 CD-ROM 「Wireless & Network Software」内の「LiveViewer」のマニュアルをご参照ください。 ●プロジェクター名および SSID は設定されていない場合、空白で表示されます。プロジェクター名は先頭から 16 文字が表示されます。 ●IP アドレス、サブネットマスクそしてデフォルトゲートウェイは、DHCP が「オン」になっており、本機が DHCP アドレスを取得できない場合は、「0.0.0.0」と表記されます。

設定項目	操作内容
<p>プロジェクト名</p>	<p>本機の名前（プロジェクター名）を登録することができます。</p> <p>■ プロジェクター名を入力する 最初の3行（下線付き）に現在のプロジェクター名が表示されます。プロジェクター名は、初期値として特定の名前が設定されています。カーソルボタン▲ / ▼ / ◀ / ▶で各文字を選択し、ENTER ボタン（または入力切替ボタン）を押して入力してください。… リセットボタン、またはカーソルボタン◀と入力切替ボタンを同時に押して、1文字削除することができます。また、カーソルを画面上の「消去」または「全消去」に移動させ、ENTER ボタン（または入力切替ボタン）を押すと、1文字または表示されている文字を全て削除することができます。</p> <p>プロジェクト名は最大64文字まで入力できます。</p> <p>■ プロジェクター名を編集する カーソルボタン▲ / ◀ / ▶で、プロジェクター名が表示されている行の、変更／削除する文字へカーソルを移動し、ENTER ボタン（または入力切替ボタン）を押して選択します。選択した文字を、プロジェクト名を入力するときと同じ手順で編集してください。</p> <p>■ プロジェクター名を保存する プロジェクト名の入力・編集が終わったら、一番下の行の「OK」にカーソルを合わせ、カーソルボタン▶か、ENTER ボタン（または入力切替ボタン）を押します。変更を保存せずに入力を終えるには、「取消」にカーソルを合わせてカーソルボタン◀か、ENTER ボタン（または入力切替ボタン）を押します。</p> <div data-bbox="884 272 1281 484"> </div> <div data-bbox="884 513 1281 726"> </div> <div data-bbox="884 813 1281 1025"> </div>

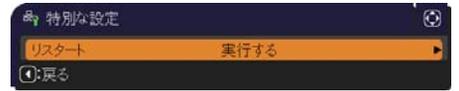
設定項目	操作内容
<p>マイ イメージ</p>	<p>マイ イメージ機能で転送された静止画像を、本機で表示できます。 カーソルボタン▲ / ▼で、表示したい画像データを選択し、カーソルボタン▶ または ENTER ボタンを押すと、画像を表示できます。</p> <p style="text-align: center;"> 画像 -1 ↔ 画像 -2 ↔ 画像 -3 ↔ 画像 -4  </p> <p>■ マイ イメージの切り替え 画像が表示されたら、カーソルボタン▲ / ▼で、表示する画像を切り替えることができます。</p> <p>■ マイ イメージの削除 画像表示中にリセットボタンを押すと、マイ イメージ消去確認ダイアログが表示されます。カーソルボタン▶を押して「OK」を選択すると、表示している画像のファイルを、記録メディアから削除できます。削除したくない場合は、カーソルボタン◀を押してください。</p> <p>マイ イメージ機能を使用するには、専用のアプリケーションが必要です。ホームページからダウンロードしてご使用ください。ホームページの「サービス&サポート」欄から、画面表示に従って、ダウンロードできます。</p> <p>ホームページ URL http://www.hitachi.co.jp/proj/</p> <p>詳細は、【ネットワーク編】「5. マイ イメージ」(P.3-47) をご参照ください。</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 静止画像を含まない項目は選択できません。 ● 表示できる画像ファイル名は半角で 16 文字以内です。 ● 本機の表示言語 (P.2-20) が日本語に設定されていないと、日本語のファイル名は正しく表示されません。また、日本語に設定されていると、英数字以外の文字 (Ç, ä など) は正しく表示されません。
<p>AMX D.D.</p>	<p>カーソルボタン▲ / ▼で、AMX デバイスディスカバリー (AMX DeviceDiscovery) の設定を行います。</p> <p style="text-align: center;">オン ↔ オフ</p> <p>オンに設定すると、同じネットワークに接続した AMX コントローラで本機を検出することができるようになります。AMX デバイスディスカバリー についての詳細は、AMX のホームページ URL:http://www.amx.com をご覧ください。</p>



設定項目	操作内容
	<p>この項目を選択してカーソルボタン▶または ENTER ボタンを押すと、「プレゼンテーション」メニューを表示します。</p> <p>お知らせ</p> <p>ネットワークプレゼンテーションには、専用のアプリケーション、「LiveViewer」が必要です。付属品 CD-ROM「Wireless & Network Software」からインストールしてください。また、ホームページ (http://www.hitachi.co.jp/proj/) から最新のバージョンと情報をダウンロードすることができます。ネットワークプレゼンテーションの詳細と「LiveViewer」のインストール方法は、付属品 CD-ROM「Wireless & Network Software」内の「LiveViewer」のマニュアルをご参照ください。</p> <p>プレゼンターモード解除</p> <p>本機をプレゼンターモードで使用し、1 台で占有しているコンピュータがある場合に、本機から強制的にプレゼンターモードを解除し、他のコンピュータからアクセスできるようにします。</p> <p>カーソルボタン▶を押して「OK」を選択すると、プレゼンターモードを解除し、メッセージを表示します。</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● プレゼンターモードは、「LiveViewer」のオプションメニューで設定してください（図3-35）。
<p>プレゼンテーション</p>	<p>マルチ PC モード</p> <p>ネットワークプレゼンテーションで、複数のコンピュータから本機に映像を送信している場合、シングル PC モードとマルチ PC モードの、2 通りの表示モードを選択することができます。表示モードの詳細については、【ネットワーク編】「3. ネットワークプレゼンテーション」（図3-13）をご参照ください。</p> <p>表示モードを変更するには、以下の手順にしたがってください。表示されるダイアログは、本機に設定された表示モードによって異なります。</p> <p>■ マルチ PC モードからシングル PC モードに切り替えるカーソルボタン▲ / ▼ / ◀ / ▶で、ダイアログ左の 4 分割画面から使用するコンピュータの映像を選択し、ENTER ボタン（または入力切替ボタン）を押してください。カーソルボタン▶で「OK」を選択し、ENTER ボタンを押すと、選択したコンピュータの画面がフル画面で表示されます。</p> <p>■ シングル PC モードからマルチ PC モードに切り替えるカーソルボタン▶で「OK」を選択し、ENTER ボタン（または入力切替ボタン）を押してください。マルチ PC モードに切り替ります。</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 表示モードをシングル PC モードに変更すると、選択されたコンピュータでのプレゼンターモード設定が有効になります。また、表示モードがマルチ PC モードに変更されると、プレゼンターモードの設定は、コンピュータの設定にかかわらず無効になります。



設定項目	操作内容
<p>プレゼンテーション (つづき)</p>	<p>ユーザー名表示 この機能は、「ユーザー名表示」を選択し、カーソルボタン▶または ENTER ボタンを押した時点で実行されます。 カーソルボタン▶または ENTER ボタンを押すと、「ユーザー名」ダイアログが表示されます。このダイアログには、表示されている映像ごとにユーザー名が表示されます。表示されるダイアログは、本機に設定された表示モードによって異なります。</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ユーザー名は、「LiveViewer」のオプションメニューで登録してください(☞3-29)。
<p>特別な設定</p>	<p>リスタート ネットワーク設定を初期化して、再起動することができます。 ネットワークの動作が止まったとき、操作ができなくなったときなどに実行してください。 カーソルボタン▶または ENTER ボタンを押すと、リスタート確認ダイアログが表示されます。 カーソルボタン▶を押して「OK」を選択すると、ネットワークをリスタートします。</p> <p>初期化しない → OK</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● リスタートを実行すると、ネットワークが一時切断されます。 ● 「DHCP」(☞2-39)が「オン」に設定されていると、IP アドレスが変更される場合があります。 ● ネットワークリスタート実行後、「ネットワーク」メニューは約 30 秒間操作できなくなります。



セキュリティメニュー

本機はセキュリティ機能を備えています。「セキュリティ」では、下表の項目を操作することができます。パスワード、暗証コードのお問い合わせの際に必要なとなりますので、保証書はかならず大切に保管してください。

1. 「パスワードを入力してください」を選びカーソルボタン▶を押してください。「パスワードを入力してください」ダイアログが表示されます。
2. カーソルボタンの▲/▼/◀/▶で登録されているセキュリティパスワードを入力してください。工場出荷時には、パスワードは

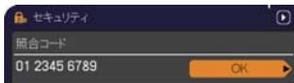


< CP-X4022WNJ > : 1900 < CP-WX4022WNJ > : 0300 に設定されています。セキュリティパスワードは変更できます (🔑 下記)。カーソルを「パスワードを入力してください」ダイアログの右端に移動して、カーソルボタン▶ (または ENTER ボタン) を押し、「セキュリティ」メニューを表示します。

3. 下表の項目を操作することができます。

セキュリティパスワードを忘れた場合

1. 「パスワードを入力してください」ダイアログが表示されている間に、リセットボタン、または操作パネルのカーソルボタン◀と入力切替ボタンを同時に3秒間押すと、「セキュリティパスワード/照合コード」ダイアログが表示されます。このダイアログには10桁のセキュリティパスワード照合コードが表示されています。
2. 10桁のセキュリティパスワード照合コードを、お客様のお名前、電話番号と合わせてお客様ご相談窓口 (家電ビジネス情報センター) TEL 0120-3121-19 までご連絡ください。確認後パスワードをご連絡いたします。

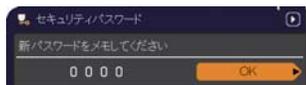
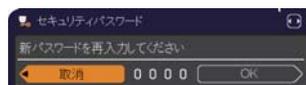
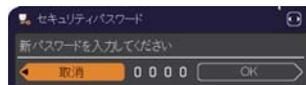


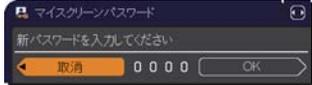
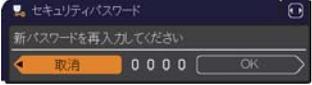
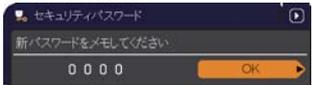
応用編

お知らせ

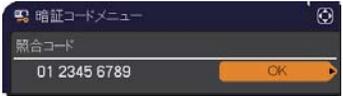
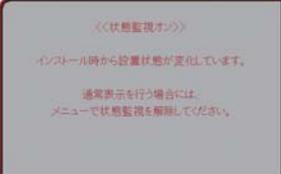
- 間違ったパスワードを3回入力すると、電源が切れます。これ以降は、パスワードの入力を間違えるたびに電源が切れます。
- 「セキュリティパスワード/照合コード」ダイアログが表示されているときに55秒間何も入力しないと、ダイアログが閉じます。必要な場合は上記の操作をくりかえしてください。
- 工場出荷時のパスワードはできるだけ早めに変更してください。

設定項目	操作内容
セキュリティパスワード変更	<p>セキュリティパスワードを変更することができます。</p> <p>(1) カーソルボタン▲/▼で、「セキュリティ」メニューのセキュリティパスワード変更を選び▶を押してください。新パスワードを入力するダイアログが表示されます。</p> <p>(2) カーソルボタンの▲/▼/◀/▶で、新パスワードを入力してください。</p> <p>(3) カーソルを「新パスワードを入力してください」ダイアログの右端に移動します。カーソルボタン▶を押すと、「新パスワードを再入力してください」ダイアログが表示されますので、同じパスワードを入力してください。</p> <p>(4) カーソルを「新パスワードを再入力してください」ダイアログの右端に移動して、カーソルボタン▶を押すと、新しいセキュリティパスワードが設定され、「新パスワードをメモしてください」ダイアログが約30秒間表示されます。この間に新しいパスワードをメモしてください。</p> <p>ENTER またはカーソルボタン▶を押すと、「セキュリティ」メニューに戻ります。</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ●セキュリティパスワードを忘れないようにしてください。



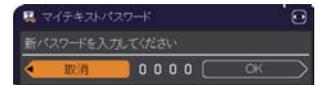
設定項目	操作内容
<p>マイスクリーンパスワード</p>	<p>マイスクリーンパスワード機能で、マイスクリーンへのアクセスを禁止し、登録されている映像の上書きを防ぐことができます。</p> <p>1 マイスクリーンパスワード機能を有効にする（パスワードを設定・登録する）</p> <p>1-1 カーソルボタン▲/▼で「セキュリティ」メニューのマイスクリーンパスワードを選び、カーソルボタン▶（または ENTER ボタン）を押してください。マイスクリーンパスワード有効/無効メニューが表示されます。</p> <p>1-2 カーソルボタン▲/▼で有効を選択してください。「新パスワードを入力してください」（小）ダイアログが表示されます。</p> <p>1-3 カーソルボタン▲/▼/◀/▶でパスワードを入力してください。カーソルを「新パスワードを入力してください」（小）ダイアログの右端に移動し、カーソルボタン▶（または ENTER ボタン）を押すと「新パスワードを再入力してください」ダイアログが表示されるので、同じパスワードを再度入力してください。</p> <p>1-4 カーソルを「新パスワードを再入力してください」ダイアログの右端に移動し、カーソルボタン▶（または ENTER ボタン）を押すと、「新パスワードをメモしてください」ダイアログが約 30 秒間表示されます。この間にパスワードをメモしてください。ENTER またはカーソルボタン▶を押すと、「マイスクリーンパスワード」ダイアログに戻ります。</p> <p>マイスクリーンパスワードを設定すると、「スクリーン」メニューの「マイスクリーン」（☑2-21）、および「マイスクリーンロック」を操作できなくなり、「初期画面」が「マイスクリーン」に固定されます。</p> <p>お知らせ</p> <p>●マイスクリーンパスワードを忘れないようにしてください。</p> <p>2 マイスクリーンパスワード機能を無効にする</p> <p>マイスクリーンパスワード機能を無効にすると、通常の操作が可能になります。</p> <p>2-1 1-1 の手順に従って「マイスクリーンパスワード 有効/無効」メニューを表示してください。</p> <p>2-2 「無効」を選択すると、「パスワードを入力してください」（大）ダイアログが表示されます。登録されたマイスクリーンパスワードを入力すると画面は「マイスクリーンパスワード有効/無効」メニューに戻ります。</p> <p>3 マイスクリーンパスワードを忘れた場合</p> <p>3-1 1-1 の手順に従って「マイスクリーン有効/無効」メニューを表示してください。</p> <p>3-2 「無効」を選択し、「マイスクリーンパスワードを入力してください」（大）ダイアログを表示させてください。このダイアログには 10 桁のマイスクリーンパスワード照合コードが表示されています。</p> <p>3-3 10 桁のマイスクリーンパスワード照合コードを、お客様のお名前、電話番号と合わせて</p> <p>お客様ご相談窓口（家電ビジネス情報センター） TEL 0120-3121-19 までご連絡ください。確認後、マイスクリーンパスワードをご連絡いたします。</p>
	  <p>新パスワード入力 （小）ダイアログ</p>    <p>パスワード入力 （大）ダイアログ</p>

設定項目	操作内容
<p>暗証コードロック</p>	<p>暗証コードロックは、登録された暗証コードが入力されない場合に本機が使用されることを防ぐ機能です。</p> <p>1 暗証コードロック機能を有効にする（暗証コードを設定・登録する）</p> <p>1-1 カーソルボタン▲/▼で「セキュリティ」メニューの暗証コードロックを選び、▶ボタンまたは ENTER ボタンで「暗証コード有効/無効」メニューを表示します。</p> <p>1-2 カーソルボタン▲/▼で有効を選択すると「暗証コードを入力してください」ダイアログが表示されます。</p> <p>1-3 カーソルボタン▲/▼/◀/▶、コンピュータおよび入力切替ボタンで4つのパートからなる暗証コードを入力してください。「暗証コードを再入力してください」ダイアログが表示されます。同じ暗証コードを再入力して、暗証コードの登録が完了します。</p> <p>「暗証コードを入力してください」ダイアログまたは「暗証コードを再入力してください」ダイアログが表示されているときに、約55秒何も入力しないと、ダイアログが閉じます。必要ならば1-1から手順を繰り返してください。</p> <p>暗証コードロック機能を有効にすると、本機を電源につなぎ、最初に電源を入れるたびに暗証コードを確認するダイアログが表示され、登録された暗証コードを入力しない限り、本機を使用できなくなります。間違った暗証コードが入力されると「暗証コードを入力してください」ダイアログが再度表示されます。間違った暗証コードを3回入力すると、ランプが消灯します。その後は、暗証コードの入力を間違えるたびにランプが消灯します。また、ダイアログが表示されてから正しい暗証コードを約5分間以内に入力しない場合も、ランプが消灯します。ただし、この機能は、一度本機の電源を完全に切った後で、再度電源を入れないと有効になりません。</p> <p>お知らせ</p> <p>●暗証コードを忘れないようにしてください。</p> <p>2 暗証コードロック機能を無効にする</p> <p>暗証コードロック機能を無効にすると、本機は通常どおりに起動します。</p> <p>2-1 1-1の手順に従って、「暗証コードロック有効/無効」メニューを表示してください。</p> <p>2-2 カーソルボタン▲/▼で「無効」を選択すると、「暗証コードロックを入力してください」ダイアログが表示されます。登録された暗証コードを入力すると、「暗証コードロック」は「無効」に設定されます。</p> <p>間違った暗証コードを3回入力すると、「暗証コードを入力してください。」ダイアログが閉じます。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;">    </div>

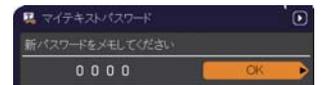
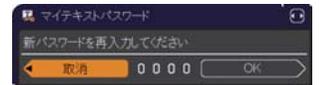
設定項目	操作内容
<p>暗証コード ロック (つづき)</p>	<p>3 暗証コードを忘れた場合</p> <p>3-1 1-1 の手順に従って「マイスクリーン有効 / 無効」メニューを表示してください。</p> <p>3-2 「無効」を選択し、「暗証コードを入力してください」(大) ダイアログを表示させてください。このダイアログには 10 桁のマイスクリーンパスワード照合コードが表示されています。</p>  <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 「暗証コードメニュー」ダイアログが表示されているときに約5分間何も入力しないと、ランプが消灯します。 <p>3-3 10 桁の暗証コード照合コードを、お客様のお名前、電話番号と合わせて お客様ご相談窓口（家電ビジネス情報センター） TEL 0120-3121-19 までご連絡ください。確認後、暗証コードをご連絡いたします。</p>
<p>状態監視</p>	<p>本機の設置状態が変更されたときに、状態監視のアラームを表示し、本機を記録されている元の状態に戻すか、あるいはこの機能を無効にしない限り本機を使用できなくなることができます。</p>  <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 約5分間状態監視オンの警告を表示した後、ランプが消灯します。 ● 状態監視機能が有効である限り、キーストン補正の調節状態を変更できなくなります。 <p>1 状態監視機能を有効にする</p> <p>状態監視機能を有効にすると、本機の電源を入れたときの角度（前後の傾き）、設置方法 (2-18) が、記録されている設定と異なると、状態監視のアラームが表示され、本機は入力信号を表示しなくなります。また、キーストン補正が調節できなくなります。</p> <p>1-1 カーソルボタン▲ / ▼で「セキュリティ」メニューの監視状態を選択し、▶または ENTER ボタンを押すと「監視状態 有効 / 無効」メニューが表示されます。</p> <p>1-2 カーソルボタン▲ / ▼で「状態監視 有効 / 無効」メニューの「有効」を選択してください。「有効」を選択すると、現在の角度（前後の傾き）、設置方法設定が記録されます。「新パスワードを入力してください」(小) ダイアログが表示されます。</p>  <p>1-3 カーソルボタン▲ / ▼ / ◀ / ▶でパスワードを入力してください。カーソルを「新パスワードを入力してください」(小) ダイアログの右端に移動し、カーソルボタン▶（または ENTER ボタン）を押すと、「新パスワードを再入力してください」ダイアログが表示されます。同じパスワードをもう一度入力してください。</p>  <p>新パスワード入力 (小) ダイアログ</p> 

設定項目	操作内容
<p>状態監視 (つづき)</p>	<p>1-4 カーソルを「新パスワードを再入力してください」ダイアログの右端に移動し、カーソルボタン▶（または ENTER ボタン）を押すと、状態監視パスワードが設定・登録され、「新パスワードをメモしてください」ダイアログが約 30 秒間表示されます。このダイアログにはパスワードが表示されていません。この間にパスワードをメモしてください。リモコンの ENTER またはカーソルボタン▶を押すと、「状態監視 有効 / 無効」メニューに戻ります。</p> <div data-bbox="975 272 1277 359" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>状態監視 新パスワードをメモしてください 0 0 0 0 OK ▶</p> </div> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 状態監視のパスワードを忘れないようにしてください。 ● この機能は、AC 電源を切った後に本機を起動した時にのみ作動します。 ● 「状態監視」ダイアログで「有効」を選択したときに、本機が安定した状態で設置されていないと、この機能は正常に動作しません。
	<p>2 状態監視機能を無効にする</p> <p>2-1 1-1 の手順にしたがって「状態監視 有効 / 無効」メニューを表示してください。</p> <p>2-2 「無効」を選択すると、「パスワードを入力してください」(大) ダイアログが表示されます。登録された状態監視パスワードを入力すると、「状態監視」は「無効」に設定され、「状態監視 有効 / 無効」メニューに戻ります。</p> <div data-bbox="965 875 1267 977" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>状態監視 パスワードを入力してください。 照合コード 01 2345 6789 ← 取消 0 0 0 0 OK →</p> </div> <p style="text-align: right; margin-right: 50px;">パスワード入力 (大) ダイアログ</p> <p>間違ったパスワードを入力すると、メニューが閉じます。必要ならば 2-1 から手順を繰り返してください。</p> <p>3 状態監視パスワードを忘れた場合</p> <p>3-1 1-1 の手順に従って「状態監視 有効 / 無効」メニューを表示してください。</p> <p>3-2 「無効」を選択し、「パスワードを入力してください」(大) ダイアログを表示させてください。このダイアログには 10 桁の状態監視パスワード照合コードが表示されています。</p> <p>3-3 10 桁のパスワード照合コードを、お客様のお名前、電話番号と合わせて お客様ご相談窓口（家電ビジネス情報センター） TEL 0120-3121-19 までご連絡ください。確認後、状態監視パスワードをご連絡いたします。</p>

設定項目	操作内容
<p>マイテキストパスワード</p>	<p>「マイテキスト入力」(☎2-55)で登録した、マイテキストの上書きを防止することができます。マイテキストパスワード機能を有効にすると、「マイテキスト表示」、「マイテキスト入力」の操作ができなくなり、マイテキストの登録・変更、および表示の設定を変更できなくなります。</p> <p>1 マイテキストパスワード機能を有効にする（パスワードを設定・登録する）</p> <p>1-1 カーソルボタン▲/▼で「セキュリティ」メニューの「マイテキストパスワード」を選び、カーソルボタン▶（または ENTER ボタン）を押して「マイテキストパスワード有効/無効」メニューを表示してください。</p> <p>1-2 カーソルボタン▲/▼で「マイテキストパスワード」メニューの「有効」を選択してください。「新パスワードを入力してください」（小）ダイアログが表示されます。</p> <p>1-3 カーソルボタン▲/▼/◀/▶を使ってパスワードを入力してください。カーソルを「新パスワードを入力してください。」（小）ダイアログの右端に移動し、カーソルボタン▶を押すと、「新パスワードを再入力してください」ダイアログが表示されます。同じパスワードをもう一度入力してください。</p> <p>1-4 カーソルを「新パスワードを再入力してください」ダイアログの右端に移動し、カーソルボタン▶（または ENTER ボタン）を押すと、マイテキストパスワードが設定・登録され、「新パスワードをメモしてください」ダイアログが約 30 秒間表示されます。この間にパスワードをメモしてください。</p> <p>リモコンの ENTER またはカーソルボタン▶を押すと、「マイテキストパスワード 有効/無効」メニューに戻ります。</p>
	<p>2 マイテキストパスワード機能を無効にする</p> <p>2-1 1-1 の手順に従って、「マイテキストパスワード 有効/無効」メニューを表示してください。</p> <p>2-2 「無効」を選択すると、「パスワードを入力してください。」（大）ダイアログが表示されます。登録されたマイテキストパスワードを入力すると「マイテキストパスワード 有効/無効」メニューに戻ります。</p> <p>間違ったパスワードを入力すると、メニューが閉じます。必要ならば 2-1 から手順を繰り返してください。</p> <p>3 マイテキストパスワードを忘れた場合</p> <p>3-1 1-1 の手順に従って「マイテキストパスワード 有効/無効」メニューを表示してください。</p> <p>3-2 「無効」を選択すると、「パスワードを入力してください」（大）ダイアログが表示されます。このダイアログには、10 桁のマイテキストパスワード照合コードが表示されています。</p> <p>3-3 10 桁のマイテキストパスワード照合コードをお客様のお名前、電話番号と合わせて</p> <p>お客様ご相談窓口（家電ビジネス情報センター） TEL 0120-3121-19 までご連絡ください。確認後、マイテキストパスワードをご連絡いたします。</p>



新パスワード入力
（小）ダイアログ



パスワード入力
（大）ダイアログ

設定項目	操作内容
<p>マイテキスト表示</p>	<p>(1) カーソルボタン▲ / ▼で「セキュリティ」メニューの「マイテキスト表示」を選び、カーソルボタン▶（または ENTER ボタン）を押して「マイテキスト表示 有効 / 無効」メニューを表示してください。</p> <p>(2) カーソルボタン▲ / ▼で「マイテキスト表示 有効 / 無効」メニューの「有効」または「無効」を選択してください。</p> <p style="text-align: center;">有効 ↔ 無効</p> <p>「有効」に設定すると、初期画面（図2-21）と「入力_インフォメーション」ダイアログ（図2-37）に、登録したマイテキストが表示されます。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px 0;">お知らせ</div> <ul style="list-style-type: none"> ● 「マイテキストパスワード」（図2-54）が「無効」に設定されているときのみ、「マイテキスト表示」の設定を変更できます。   
<p>マイテキスト入力</p>	<p>(1) カーソルボタン▲ / ▼で「セキュリティ」メニューの「マイテキスト入力」を選び、カーソルボタン▶（または ENTER ボタン）を押して「マイテキスト入力」ダイアログを表示してください。</p> <p>(2) 最初の3行（下線付き）に現在のマイテキストが表示されます。マイテキストをまだ登録していないときは、最初の3行は空白です。カーソルボタン▲ / ▼ / ◀ / ▶で各文字を選択し、リモコンの ENTER または入力切替ボタンを押して入力してください。リセットボタンもしくはカーソルボタン◀と入力切替ボタンを同時に押すことで1文字削除することができます。また、カーソルを「消去」または「全消去」に移動させて、ENTER または入力切替ボタンを押すことで、1文字または全ての文字を削除することができます。マイテキストは1行につき最大24文字入力できます。</p> <p>(3) マイテキストを編集するには、カーソルボタン▲ / ▼ / ◀ / ▶で、マイテキストが表示されている行の、変更 / 削除する文字へカーソルを移動し、ENTER ボタンまたは入力切替ボタンを押して選択します。選択した文字を、マイテキストを入力するときと同じ手順で編集してください。</p> <p>(4) テキストの入力・編集が終わったら、1番下の行の「OK」にカーソルを合わせ、カーソルボタン▶、ENTER または入力切替ボタンを押します。変更を保存せずに入力を終えるには、「取消」にカーソルを合わせてカーソルボタン◀、ENTER または入力切替ボタンを押します。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px 0;">お知らせ</div> <ul style="list-style-type: none"> ● 「マイテキストパスワード」（図2-54）が「無効」になっているときのみ、「マイテキスト入力」の操作が行えます。   

セキュリティメニュー（つづき）

設定項目	操作内容
セキュリティインジケータ	カーソルボタン▲/▼で、 セキュリティインジケータ での、本機のセキュリティ表示の有効/無効を設定できます。 有効 ↔ 無効 「有効」に設定すると、「暗証コードロック」または「状態監視」のいずれかが有効で、本機がスタンバイ状態のとき、 セキュリティインジケータ (☎1-15) が黄色に点滅します。
スタックロック	カーソルボタン▲/▼で、「スタック」メニュー (☎2-33, 34) の設定が変更されないようロックすることができます。 有効 ↔ 無効 「有効」に設定すると、「スタック」メニューの設定を変更できなくなります。簡易スタック機能についての詳細は「簡易スタック」(☎2-74 ~ 105) をご参照ください。
クローニングロック	有効を選択するとその他_特別な設定メニューのクローニング操作が禁止されます。

プレゼンテーションツール

本機では、プレゼンテーションを簡単に、すばやく行うための以下の便利なツールをご利用頂けます。

■ PC レス プレゼンテーション (📖 下記)

■ USB ディスプレイ (📖 2-66)

■ 描画機能

描画機能は、USB TYPE A 端子に接続したペンタブレットや USB マウスを使って、プロジェクターの画面上に画を描く機能です。

詳細は、周辺機器の取扱説明書をご覧ください。

PC レス プレゼンテーション

USB TYPE A 端子からの映像信号を選択すると、PC レス プレゼンテーションを開始します。

PC レス プレゼンテーションでは、本機の USB TYPE A 端子に挿入された USB メモリの画像データを、以下の 3 つの表示モードで表示させることができます。

■サムネイルモード (📖 2-58)

メモリに保存された画像ファイル、フォルダを並べて縮小表示します。

PC レス プレゼンテーション開始時は、サムネイルモードで表示します。

■フルスクリーンモード (📖 2-62)

1 つの画像を画面にいっぱいに表示します。

■スライドショーモード (📖 2-64)

フォルダ内の画像を順繰りに表示します。

対応記録メディアとファイル形式

■対応記録媒体

－ USB メモリ (USB フラッシュメモリ、USB ハードディスク、USB メモリカードリーダー)

■対応記録媒体フォーマット

－ FAT12 / FAT16(FAT) / FAT32 (NTFS フォーマットには対応していません。)

■対応ファイル形式

－ JPEG (.jpeg, .jpg) : プロGRESSIVEエンコード JPEG には対応していません。

－ Bitmap (.bmp) : 16bit、および圧縮形式の BMP には対応していません。

－ PNG (.png) : インターレース PNG には対応していません。

－ GIF (.gif) : 動画ファイルは再生できません。

－ Movie (.avi, .mov) * 対応ビデオフォーマット: Motion-JPEG

対応オーディオフォーマット: WAV (Linear PCM, Stereo 16bit), IMA-ADPCM

お知らせ

●複数のドライブとして認識される USB リーダー(アダプター)は、正常に動作しない場合があります。

●USB ハブは正常に動作しない場合があります。

●セキュリティ USB メモリは正常に動作しない場合があります。

●USB メモリを挿入したり取外すときにはご注意ください。

●解像度が下記より大きい、または 36 × 36 より小さいファイルは表示されません。

また、解像度が 100 × 100 より小さいファイルは表示されない場合があります。

CP-X4022WNJ: 1024 × 768

CP-WX4022WNJ: 1280 × 800

●フレームレートが 15fps を超える動画は、表示できません。

●ビットレートが 20Mbps を超える動画は、表示できません。

●対応しているファイル形式でも、一部のファイルは表示できない場合があります。

●サムネイルモードで画像データの内容(サムネイル画像)を表示できない場合は、枠のみ表示されます。

サムネイルモード

サムネイルモードでは、USB メモリに保存された画像をサムネイル表示し、画面の上下にサムネイルメニューが表示されます。1 画面に最大 20 の画像ファイルまたはフォルダを表示します。PC レス プレゼンテーションは、サムネイルモードで開始されます。サムネイルモードからは、フルスクリーンモード、およびスライドショーモードに移ることができます。



サムネイル画面

サムネイルモード

■スライドショーアイコン

画像番号の下に表示されているアイコンは、以下のようにスライドショーモードでの画像の設定を示しています。

アイコン	表示内容
	スライドショーで表示されます。
	スライドショーで最初に表示されます。
	スライドショーで最後に表示されます。
	スライドショーでは表示されません。
	スライドショーでは、この画像のみが表示されます。

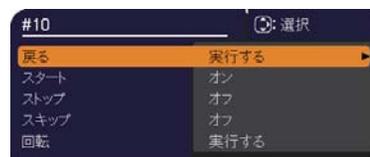
■サムネイルモードの操作

サムネイルモードでは、操作パネル、リモコン、WEB コントロールのリモートコントロールの各ボタンで以下の操作が可能です。

操作ボタン			機能
リモコン	操作パネル	Web コントロール	
▲ / ▼ / ◀ / ▶	▲ / ▼ / ◀ / ▶	▲ / ▼ / ◀ / ▶	カーソルを移動します
PAGE UP PAGE DOWN	—	PAGE UP PAGE DOWN	ページを切り替えます
ENTER	入力切替	ENTER	<ul style="list-style-type: none"> ・フォルダを選択していた場合は、フォルダを開き、フォルダ内のファイルやフォルダをサムネイル表示します。 ・サムネイル画像を選択していた場合は、画像をフルスクリーンモードで表示します。 ・画像番号を選択していた場合は、画像の設定メニューを表示します (📄 下記)。

■画像の設定メニュー

画像番号を選択して **ENTER** ボタン (または**入力切替**ボタン) を押すと、選択されていた画像の設定メニューが表示されます。画像の設定メニューでは、選択された画像の、スライドショーモードなどの表示を設定できます。



設定項目	操作内容
戻る	カーソルボタン▶または ENTER ボタンを押すと、サムネイル画面に戻ります。
スタート	カーソルボタン◀ / ▶でオンに設定すると、選択した画像がスライドショーの最初の画像になります。
ストップ	カーソルボタン◀ / ▶でオンに設定すると、選択した画像がスライドショーの最後の画像になります。
スキップ	カーソルボタン◀ / ▶でオンにすると、選択した画像はスライドショーモードでは表示されなくなります。
回転	カーソルボタン▶または ENTER ボタン を押すと、選択された画像が 90 度時計回りに回転します。

お知らせ

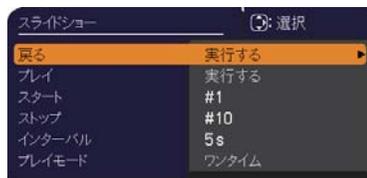
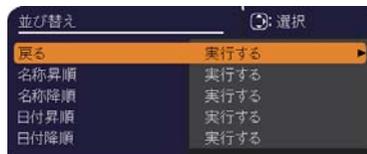
- ボタン操作、および画像の設定メニューの操作は、本機のメニュー画面表示中は実行できません。
- 「スタート」、「ストップ」、「スキップ」、「回転」の設定は、プレイリスト (📄2-65) に保存されます。ただし、USB メモリが保護されているか、プレイリストが読み取り専用設定されている場合は変更できません。
- PC レス プレゼンテーション中は、**入力切替**ボタンで入力端子を切り替えることはできません。一旦本機のメニューを表示させるか、サムネイルメニュー (📄2-60) の「入力」を使用してください。

サムネイルメニュー

サムネイル画面の上下に表示される、サムネイルメニューから、PC レス プレゼンテーションを操作することができます。

カーソルボタンで各項目を選択し、**ENTER** ボタン (または**入力切替**ボタン) を押してください。

設定項目	操作内容
	上位のフォルダに移動します。
並び替え	ファイルやフォルダを並び替えます。
戻る	カーソルボタン▶または ENTER ボタンを押すと、サムネイル画面に戻ります。
名称昇順	カーソルボタン▶または ENTER ボタンを押すと、名称の昇順に並び替えます。
名称降順	カーソルボタン▶または ENTER ボタンを押すと、ファイル名称の降順に並び替えます。
日付昇順	カーソルボタン▶または ENTER ボタンを押すと、ファイルの日付の昇順に並び替えます。
日付降順	カーソルボタン▶または ENTER ボタンを押すと、ファイルの日付の降順に並び替えます。
▲ / ▼	ページを切り替えます。
スライドショー	スライドショーを設定、または開始します。
戻る	カーソルボタン▶または ENTER ボタンを押すとサムネイル画面に戻ります。
プレイ	カーソルボタン▶または ENTER ボタンを押すとスライドショーを開始します。
スタート	カーソルボタン◀ / ▶で、スライドショーを開始する画像番号を設定します。
ストップ	カーソルボタン◀ / ▶で、スライドショーを終了する画像番号を設定します。
インターバル	カーソルボタン◀ / ▶で、スライドショーでの画像 1 枚あたりの表示期間 (1s ~ 999s) を設定します。
プレイモード	カーソルボタン◀ / ▶でスライドショーの再生モードを設定します。 ■ 「ワントタイム」 : スライドショーを 1 回再生します。 ■ 「エンドレス」 : スライドショーの終了の画像を表示すると再び最初に戻り、繰り返して再生を続けます。
入力	PC レス プレゼンテーションを終了し、映像信号の入力端子を USB TYPE B 端子に切り替えます。
メニュー	本機のメニューを表示します。
USB メモリ取外し	本機から USB メモリを取り外すときに使用します。カーソルボタン▶を押して「OK」を選択すると、安全に USB メモリを取り外せるようになります。一旦「USB メモリ取外し」を実行すると、再度 USB TYPE A 端子に USB メモリを挿入するまで、本機は、USB メモリを認識しなくなります。
 / 	ファイルに音声データが含まれている場合に、音のオン/オフを切り替えます。



お守りください

- USB メモリを取り外す時は、データ保護のため、必ず先にサムネイルメニューから「USB メモリを取外し」を実行するか、本機の電源を切ってください。

お知らせ

- 「スライドショー」の、「スタート」、「ストップ」、「インターバル」、「プレイモード」の設定は、プレイリスト (☞2-65) に保存されます。ただし、USB メモリが保護されているか、プレイリストが読み取り専用設定されている場合は変更できません。
- 「インターバル」を数秒間と短く設定すると、画像ファイルのサイズが大きい、画像の保存されているフォルダが深い、同じフォルダに保存された画像ファイルが多いなどの場合、ファイルの読み込みに、設定した時間より長くかかる場合があります。
- 動画に含まれる音声データを再生すると、画質が落ちることがあります (カタカタしたりコマが飛んだりする)。画質を優先する場合は、♪ (の操作) で音声を切ってください。
- オーディオメニューのオーディオソースで、**AUDIO IN** 端子のどれか、または [X] を USB TYPE A に選択している場合は、♪ は操作できません。
- ファイルに問題があり、画像が読み込めないなどの問題が発生した場合、サムネイル画像の代わりに、以下のエラーアイコンを表示します。



_____ ファイルが破損しているか、対応していない形式が使われています。



サムネイル画像を表示することができないファイルは、ファイル形式アイコンで表示します。

フルスクリーンモード

フルスクリーンモードでは、本機の画面いっぱいに 1 つの画像を表示します。

フルスクリーンで表示するには、サムネイル画面で画像を選択し、**入力切替**ボタンか **ENTER** ボタンを押すか、Web コントロールのリモートコントロールで ENTER をクリックしてください



フルスクリーン表示

フルスクリーンモード

■フルスクリーンモードの操作

フルスクリーンモードでは、操作パネル、リモコン、WEB コントロールのリモートコントロールの各ボタンで以下の操作が可能です。

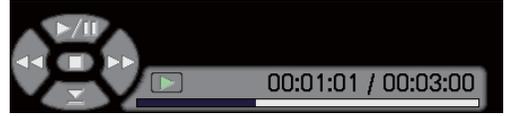
操作ボタン			機能
リモコン	操作パネル	Web コントロール	
▼ / ▶ / PAGE DOWN	▼ / ▶	▼ / ▶ / PAGE DOWN	次の画像を表示します。
▲ / ◀ / PAGE UP	▲ / ◀	▲ / ◀ / PAGE UP	前の画像を表示します。
ENTER	入力切替	ENTER	サムネイルモードに戻ります

お知らせ

- 上記の操作は、本機のメニュー画面表示中は実行できません。
- PC レス プレゼンテーション中は、**入力切替**ボタンで入力端子を切り替えることはできません。一旦本機のメニューを表示させるか、サムネイルメニュー (P.2-60) の「入力」を使用してください。

■フルスクリーンモードでの動画の操作

フルスクリーンモードで動画の再生中に、カーソルボタン、**ENTER** ボタン、**INPUT** ボタンのどれか、または WEB リモコンのカーソルボタン、または [決定] ボタンを押すと、右のような動画操作パネルが画面に表示されます。動画操作パネルが表示されている間は、操作パネル、リモコン、WEB リモコンの各ボタンで、以下の様に動画の再生を操作することができます。



操作ボタン			機能
リモコン	操作パネル	WEB リモコン	
▲	▲	[▲]	▶ (再生) / (一時停止) を切り替えます
▶	▶	[▶]	▶▶ (FF) 早送り
◀	◀	[◀]	◀◀ (REW) 巻戻し
ENTER	INPUT	[決定]	■ (停止), サムネイルモードに戻ります
PAGE DOWN	-	[次ページ]	次の画像を表示します
PAGE UP	-	[前ページ]	前の画像を表示します

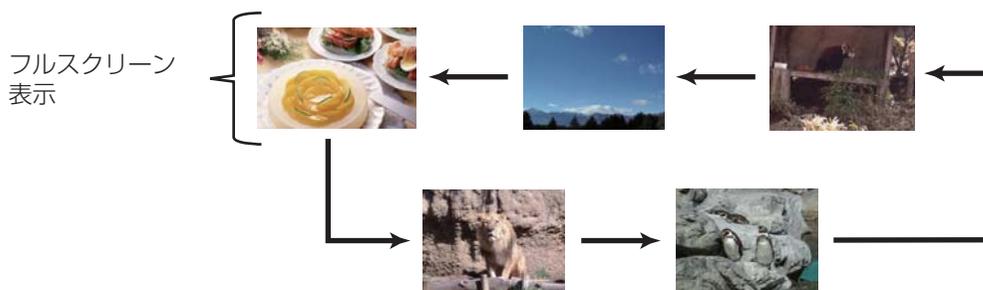
お知らせ

- 上記の操作は、本機のメニュー画面表示中は実行できません。
- PC レス プレゼンテーション中は、**INPUT** ボタンで入力端子を切り替えることはできません。いったん本機のメニューを表示させるか、サムネイルメニュー「入力」(2-60)を使用してください。

スライドショーモード

スライドショーモードでは、1つのフォルダに保存された一連の画像を、フルスクリーン表示で、順ぐりに表示します。スライドショーでは、サムネイル画面で表示される、画像番号の順に画像が表示されます。スライドショーの表示設定は、サムネイルモードでの画像の設定メニュー (☞2-59) またはサムネイルメニュー (☞2-60)、およびプレイリスト (☞2-65) から変更できます。設定は、プレイリストに保存されます。

スライドショーを開始するには、サムネイルメニューの「スライドショー」から「プレイ」を選択し、ENTER ボタン (または入力切替ボタン) を押してください。



スライドショーモード

■スライドショーモードの操作

スライドショーモードでは、操作パネル、リモコン、WEB コントロールのリモートコントロールの各ボタンで以下の操作が可能です。

操作ボタン			機能
リモコン	操作パネル	Web コントロール	
ENTER	入力切替	ENTER	サムネイルモードに戻ります

お知らせ

- 上記の操作は、本機のメニュー画面表示中は実行できません。
- スライドショーは、「プレゼンテーション」メニュー (☞2-47)、マイボタン 1 / 2 (☞2-28)、および Web コントロールのリモートコントロール (☞3-36) から開始できます。
- PC レス プレゼンテーション中は、**入力切替**ボタンで入力端子を切り替えることはできません。一旦本機のメニューを表示させるか、サムネイルメニュー (☞2-60) の「入力」を使用してください。
- 「プレイモード」 (☞2-60) が「ワンタイム」に設定されていると、スライドショーが終了すると、ENTER ボタン、または**入力切替**ボタンが押されるまで、最後の画像を表示し続けます。
- USB メモリが保護されているか、プレイリストが読み取り専用設定されている場合は、スライドショーの各設定は変更できません。

プレイリストについて

プレイリストは、表示される画像ファイルとその表示設定を決める、DOS 形式のテキストファイルです。プレイリストのファイル名は "playlist.txt" です。プレイリストは、PC レス プレゼンテーションを開始したとき、またはスライドショーを設定したときに選択していた画像ファイルがあるフォルダに自動的に作成されます。

プレイリスト、およびそのファイル名はコンピュータ上で編集することができます。

プレイリストの記述の順番、内容は、以下の通りです。

それぞれの情報は「:」で区切られます。また、各行の最後にも「:」が必要です。二行目以降は、1 ファイルにつき 1 行で記述します。

```
1 行目      START * :STOP * :INTERVAL * :MODE * :
2 行目      [ファイル名] : [表示期間] : [回転設定] : [スキップ] :
           :           :           :           :           :
```

START (「スタート」)、STOP (「ストップ」)、INTERVAL (「インターバル」)、MODE (「プレイモード」)、回転設定 (「回転」)、スキップ (「スキップ」) は、画像の設定メニュー (☞2-59)、またはサムネイルメニュー (☞2-60) で設定できます。

START * : スライドショーで最初に表示する画像番号を指定します。

STOP * : スライドショーで最後に表示する画像番号を指定します。

INTERVAL * : スライドショーでの画像 1 枚あたりの表示期間を、1 ~ 999(秒) の範囲で指定します。

MODE * : スライドショーの再生モードを指定します。

0 = ワンタイム 1 = エンドレス

[表示期間] : スライドショーでの表示期間を個別に指定します。

0 ~ 999900(ミリ秒) の範囲で、100 ミリ秒単位で指定します。

[回転設定] : 画像の回転を設定します。

rot1 = 時計方向に 90 度回転 rot2 = 180 度回転

rot3 = 時計方向に 270 度回転

[スキップ] : SKIP を設定すると、スライドショーで表示されません。

(プレイリストの記述例)

```
START 2: STOP 5: INTERVAL 3: MODE 0:
```

```
001.jpg :rot1 :: ←時計方向に 90 度回転、スライドショーでは表示されません
```

```
002.jpg :600 :: ←スライドショーで最初に 0.6 秒間表示されます。
```

```
003.jpg :700 :rot1 :: ←時計方向に 90 度回転、スライドショーでは 0.7 秒間表示されます。
```

```
004.jpg :::SKIP : ←スライドショーでは表示されません
```

```
005.jpg :rot2 :: ←180 度回転、スライドショーで最後に 3 秒間表示され、002.jpg に戻ります。
```

```
006.jpg :100 :rot2 :: ←スライドショーでは表示されません。
```

お知らせ

- プレイリストの 1 行に書ける文字数は、改行コードを含めて 255 文字までです。これを超えるとプレイリストは無効になり、プレイリストのエラーで表示できなくなります。
- プレイリストに登録できる画像ファイルは最大で 999 個です。999 を超える場合は、先頭から 999 個のファイルに登録します。フォルダ内にフォルダがある場合は、最大ファイル数はフォルダの数の分少なくなります。
- USB メモリが保護されているか、十分な空き容量が無い場合はプレイリストを作成できません。

USB ディスプレイ (Windows コンピュータ)

本機は USB ケーブルを介してコンピュータの画面を本機に転送、表示することができます。

コンピュータに必要なハードおよびソフトの必要条件

USB ケーブルを介して本機に画面を送信するための最小要件は以下の通りです。

- OS : Windows® XP Home Edition / Professional Edition (32bit 版のみ)
Windows Vista® Home Basic / Home Premium / Business / Ultimate /
Enterprise (32bit 版のみ)
Windows® 7 Starter / Home Basic / Home Premium / Professional /
Ultimate / Enterprise (32bit 版のみ)
- CPU : Pentium® 4 (2.8GHz 以上)
- メモリ : 512MB 以上
- ハードディスク空き容量 : 30MB 以上
- グラフィックインタフェース : 16bit、XGA 以上
- USB(A) 端子

USB ディスプレイの開始手順

1. 本機の **USB TYPE B** 端子とコンピュータの USB(A) 端子を USB ケーブルで接続します。
2. 「その他」メニューの「USB TYPE B」( 2-26) を「USB ディスプレイ」に設定します。
3. **USB TYPE B** 端子からの映像信号を選択してください。コンピュータが本機を CD-ROM ドライブとして認識し、本機内のアプリケーション、「LiveViewer Lite for USB」が自動的に起動してコンピュータ画面の送信を開始します。

"LiveViewer Lite for USB" が起動すると、コンピュータのタスクトレイに右のようなアイコンが表示されます。



お知らせ

- "LiveViewer Lite for USB" が自動的に起動しない場合は、以下の手順に従ってください。
 - 1) [スタート]メニューから、[ファイル名を指定して実行]を選択します。
 - 2) F:\%LiveViewerLiteForUSB.exe と入力し、[OK]をクリックします。
↑ コンピュータで CD-ROM ドライブが F ドライブでない場合は、F の代わりに CD-ROM ドライブに割り当てられているドライブ文字を入力してください。
- スクリーンセーバー動作中は、「LiveViewer lite for USB」が自動的に起動しません。
- パスワード保護のかかったスクリーンセーバーが働くと、本機へのコンピュータ画面の送信は停止します。送信を再開するには、スクリーンセーバーを終了させてください。
- "LiveViewer Lite for USB" は、ホームページで最新版を入手してください。
ホームページ URL: <http://www.hitachi.co.jp/proj/>
ホームページ内のアップデートに関する指示に従って、インストールしてください。
- "LiveViewer Lite for USB" は、「LiveViewer」実行中は起動できません。
"LiveViewer" 実行中に USB ディスプレイを開始しようとすると、コンピュータ画面に右のメッセージが表示されます。
- USB ケーブルが接続されているにもかかわらず「接続待ち状態」です。「表示が続く場合には、USB ケーブルを一度抜いて、しばらくしてから再度接続し直して下さい。

お知らせ

- 右クリックメニュー以外でも、以下の方法で"LiveViewer Lite for USB"を終了することができます。
 - ・ USB ケーブルを外す。
 - ・ 映像入力端子を切り替える。
 - ・ 「その他」メニューの「USB TYPE B」( 2-26) を「マウス」に設定する。
- "LiveViewer Lite for USB" を再起動するには、USB ケーブルを外して再度接続するか、映像入力端子を一度切り替えて再度 **USB TYPE B** 端子を選択してください。
- ご使用のコンピュータにインストールされているソフトウェアによっては、"LiveViewer Lite for USB" でコンピュータ画面を転送できないことがあります。
- ファイアウォール機能を備えたアプリケーションをインストールされている場合は、アプリケーションソフトウェアの説明書に従ってファイアウォールの設定を解除してください。
- セキュリティソフトの種類によっては、画面の送信がブロックされることがあります。その場合は、"LiveViewer Lite for USB" の使用を許可するよう、セキュリティソフトの設定を変更してください。
- **USB TYPE B** 端子から音声信号を選択しているときに、プロジェクターで音量 (設定) を最大まで上げてはまだ音量が小さい場合は、ご使用のコンピュータから音声が出力されているか確認したうえで、コンピュータの音量を上げてください。
- **HDMI** 端子の搭載されたコンピュータをご使用の場合、USB ディスプレイ表示中に HDMI ケーブルの挿入 / 抜去を行うと、コンピュータのオーディオ設定が変更され、音声の乱れや途切れが発生する場合があります。その場合は USB ディスプレイを再起動してください。
- USB ディスプレイ表示中に LAN (無線もしくは有線) に LiveViewer 接続を行うと画像や音声の途切れが発生することがあります。特に複数台のコンピュータを LiveViewer 接続する場合には、上記のパフォーマンス低下が目立つことがあります。

右クリックメニュー

タスクトレイのアイコンを右クリックすると右のようなメニューが表示されます。

表示 : フローティングメニューを表示します。タスクトレイのアイコンは表示されなくなります。

終了 : "LiveViewer Lite for USB" を終了します。



お知らせ

- 右クリックメニュー以外でも、以下の方法で"LiveViewer Lite for USB"を終了することができます。
 - ・USB ケーブルを外す。
 - ・映像入力端子を切り替える。
 - ・「その他」メニューの「USB TYPE B」(📖2-26)を「マウス」に設定する。

フローティングメニュー

右クリックメニューで「表示」を選択すると、右のようなフローティングメニューが表示されます。

(1) キャプチャ開始ボタン

本機へのコンピュータ画面の送信を開始します。

画面の送信を開始すると、停止ボタンに変化します。

(2) 停止ボタン

コンピュータ画面の送信を停止します。画面の送信を停止すると、キャプチャ開始ボタンに変化します。

(3) 一時停止ボタン

コンピュータ画面の送信を一時停止し、本機の投写画面を静止させます。

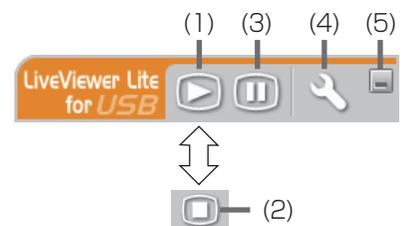
コンピュータ上での作業を、本機の画面に表示させたくない場合などに便利です。

(4) オプションボタン

オプションメニューを表示します。(📖2-69)

(5) 最小化ボタン

フローティングメニューを閉じ、コンピュータのタスクトレイにアイコンで表示します。



お知らせ

- キャプチャ開始ボタンと停止ボタンを頻繁にクリックすると、画面が正常に表示されなくなることがありますので、おやめください。

オプションメニュー

フローティングメニューのオプションボタンをクリックすると、オプションメニューが表示されます。

(1) “画質優先モード設定”

“LiveViewer Lite for USB” は、キャプチャしたコンピュータ画面を JPEG データとして本機に送信しています。JPEG データの圧縮率が異なる以下の2つのモードを切り替えて、画質、あるいは画面の更新スピードのどちらを優先するかを選択することができます。

“スピード優先”：

JPEG データの圧縮率を高く設定します。画面の更新間隔を短くできますが、画質は劣化します。

“画質優先”：

JPEG データの圧縮率を低く設定します。画質を良くできますが、画面の更新間隔が長くなります。

(2) 解像度変更しない

チェックボックスを外すと、コンピュータの画面の解像度は以下のように変更され、画面の転送速度が速くなります。

<CP-X4022WNJ> : 1024 × 768 (XGA)

<CP-WX4022WNJ> : 1280 × 800 (WXGA)

なお、上記の解像度をサポートしていないコンピュータをご使用の場合は、サポートしている解像度のうちで上記に近い解像度に変更されます。

(3) サウンド

音声のオン/オフを切り替えます。映像と一緒に転送されてくる音声を再生すると、画質が落ちることがあります。画質を優先する場合は、チェックボックスのチェックを外し、音声を切ってください。

(4) LiveViewer Lite for USB の表示

LiveViewer のアプリケーションウィンドウを表示したい場合は、ボックスをチェックしてください。



お知らせ

- このオプションがオフの時は、注釈レイヤーはプロジェクター画像に表示されません。

(5) バージョン情報

“LiveViewer Lite for USB” のバージョン情報を表示します。

お知らせ

- コンピュータの解像度を変えるとデスクトップのアイコンの配置が変わることがあります。
- 解像度を変更した場合、コンピュータのデスクトップにあるアイコンの並びが変更されることがあります。
- 「オーディオ」メニューの「音声入力設定」(2-19) で、AUDIO IN 端子のどれか、または [X] を USB TYPE A に選択している場合は、♪は操作できません。

USB ディスプレイ (Mac コンピュータ)

本機は USB ケーブルを介してコンピュータの画面を本機に転送、表示することができます。

コンピュータに必要なハードおよびソフトの必要条件

USB ケーブルを介して本機に画面を送信するための最小要件は以下の通りです。

- OS : Mac OSX 10.5(Intel)
Mac OSX 10.6(Intel)
Mac OSX 10.7(Intel)

このアプリケーションは Power PC に対応していません。

- メモリ : 512MB 以上
- ハードディスク空き容量 : 30MB 以上
- グラフィックインタフェース : 16bit、XGA 以上

USB ディスプレイの開始手順

1. 本機の **USB TYPE B** 端子とコンピュータの USB(A) 端子を USB ケーブルで接続します。
2. 「その他」メニューの「USB TYPE B」( 2-26) を「USB ディスプレイ」に設定します。
3. **USB TYPE B** 端子からの映像信号を選択してください。コンピュータが本機を CD-ROM ドライブとして認識します。CD-ROM をダブルクリックし、そして "LiveViewerLiteForUSB_MacOS.app." をクリックします。



お知らせ

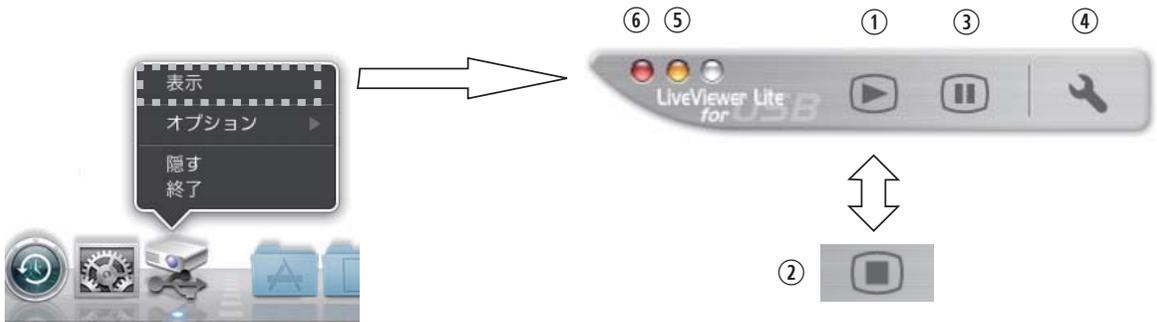
- スクリーンセーバー動作中は、"LiveViewer lite for USB" が自動的に起動しません。
- パスワード保護のかかったスクリーンセーバーが働くと、本機へのコンピュータ画面の送信は停止します。送信を再開するには、スクリーンセーバーを終了させてください。
- "LiveViewer Lite for USB" は、ホームページで最新版を入手してください。
ホームページ URL: <http://www.hitachi.co.jp/proj/>
ホームページ内のアップデートに関する指示に従って、インストールしてください。
- "LiveViewer Lite for USB" は、"LiveViewer" 実行中は起動できません。"LiveViewer" 実行中に USB ディスプレイを開始しようとする、コンピュータ画面に右のメッセージが表示されます。
- USB ケーブルが接続されているにもかかわらず "接続待ち状態です。" 表示が続く場合には、USB ケーブルを一度抜いて、しばらくしてから再度接続し直して下さい。



お知らせ

- 右クリックメニュー以外でも、以下の方法で"LiveViewer Lite for USB"を終了することができます。
 - ・ USB ケーブルを外す。
 - ・ 映像入力端子を切り替える。
 - ・ 「その他」メニューの「USB TYPE B」(☒2-26)を「マウス」に設定する。
- "LiveViewer Lite for USB"を再起動するには、USB ケーブルを外して再度接続するか、映像入力端子を一度切り替えて再度 **USB TYPE B** 端子を選択してください。
- ご使用のコンピュータにインストールされているソフトウェアによっては、"LiveViewer Lite for USB"でコンピュータ画面を転送できないことがあります。
- ファイアウォール機能を備えたアプリケーションをインストールされている場合は、アプリケーションソフトウェアの説明書に従ってファイアウォールの設定を解除してください。
- セキュリティソフトの種類によっては、画面の送信がブロックされることがあります。その場合は、"LiveViewer Lite for USB"の使用を許可するよう、セキュリティソフトの設定を変更してください。
- **USB TYPE B** 端子から音声信号を選択しているときに、プロジェクターで音量(設定)を最大まで上げてはまだ音量が小さい場合は、ご使用のコンピュータから音声が出力されているか確認したうえで、コンピュータの音量を上げてください。
- **HDMI** 端子の搭載されたコンピュータをご使用の場合、USB ディスプレイ表示中に HDMI ケーブルの挿入 / 抜去を行うと、コンピュータのオーディオ設定が変更され、音声の乱れや途切れが発生する場合があります。その場合は USB ディスプレイを再起動してください。
- USB ディスプレイ表示中に LAN (無線もしくは有線) に LiveViewer 接続を行うと画像や音声の途切れが発生することがあります。特に複数台のコンピュータを LiveViewer 接続する場合には、上記のパフォーマンス低下が目立つことがあります。

メニュー



右クリックメニューで「表示」を選択すると、右のようなフローティングメニューが表示されます。

(1) キャプチャ開始ボタン

本機へのコンピュータ画面の送信を開始します。

画面の送信を開始すると、停止ボタンに変化します。

(2) 停止ボタン

コンピュータ画面の送信を停止します。画面の送信を停止すると、キャプチャ開始ボタンに変化します。

(3) 一時停止ボタン

コンピュータ画面の送信を一時停止し、本機の投写画面を静止させます。

コンピュータ上で作業を、本機の画面に表示させたくない場合などに便利です。

(4) オプションボタン

オプションメニューを表示します。(📖2-73)

(5) 最小化ボタン

フローティングメニューを閉じ、コンピュータのタスクトレイにアイコンで表示します。

(6) 終了ボタン

フローティングメニューを閉じます。

お知らせ

- キャプチャ開始ボタンと停止ボタンを頻繁にクリックすると、画面が正常に表示されなくなることがありますので、おやめください。

オプションメニュー

フローティングメニューのオプションボタンをクリックすると、オプションメニューが表示されます。

(1) “画質優先モード選択”

“LiveViewer Lite for USB” は、キャプチャしたコンピュータ画面を JPEG データとして本機に送信しています。JPEG データの圧縮率が異なる以下の2つのモードを切り替えて、画質、あるいは画面の更新スピードのどちらを優先するかを選択することができます。

“スピード優先”：

JPEG データの圧縮率を高く設定します。画面の更新間隔を短くできますが、画質は劣化します。

“画質優先”：

JPEG データの圧縮率を低く設定します。画質を良くできますが、画面の更新間隔が長くなります。

(2) 解像度変更しない

チェックボックスを外すと、コンピュータの画面の解像度は以下のように変更され、画面の転送速度が速くなります。

<CP-X4022WNJ> : 1024 × 768 (XGA)

<CP-WX4022WNJ> : 1280 × 800 (WXGA)

なお、上記の解像度をサポートしていないコンピュータをご使用の場合は、サポートしている解像度のうちで上記に近い解像度に変更されます。

(3) サウンド

音声のオン/オフを切り替えます。映像と一緒に転送されてくる音声を再生すると、画質が落ちることがあります。画質を優先する場合は、チェックボックスのチェックを外し、音声を切ってください。



お知らせ

- このオプションがオフの時は、注釈レイヤーはプロジェクター画像に表示されません。

(4) バージョン情報

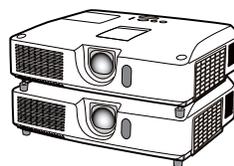
“LiveViewer Lite for USB” のバージョン情報を表示します。

お知らせ

- コンピュータの解像度を変えるとデスクトップのアイコンの配置が変わることがあります。
- 解像度を変更した場合、コンピュータのデスクトップにあるアイコンの並びが変更されることがあります。
- 「オーディオ」メニューの「音声入力設定」(2-19) で、AUDIO IN 端子のどれか、または [X] を USB TYPE A に選択している場合は、♪ は操作できません。

簡易スタック

簡易スタック機能は、本機を2台使用して1つの画面を投写する機能です。2台のプロジェクターを同時に動作させて2台分の明るい画面を投写することができます。2台をRS-232Cクロスケーブルで接続すると連結モードとなり、交互に使用したり、片方にアクシデントが発生したときに自動的にもう片方が代わりを努めるようにできます。これらの機能を簡易スタックと呼び、様々な使用方法を提供します。



はじめに

簡易スタック時のご注意

簡易スタックの準備を始める前に、以下のご注意をよくお読みになり、ご理解のうえ正しくお使いください。その他に必要な情報がある場合は、販売店にご相談ください。

簡易スタックの特徴

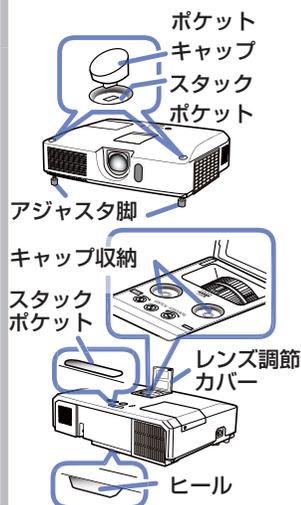
警告

- **不安定な場所に置かない、不安定な置きかたをしない**
 - ▶ 上側のプロジェクターのヒールとアジャスタ脚が下側のプロジェクターのスタックポケットにきちんとはめ込まれるよう、ご注意ください。
 - ▶ 2台のプロジェクターを重ねて簡易スタックとして使用する場合、下側のプロジェクターのアジャスタ脚を調節することで投影角度を調節することができます。調節の際は重ねたプロジェクターが落下または転倒しないようご注意ください。
 - ▶ 2台を超えて重ねて使用しないでください。
 - ▶ 重ねて使用する場合は、人の身長より高い位置に設置しないでください。また、天吊りで使用しないでください。
 - ▶ 本書に指定がある場合を除き、本機に触ったり、物をぶつけて落とさないようご注意ください。



- **ポケットキャップの取扱いに注意する**

ポケットキャップは、お子様やペットが飲み込まないように、きちんとキャップ収納にはめて保管してください。万一、飲み込んだ場合はすぐに医師にご相談ください。



注意



- ポケットキャップを取り外す際は、必ずピンなどの細い棒状の道具をご使用ください。直接指でポケットキャップを取り外すと、つまなどを傷める恐れがあります。

お守りください

- 連結モードは同じ機種 (2台) の組み合わせでのみ動作可能です。
- 簡易スタックには、必ずフラットスクリーンをご使用ください。
ご使用になるスクリーンがたわんでいたり、破損していたり、傾いていたりすると、2台の画面がきれいに重なり合わないことがあります。
- ▶ 本機の電源を入れてすぐは、本機内部の温度が上昇し、画面の位置や焦点がずれる場合がありますので、電源を入れて20分以上たってから、2台の画面を重ね合わせてください。
- ▶ 簡易スタックでご使用になる場合は、特に安定した場所に設置してください。また、本書に指定がある場合を除き、本機に触ったり、物をぶつけないようご注意ください。温度の変化や振動や衝撃を与えると、本機の位置が動き、重ね合わせた画面がずれることがあります。画面がずれた場合は、周囲が安定してからもう一度画面を重ね合わせてください。
- ▶ 接続ケーブルの重みや突っ張りで、時間がたつと重ねた画面が動いてずれてしまうことがあります。ケーブルは、本機に負担がかからないよう接続してください。
- ▶ 2台を重ねて使用する場合、スピーカーの音量を大きく設定していると、共振により本体から雑音が発生したり、画面が震えて見えにくくなる場合があります。その場合は、スピーカーの音量を下げ、画面が動いてしまった場合は、もう一度画面を重ね合わせてください。
- ▶ 2台のプロジェクターがRS-232Cケーブルで接続され、メイン機がサブ機を制御する状態を連結モードといいます。連結モードをご使用になる場合は、外部から**CONTROL**端子を経由してRS-232Cコマンドを受け取ることができません。コマンドを使用して本機を制御する場合は、メイン機をネットワークに接続し、LAN端子を経由してコマンドを送信してください。
- ▶ 連結モードでご使用になる場合は、操作と設定の一部が制限されます。詳しくは ( 2-102, 103) を参照してください。

警告



電源プラグ
を
コンセント
から抜け

- 異常が発生したら、すぐに電源プラグを抜く
電源プラグはすぐに抜くことができるように設置してください。



- ぐらついた台の上や傾いた場所、振動の多い場所など不安定な場所には置かないでください
▶設置器具は、本書の指定品をご使用になり、本書および本機の注意ラベルをよくお読みになり、取扱いには十分ご注意ください。
▶天吊り(天井設置)などの特殊な設置は、必ず事前に販売店にご相談ください。



- クリップやピンなどの金属の小物や、紙片などの燃え易いものを本機の上や近くに置かないでください



- 調理台のある場所や機械油などを使用する場所に設置しないでください



- 水を掛けたり、水や雨の掛かる場所に置いたりしないでください

注意



- 通風孔をふさがない
▶周辺の壁や物から 30cm 以上離して設置してください。
▶2 台を並べて使用する場合は、お互いに 30cm 以上離して設置してください。
▶通風孔をふさいだり、近くに物を置いたりしないでください。
▶本機に磁気を近づけたり、磁気を発生するものの近くに置いたりすると、冷却ファンが止まったり回転速度に異常を生じることがあります。



- 煙や湿気、ほこりの多いところには置かない
▶超音波式加湿器などで、水道水に含まれる塩素やミネラル成分が霧化されて本機に付着すると、故障や映像不良の原因となることがあります。

お守りください

- 光源や直射日光などの強い光を避けて設置してください。リモコン受光部に強い光が当たると、リモコンが正常に働かないことがあります。
▶電波を発生する装置の近くに設置しないでください。

準備

簡易スタック

簡易スタックを使用すると、2台のプロジェクターの画面を簡単に重ねることができます。

連結モードと単体モード

簡易スタック機能には2つの使用モードがあります。

連結モードでは、2台のプロジェクターをRS-232C（クロス）ケーブルで接続し、必要な設定を行うことで、2台を連携して使用できます。2台を自動的に交代させて使用する場合に便利です。

単体モードでは、2台のプロジェクターをRS-232C（クロス）ケーブルで接続せずに各々独立して使用します。

連結モードと単体モードの遠隔操作について

連結モードでは、片方のプロジェクターをメイン機に、もう一方をサブ機に設定します。リモコン操作はメイン機のみ動作し、サブ機の操作はメイン機を通して行います。サブ機を操作する場合はリモコンをメイン機に向けて操作します。詳しくは「連結モードの重要なお知らせ」(☞2-93, 94)をご覧ください。

単体モードではリモコンは各々動作するため、リモコンでどちらか片方のみを操作したい場合は、「その他」メニューの「特別な設定」－「キーロック」(☞2-31)で、リモコン操作をロックしたうえで、操作パネルで操作してください。

設置スタイル

プロジェクターを設置するには以下2つのスタイルがあります。簡易スタックではどちらのスタイルでも設置することができます。

スタイル1：縦に重ねる

スタイル2：横に並べる

本書では主にスタイル1の設置方法について記載しています。

設置

安全にご使用頂くため、「簡易スタック時のご注意」(☞2-74～76)に加え、以下の簡易スタックの正しい使い方についてもお読みください。

- 同じ機種のプロジェクターをご使用ください。
- スクリーンがプロジェクターに対し直角であることを確認してください。
- 連結モードでご使用になる場合、どちらかのプロジェクターの「スタックモード」が「サブ」に設定されるまでは、2台共リモコン操作が有効です。設置の間は、片方を「その他」メニューの「特別な設定」－「キーロック」(☞2-31)で、リモコン操作をロックしたうえで、操作パネルで操作することをおすすめします。
- 2台を重ねて使用する場合は、時間がたつと、重ねた画面が動いてずれてしまう場合があります。その際は、もう一度画面を重ね合わせてください。
- 2台を重ねて使用する場合、スピーカーの音量を大きく設定していると、共振により本体から雑音が発生したり、画面が震えて見えにくくなる場合があります。その場合は、スピーカーの音量を下げ、画面が動いてしまった場合は、もう一度画面を重ね合わせてください。

連結モードの準備

RS-232C ケーブルを接続して連結モードをご使用になる場合は、2台のプロジェクターに以下の設定がされていることをご確認ください。正しく設定されていない場合、連結モードは正常に動作しません。

- 「設置」メニューの「スタンバイモード」(☞2-18)を「通常」に設定する。
- 「その他」メニューの「特別な設定」－「通信設定」－「通信タイプ」(☞2-32)を「オフ」に設定する。
- 「セキュリティ」メニューの「スタックロック」(☞2-56)を「オフ」に設定する。
「スタックロック」がオンに設定されている場合、簡易スタック関係のメニューは操作できません。以下の手順に従って、設置および設定の間はスタックロックをオフに設定してください。
 - (1) カーソルボタン ▲ / ▼ / ◀ / ▶ で以下のメニューに進んでください。
「詳細メニュー」-「セキュリティ」メニュー (パスワードを入力) -「スタックロック」(☞2-56)
「スタックロック」ダイアログが表示されます。
 - (2) カーソルボタン ▲ / ▼ で「オフ」を選択し、カーソルボタン ▶ を押して設定を完了させてください。



下側のプロジェクターの設置

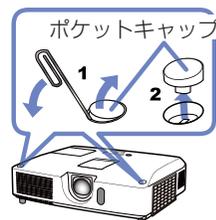
ポケットキャップをはずす

2台のプロジェクターを重ねる場合、下側のプロジェクターのポケットキャップをはずしてください。

注意

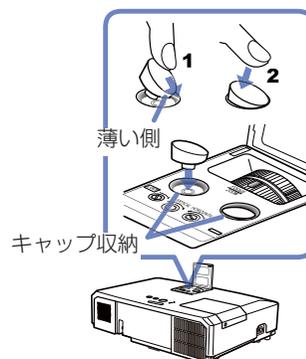


- ポケットキャップを取り外す際は、必ずピンなどの細い棒状の道具をご使用ください。直接指でポケットキャップを取り外すと、つめなどを傷める恐れがあります。



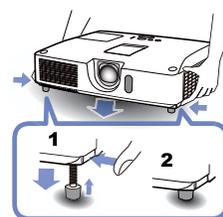
お知らせ

- ポケットキャップを収納するキャップ収納はレンズ調節カバーの内部にあります。ポケットキャップをはずした場合は、キャップ収納に保管してください。保管するには、レンズ調節カバーを開け、ポケットキャップを図のようにレンズ調節パネルのキャップ収納に薄い側からはめこんでください。
- ポケットキャップはお子様やペットが飲み込まないように、きちんとキャップ収納にはめて保管してください。



アジャスタ脚の準備

2台のプロジェクターを重ねる場合、アジャスタボタンを使って両プロジェクターのアジャスタ脚を最も短い状態にしてください。



注意



- 2台を重ねて使用する場合は、上側のプロジェクターが滑り落ちないように、特にご注意ください。

設置位置を決める

下側のプロジェクターの設置位置と投射角度を決めます。詳細は「傾きを調節する」(1-38) をご参照ください。

お知らせ

- 下側のプロジェクターは前上がり 12° 以内で設置してください。
- 設置位置を決める際には以下のことに気をつけてください。
 - レンズシフトダイヤル (垂直) は、一番上に設定してください。
 - 画面のサイズと映像の焦点を合わせる (1-39) 際は、ズーム調節を WIDE (大きく表示) 側一杯にはしないようご注意ください。
 - レンズシフトダイヤル (水平) は、左右中央付近に設定してください。

下側のプロジェクターを準備する

1. 下側のプロジェクターの電源を入れてください。
2. レンズシフトダイヤル（垂直）を、一番上へ設定してください。

お知らせ

- レンズシフトダイヤル（垂直）を一番上に設定していないと、上側のプロジェクターの画面が下側のプロジェクターの画面にうまく重なり合わないことがあります。
- 「設置」メニューの「設置方法」(☞2-18) の設定を変更すると、画面の位置がずれる場合があります。あらかじめ「設置方法」を設定してから画面を重ね合わせてください。
- レンズシフトダイヤル（水平）は、左右中央付近に設定してください。

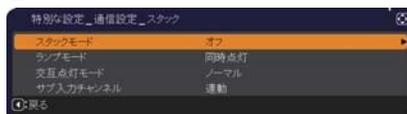
3. ズームリング、フォーカスリング、レンズシフトダイヤルを使用して下側のプロジェクターの画面サイズと映像の焦点、画面の垂直／水平方向の位置を調節してください(☞1-39)。また、必要に応じて、キーストン、コーナーフィットを使い画面の位置および形状を調節してください(☞1-41, 42)。

お知らせ

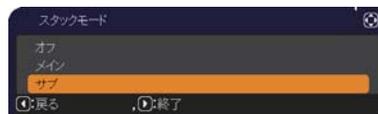
- ズーム調節が WIDE(大きく表示) 側一杯になっていると、上側のプロジェクターの画面を下側に合わせて調節できず、2台の画面が重なり合わないことがあります。下側のプロジェクターの画面サイズは、上側のプロジェクターの画面サイズより小さくなるように調整してください。
- 画面が「コーナーフィット」により調節されている場合は、「キーストン」による調節はできません。両方を使用する場合は、最初に「キーストン」による調節を行ってください。
- 単体モードでご使用になる場合は「上側のプロジェクターの設置」(☞2-81) へ進んでください。

4. メニューボタンでメニューを表示させてください。「メニュー機能の使い方」(☞2-2) を参照ください。
5. カーソルボタン ▲ / ▼ / ◀ / ▶ で以下のメニューに進んでください。

「詳細メニュー」 - 「その他」メニューの「特別な設定」 - 「通信設定」 - 「スタック」(☞2-33)
スタックメニューが表示されます。



6. カーソルボタン ▲ / ▼ で「スタックモード」を選択し、カーソルボタン ▶ を押して「スタックモード」ダイアログを表示させてください。
カーソルボタン ▲ / ▼ で「サブ」を選択し、カーソルボタン ▶ を押してください。



7. カーソルボタン ▶ を押した後、表示されている設定を保存するかを確認するダイアログが表示されます。
カーソルボタン ▶ を押して設定を完了させてください。



8. 連結モードでご使用になる場合、「その他」メニューの「特別な設定」 - 「キーロック」(☞2-31) で、リモコン操作をロックしてください。

お知らせ

- この後、下側のプロジェクターはリモコンで操作できなくなります。リモコン操作で2台のプロジェクターが同時に動作することを避けるために、リモコン操作をロックしてご使用になることをおすすめします。
- 「スタックモード」の設定が終わると下側のプロジェクター（サブ機）はリモコン操作ができなくなります。リモコン操作が必要であれば、「スタックモード」を一度「オフ」に設定し、キーロックを外してください。

上側のプロジェクターの設置

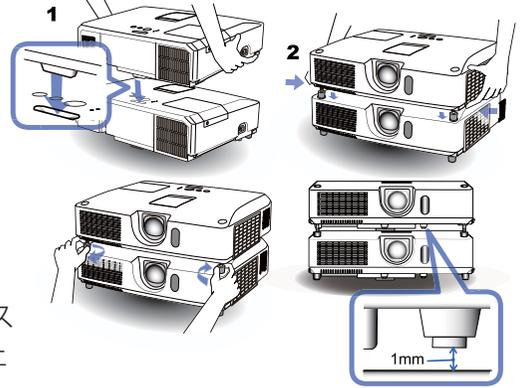
プロジェクターを重ねる

1. ヒールを、下側のプロジェクター上面にある背面近くのスタックポケットにはめ込んで、2 台を重ねてください。
2. プロジェクターを持ち上げずにアジャスタボタンを押してアジャスタ脚を伸ばし、下側のプロジェクター前面近くの 2 つのスタックポケットに奥まできちんとはめ込んでください。

注意



- 2 台を重ねて使用する場合は、上側のプロジェクターが滑り落ちないように、特にご注意ください。



応用編

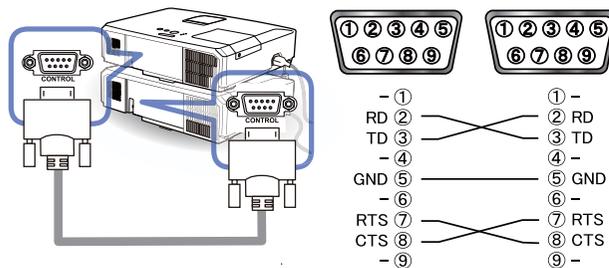
3. アジャスタ脚を反時計回りに回して、ヒールとアジャスタ脚以外の部分が下側のプロジェクターから 1mm 以上離れるよう、調節してください。

お知らせ

- 上下のプロジェクターの間隔を必ず 1mm 以上空けてください。共振により本体から雑音が発生したり、画面が震えて見えにくくなったり、画面がずれてしまうことがあります
- 上側のプロジェクターの画面が下側のプロジェクターの画面に対して大きく傾いている場合、画面がうまく重ならないことがあります。
- 下側のプロジェクターの傾きをすでに調節している場合は、水平面に対し、上方に 12° 以内となるように設置してください。

プロジェクターを接続する

連結モードでご使用になる場合は、下側のプロジェクターの **CONTROL** 端子と上側のプロジェクターの **CONTROL** 端子を RS-232C ケーブルで接続してください。



上側のプロジェクターを準備する

1. 上側のプロジェクターの電源を入れてください。

お知らせ

- 画面が下側のプロジェクターの画面に対して大きく傾いている場合は、アジャスタボタンとアジャスタ脚で、傾きを調節してください。ただし、下側のプロジェクターの間隔を、1mm 以上に保ってください。

2. 「キーストン」、「コーナーフィット」の調整を一度リセットしてください(☞1-41)。

お知らせ

- 画面が「コーナーフィット」により調節されている場合は、「キーストン」による調節はできません。両方を使用する場合は、最初に「キーストン」による調節を行ってください。
- 「設置」メニューの「設置方法」(☞2-18)の設定を変更すると、画面の位置がずれる場合があります。あらかじめ「設置方法」を設定してから画面を重ね合わせてください。

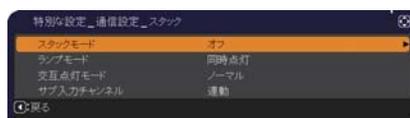
3. 下側のプロジェクターの画面にうまく重なるように、ズームリング、フォーカスリング、レンズシフトダイヤルを使用して上側プロジェクターの画面サイズと映像の焦点、画面の垂直／水平方向の位置を調節してください(☞1-39)。

お知らせ

- キーストン、コーナーフィットを使い、画面の位置、形状を調節してください。キーストン、コーナーフィットでは画面のサイズを大きくすることはできません。あらかじめ、上側のプロジェクターの画面の中に、下側のプロジェクターの画面が完全に含まれるように設置しておくことが重要です。
- 上側のプロジェクターをリモコンで操作する際に、下側のプロジェクターも反応してしまうため、上側のプロジェクターを操作パネルで操作することをおすすめします。
- 2台のプロジェクターを横に並べて使用する場合、片方のプロジェクターの画面に他方のプロジェクターの画面が重なるように調節してください。
- 単体モードで使用する場合は、「その他」メニューの「特別な設定」－「キーロック」(☞2-31)で、片方のプロジェクターのリモコン操作をロックし、片方のプロジェクターをリモコンで、他方のプロジェクターは操作パネルで操作してください。
- 単体モードを使用する場合は、「単体モードの場合」(☞2-85)へ進んでください。

4. メニューボタンでメニューを表示させてください。「メニュー機能の使い方」(☞2-2)を参照ください。

5. カーソルボタン ▲ / ▼ / ◀ / ▶ で以下のメニューに進んでください。
「詳細メニュー」 - 「その他」メニューの「特別な設定」 - 「通信設定」 - 「スタック」(☞2-33, 34)
スタックメニューが表示されます。



6. カーソルボタン ▲ / ▼ で「スタックモード」を選択し、カーソルボタン ▶ を押して「スタックモード」ダイアログを表示させてください。カーソルボタン ▲ / ▼ で「メイン」を選択し、カーソルボタン ◀ を押して前のメニューに戻ってください。



7. カーソルボタン ▲ / ▼ で「ランプモード」を選択し、カーソルボタン ▶ を押して「ランプモード」ダイアログを表示させてください。カーソルボタン ▲ / ▼ で「同時点灯」を選択し、カーソルボタン ▶ を押してください。



8. カーソルボタン ▶ を押した後、表示されている設定を保存するかを確認するダイアログが表示されます。カーソルボタン ▶ を押して設定を完了させてください。(☞2-92)



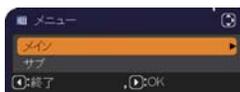
メイン機とサブ機の設定確認

1. メイン機を操作するため、リモコンのメニューボタンを押してください。

お知らせ

- 連結モードでご使用になる場合、メイン機はリモコン信号を受信することができますが、サブ機はリモコン信号には反応しません。

2. 下のダイアログが画面の右下に表示されます。



メイン機（上側）



サブ機（下側）

3. カーソルボタン▶を押すとダイアログは閉じ、「メイン」を選択していた場合はメイン機のメニューが表示されます。

カーソルボタン◀を押すとダイアログは閉じ、メニューも消えます。

お知らせ

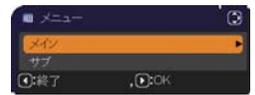
- これらのダイアログが表示されない場合は、RS-232C ケーブルの接続 (☞2-81) を確認し、「スタックモード」ダイアログでメイン機およびサブ機の設定を確認してください。(☞2-87)

画面位置の微調節

2 台のプロジェクターの画面を重ね合わせるには、「コーナーフィット」を使ってメイン機の画面サイズと位置を調節します。

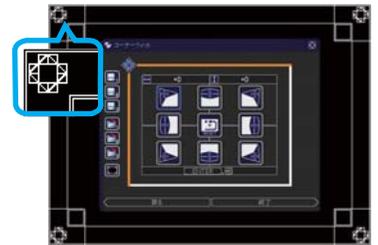
連結モードの場合

1. リモコンまたはメイン機の操作パネルの**メニュー**ボタンを押してください。「メニュー」ダイアログが表示されます。カーソルボタン▲ / ▼で「メイン」を選択してカーソルボタン▶を押してください。メイン機のメニューが表示されます。



メイン機の画面
(上側プロジェクター)

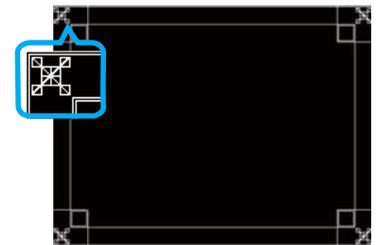
2. リモコンまたはメイン機の操作パネルのカーソルボタン▲ / ▼ / ◀ / ▶で「簡単メニュー」、または「詳細メニュー」の「設置」メニューを表示させ、「コーナーフィット」を選択してカーソルボタン▶を押してください。メイン機、サブ機の画面にそれぞれの連結モード用のテンプレート画面が表示され、メイン機の画面には「キーストン_コーナーフィット」ダイアログが表示されます。「スタック」のテンプレート画面には、四隅に、画面を重ね合わせるための目安が表示されます。



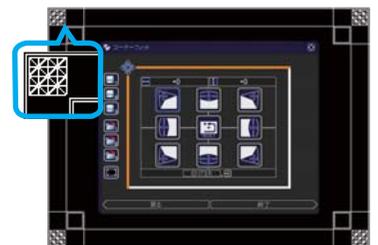
メイン機の画面
(上側プロジェクター)

3. 「画面のひずみを補正する」(☞1-41, 42)を参考に、四隅の目安がきれいに重なるよう、メイン機の画面のサイズと形状をサブ機の画面に合わせてください。

まずは左上隅→右上隅→右下隅→左下隅の順で粗く合わせた後で、同じ順番で細かく合わせてください。



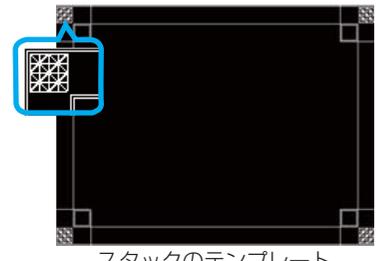
サブ機の画面
(下側プロジェクター)



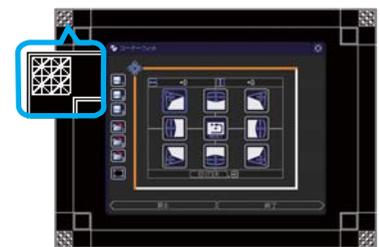
重なった画面

単体モードの場合

1. 下側のプロジェクターに向けてリモコンの**メニュー**ボタンを押してください。メニューが表示されます。
2. カーソルボタン▲/▼/◀/▶で「詳細メニュー」を表示させ、「スクリーン」メニューの「テンプレート」(☞2-23)で「スタック」を選択し、テンプレート画面を表示させてください。
3. 上側のプロジェクターの操作パネルの**メニュー**ボタンを押してください。メニューが表示されます。
4. カーソルボタン▲/▼/◀/▶で「簡単メニュー」、または「詳細メニュー」の「設置」メニューを表示させ、「コーナーフィット」を選択してカーソルボタン▶を押してください。「スタック」のテンプレート画面と「キーストン_コーナーフィット」ダイアログが表示されます。「スタック」のテンプレート画面には、四隅に、画面を重ね合わせるための目安が表示されます。
5. 「画面のひずみを補正する」(☞1-41, 42)を参考に、もう片方の画面に、サイズと形状を合わせてください。
まずは左上隅→右上隅→右下隅→左下隅の順で粗く合わせた後で、同じ順番で細かく合わせてください。



スタックのテンプレート



コーナーフィット

お知らせ

- 「コーナーフィット」の詳細については、【応用編】の「簡単メニュー」の「コーナーフィット」(☞2-4)、または「設置」メニューの「コーナーフィット」(☞2-17)をご参照ください。
- 2台のプロジェクターを横に並べる場合も、上記のように、片方のプロジェクターの画面にもう片方のプロジェクターの画面のサイズと形状を合わせてください。
- 必ずフラットスクリーンをご使用ください。スクリーンがたわんでいたり、破損していたり、傾いていたりすると、「コーナーフィット」で四辺のたわみを調節しても、画面をきれいに重ね合わせるのは大変難しくなります。
- 「コーナーフィット」で画面を重ね合わせた後でも、入力信号によっては映像がずれてしまうことがあります。その際は、以下の方法を試してください。
 - オートボタンまたは「表示」メニューの「オートアジャスト実行」(☞2-11)で画面の自動調整を実行する。
 - 「表示」メニューの「垂直位置」(☞2-10)、「水平位置」を調節する。
 - 「入力」メニューの「解像度」(☞2-15)を2台共同設定にする。

スタックメニュー設定

「スタック」メニューを使って連結モードの設定をします。

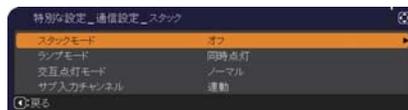
お知らせ

- 単体モードでご使用になる場合は、本章を読んで頂く必要はありません。
- ここまでの設置手順で行った設定を変更する必要のない方は「ランプモードを選択する」(☞2-88)へ進んでください。
- 「連結モードの重要なお知らせ」をお読みください。(☞2-93)

スタックメニューを表示する

カーソルボタン ▲ / ▼ / ◀ / ▶ で以下のメニューに進んでください。

「詳細メニュー」 - 「その他」メニューの「特別な設定」 - 「通信設定」 - 「スタック」(☞2-33, 34)



画面に「スタック」メニューが表示されます。
連結モードの設定は本メニューで行います。

お知らせ

- 2台のプロジェクターで以下の設定を確認してください。正しく設定されていない場合、「スタック」メニューは選択できません。
 - 「設置」メニューの「スタンバイモード」(☞2-18)：「通常」
 - 「その他」メニューの「特別な設定」 - 「通信設定」 - 「通信タイプ」(☞2-32)：「オフ」
 - 「セキュリティ」メニューの「スタックロック」(☞2-56)：「オフ」

メイン、サブまたはオフを選択する

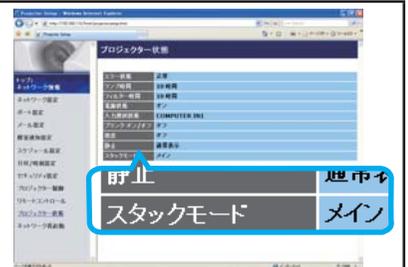
連結モードでご使用になる場合は、「メイン」または「サブ」を選択してください。「スタックモード」ダイアログで、片方のプロジェクターが「メイン」に設定され、もう片方のプロジェクターが「サブ」に設定されると連結モードが始動します。連結モードを使用しないときは「オフ」を選択してください。

1. カーソルボタン▲/▼で「スタック」メニューの「スタックモード」を選択し、カーソルボタン▶を押すと「スタックモード」ダイアログが表示されます。
2. カーソルボタン▲/▼でダイアログの「メイン」、「サブ」、または「オフ」を選択して下さい。
オフ：連結モードを終了します。
メイン：プロジェクターをメイン機に設定します。
サブ：プロジェクターをサブ機に設定します。
3. カーソルボタン◀を押して前のメニューへ戻るか、カーソルボタン▶を押して設定を終了してください。(☞2-92)



お知らせ

- 「スタックモード」の設定は、Web コントロール画面 (☞3-37) から確認できます。「プロジェクター Web コントロール」-「プロジェクター状態」を選択し、「スタックモード」を確認してください。本項目は、スタックモードが「メイン」または「サブ」に設定されている時だけ表示されます。



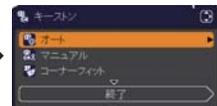
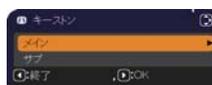
ランプモードを選択する

同時点灯モードまたは交互点灯モードを選択します。

1. カーソルボタン▲ / ▼で「スタック」メニューの「ランプモード」を選択し、カーソルボタン▶を押すと「ランプモード」ダイアログが表示されます。
2. カーソルボタン▲ / ▼で「同時点灯」または「交互点灯」を選択してください。
同時点灯：2台のプロジェクターを同時にランプ点灯します。
交互点灯：2台のプロジェクターを交互にランプ点灯します。
3. カーソルボタン◀を押して前のメニューへ戻るか、カーソルボタン▶を押して設定を終了してください。(☞2-92)

お知らせ

- 「同時点灯」が選択された場合、プロジェクターの操作パネルまたはリモコンのボタンが押されると「メイン」と「サブ」を選択する画面が表示されます。以下の例のように操作したいプロジェクターを選択してください。
- 「メニュー」ボタンを押すと、「メイン」と「サブ」を選択する画面が表示されます。「メイン」を選択すると、メイン機の「簡単メニュー」または「詳細メニュー」が表示されます。
- キーストンボタンを押すと、「メイン」と「サブ」を選択する画面が表示されます。「メイン」を選択すると、メイン機の「キーストン」メニューが表示されます。
- 「ランプモード」で「同時点灯」が選択された場合、以下のように動作が変更されます。
- メイン機、サブ機共、オートパワーオフ機能と映像の静止機能が無効になります。
- ガンマ／色温度のカスタム調節テストパターンが表示されなくなります。
- ランプ点灯が完了するまでの所要時間が長くなります。



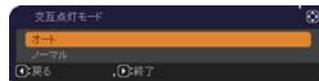
お知らせ

- 「ランプモード」を「同時点灯」に設定するときは、メイン機とサブ機の画面を合わせるため、以下の通り設定を変更してください。
 - 「初期画面」と「テンプレート」の設定を同じ設定にする。
 - 「マイスクリーン」(☞2-21)に同じ画面を登録する。
 - 同じマイ イメージ(☞3-47)、および同じメッセージテキスト(☞3-48)を登録する。
- 「ランプモード」を「同時点灯」に設定するときは、画面の位置がずれて画質が劣化する場合があります。画面の位置を調節する前に、「設置」メニューの「設置方法」(☞2-18)を設定してください。
- 「交互点灯」が選択された場合、ランプが点灯中のプロジェクターに何らかのエラーが発生し、ランプが消灯されたときに、自動的にもう片方のランプが点灯するようになります(フェールセーフ機能)。しかし、RS-232Cケーブルが接続されていない、またはAC電源が供給されていない場合は、もう片方のプロジェクターのランプは点灯されません。
- 2台のプロジェクターの「暗証コードロック」または「状態監視」が有効に設定されている場合、交互点灯が選択されていても、はじめは両方のプロジェクターのランプを点灯させます。両方のプロジェクターに正しい暗証コードを入力すると、片方のプロジェクターがランプ消灯し、1台だけ点灯した状態になります。
- 連結モードでは、重ねて使用する場合にサブ機のインジケータが見えにくくなるため、メイン機のインジケータ表示が通常と異なる動作になります。メイン機とサブ機の両方がスタンバイ状態の場合、メイン機の操作パネルまたはリモコンの**点灯**／**消灯**ボタンが押されると、メイン機が「スタックモード」の設定によりどちらのプロジェクターを点灯させるかを決めます。
 - メイン機の電源インジケータが緑色に点滅してる間は、メイン機がどちらのプロジェクターを点灯させるか決めます。
 - メイン機のランプを点灯させた場合、メイン機の電源インジケータは通常状態であれば緑色に点灯したままです。
 - サブ機のランプを点灯させた場合、メイン機の電源インジケータは橙色に点灯します。
 - メイン機でエラーが起きた場合には、サブ機のランプが点灯し、メイン機の電源インジケータは赤色に点滅します。

交互点灯モードを選択する

「ランプモード」で「交互点灯」を選択した場合、「交互点灯モード」(☞2-34)の「オート」または「ノーマル」を選択してください。

1. カーソルボタン▲/▼で「スタック」メニューの「交互点灯モード」を選択し、カーソルボタン▶を押すと「交互点灯モード」ダイアログが表示されます。
2. カーソルボタン▲/▼でダイアログの「オート」または「ノーマル」を選択して下さい。
オート：ランプの使用時間が短い方を点灯させます。(☞2-27)
ノーマル：前回点灯していなかった方を点灯させます。
3. カーソルボタン◀を押して前のメニューへ戻るか、カーソルボタン▶を押して設定を終了してください。(☞2-92)



お知らせ

- 「交互点灯モード」ダイアログは「ランプモード」ダイアログで「交互点灯」が選択されている場合にメイン機において操作することができます。
- 「オート」に設定しても、本機の画質や信頼性を維持するため、ランプ使用時間の長い方が点灯する場合があります。

サブ機の入力信号を選択する

1. カーソルボタン▲ / ▼で「スタック」メニューの「サブ入力チャンネル」を選択し、カーソルボタン▶を押すと「サブ入力チャンネル」ダイアログが表示されます。
2. カーソルボタン▲ / ▼でダイアログの「連動」または「固定 (COMPUTER IN 1)」を選択して下さい。
連動：メイン機と連動して、メイン機と同じ入力端子に切り替えます。
固定 (COMPUTER IN 1)：**COMPUTER IN1** 端子からの入力に固定されます。**COMPUTER IN1** 端子には、メイン機の **MONITOR OUT** 端子からの入力を接続してください。
3. カーソルボタン◀を押して前のメニューへ戻るか、カーソルボタン▶を押して設定を終了してください。(☞2-92)

お知らせ

- 「サブ入力チャンネル」を「固定 (COMPUTER IN 1)」に設定すると、メイン機の、**COMPUTER IN1 / 2** 端子からの映像信号しか選択できなくなります。連結モードで使用中は、**コンピュータボタン**、**ビデオボタン**、**マイソースボタン**、入力端子の切り替えを割り当てた**マイボタン**、またはメイン機の**入力切替ボタン**を押すと、映像入力信号を選択するダイアログが表示されます。
- 「サブ入力チャンネル」を「固定 (COMPUTER IN 1)」に設定する場合は、メイン機の **COMPUTER IN1 / 2** 端子に映像信号を入力し、メイン機の **MONITOR OUT** 端子とサブ機の **COMPUTER IN1** 端子を接続してください。メイン機に入力された信号は、メイン機の **MONITOR OUT** 端子から出力され、サブ機の **COMPUTER IN1** 端子に入力されます。「サブ入力チャンネル」を「固定 (COMPUTER IN 1)」に設定すると、メイン機での「モニターアウト」(☞2-18)の設定は無効になります。
- 「サブ入力チャンネル」を「固定 (COMPUTER IN 1)」に設定すると、メイン機の **COMPUTER IN1 / 2** 端子 (とサブ機の **COMPUTER IN1** 端子) にビデオ信号を入力できるようになります。**COMPUTER IN1 / 2** 端子にビデオ信号を入力する場合は、「入力」メニューの「ビデオフォーマット」(☞2-13)および「COMPUTER-イン」(☞2-14)でビデオ信号について設定してください。

連結モードのメニューを終了する

連結モードのメニュー操作を終了する前に、「スタック」メニューの全ての設定を確認して下さい。「スタック」メニュー内の各ダイアログは、カーソルボタン◀を押して「スタック」メニューへ戻ることができます。以下を参考に連結モードのメニュー操作を終了してください。

「スタック」メニュー

各設定を変更した後にカーソルボタン◀（「戻る」機能として動作）を押すと、確認ダイアログが表示されます。

- カーソルボタン◀（「はい」機能として動作）を押すと、設定を保存し、ダイアログを閉じます。設定が更新される間、一旦黒画面になります。しばらくお待ちください。
- カーソルボタン◀（「いいえ」機能として動作）を押すと、設定を保存せずに「通信設定」(☰2-31)へ戻ります。



「スタック」メニューより呼び出されたダイアログ

各設定を変更した後にカーソルボタン◀（終了機能として動作）を押すと、確認ダイアログが表示されます。

- カーソルボタン◀（はい機能として動作）を押すと、設定を保存し、ダイアログを閉じます。設定が更新される間、一旦黒画面になります。しばらくお待ちください。
- カーソルボタン◀（いいえ機能として動作）を押すと、設定を保存せずにダイアログを閉じます。



連結モードの重要なお知らせ

ここではメイン機およびサブ機を設定するにあたり、メニュー操作の説明以外の重要な情報を記載しています。よくお読みになり、連結モードをご使用ください。

- 連結モードでご使用になるには、片方のプロジェクターをメイン機に設定し、もう片方のプロジェクターをサブ機に設定する必要があります。
- 重ねて使用する場合、必ず下側のプロジェクターをサブ機に、上側のプロジェクターをメイン機に設定してください。下側のプロジェクターをメイン機に設定すると、上側のプロジェクターで操作パネルを操作できなくなり、また、インジケータの表示も見えなくなってしまいます。
- 連結モード設定が完了すると、サブ機は、操作パネルの点灯 / 消灯ボタン以外は直接操作できなくなります。サブ機の操作はメイン機の操作パネルを使用して行います。リモコンもメイン機に向けて操作してください。
- サブ機の操作パネルの点灯 / 消灯ボタンでは、メイン機、サブ機共点灯させることはできません。また、サブ機の操作パネルの点灯 / 消灯ボタンでランプを消灯させるには、3 秒以上押し続けてください。本操作により、メイン機、サブ機ともにランプを消灯します。
- メイン機はリモコンで操作することができますが、サブ機はリモコンで操作できないため、リモコンはメイン機に向けて操作してください。
- 簡易マウス / キーボード機能を使用する場合は、メイン機とサブ機両方の **USB TYPE B** 端子を、コンピュータの **USB(A)** 端子に接続してください。
- 連結モードでご使用になる場合は、「オートサーチ」(☞2-25) 機能は無効になります。
- サブ機をネットワークに接続しても、Web コントロールでサブ機の電源を入れることはできません。また、Web コントロールのリモートコントロール(☞3-36)でサブ機は操作できません。
- メッセージ機能(☞3-48)で、優先度の高いテキストデータを、強制的に電源を入れて表示しようとする時、連結モードが強制解除され、メッセージテキストを表示します。もう一度連結モードに設定するには、「スタックモード」でメイン機を「メイン」に設定し直すか、いったん2台共電源を切って、電源を入れ直してください。
- 連結モード設定が完了すると、以下の設定・操作が共通になります。
 - 消音機能、および画面の拡大機能
 - 「アスペクト」(☞2-9)、「オーバースキャン」(☞2-9)、「COMPUTER-イン」(☞2-14)、「メッセージ」(☞2-22)、「マイボタン」(☞2-28)、「テンプレート」(☞2-23)
- 連結モード設定が完了すると、以下の機能は無効になります。
 - 「オートキーストン」(☞2-16)
 - 「オートサーチ」(☞2-25)
 - 「マイソース」(☞2-29)
 - 「オートパワーオフ」(☞2-26)
 - 「クローニング」(☞2-35, 36)
 - 「スタンバイモード」(☞2-18)
 - 「ダイレクトパワーオン」(☞2-25)
 - 「通信タイプ」(☞2-32)
- 連結モードでは、**LAN** 端子、**USB TYPE A** / **B** 端子からの映像信号を選択できません。
- 連結モードで使用中に、何らかのエラーが起きると、アイコン付のメッセージが画面に表示されます。このメッセージは、約 20 秒間何もボタン操作が無ければ、小さなアイコンダイアログに変化します。アイコンダイアログが表示されているときにカーソルボタン◀を押すと、元のメッセージダイアログが表示されます。アイコンに添えられた番号、「1」はメイン機、「2」はサブ機を示します。メッセージが表示されたら、次ページの表に従って処置してください。処置後も同じメッセージが表示されたり、下表に記載されていないメッセージが表示された場合は、販売店にご相談ください。



大きいダイアログ



小さいダイアログ

連結モードの重要なお知らせ(つづき)

メッセージ	説明
 カバーエラー	ランプカバーがきちんと装着されていません。ランプカバーを装着し直してください。
 ファンエラー	冷却ファンが動作していません。
 ランプエラー	ランプが点灯しません。 ランプ、および本機内部が高温になっている可能性があります。
 温度エラー	本機内部が高温になっています。
 エアフローエラー	本機内部の温度が上がっています。 通風口の周囲に障害物がないか確認し、エアフィルターをお手入れしてください
 低温エラー	本機の内部温度が低すぎます。
 フィルターエラー	エアフィルターの使用時間が「フィルター掃除通知」(☞2-30)での通知設定時間を超えました。

- 何らかの理由でプロジェクターの電源ケーブルを抜く、あるいはテーブルタップのスイッチなどで電源を切るときは、次に電源を入れたときに正しく連結モードで起動させるため、片方だけでなく、2 台両方の電源を切ってください。
- 2 台のプロジェクターにセキュリティ(暗証コードロック機能(☞2-51, 52)、状態監視機能(☞2-52, 53))が設定されている場合、2 台共電源が入ります。メイン機のパスワードまたは暗証コードを入力した後にサブ機のパスワードまたは暗証コードを入力してください。「交互点灯」モードが選択されている場合、片方のプロジェクターの電源が切れます。
- 片方のプロジェクターにのみセキュリティ(暗証コードロック機能(☞2-51, 52)、状態監視機能(☞2-52, 53))が設定されている場合、電源を入れた際に以下に従いパスワードまたは暗証コードを入力してください。
 - 「同時点灯」モードの場合、2 台共電源が入ります。セキュリティを設定しているプロジェクターのパスワードまたは暗証コード入力してください。
 - 「交互点灯」モードの場合、セキュリティを設定しているプロジェクターの電源が入るときは、1 台のみ電源が入り、パスワードまたは暗証コードを確認するダイアログが表示されます。セキュリティを設定していない方のプロジェクターの電源が入るときは、いったん2 台共電源が入り、パスワードまたは暗証コードを確認するダイアログが表示され、入力すると片方のみ電源が切れます。

ケーブルを接続する

2台のプロジェクターの画面を重ねるためには、メイン機とサブ機に同じ信号を入力する必要があります。ここでは信号の入力方法について説明します。必要に応じて方法を選択してください。

お知らせ

- 単体モードでご使用になる場合、メイン機およびサブ機の設定がないため、以下ではメイン機を片方のプロジェクター、サブ機をもう片方のプロジェクターとしてお読みください。
- プロジェクターへのケーブルの接続については「他の機器に接続する」(☞1-21 ~ 25)を、入出力端子の仕様については「入出力信号端子」(☞4-4 ~ 8)をご参照ください。

RS-232C ケーブルを接続する

連結モードでご使用になる場合、2台のプロジェクターの **CONTROL** 端子をRS-232C(クロス)ケーブルで接続してください。(☞2-81) 単体モードでご使用の場合はこの接続は必要ありません。

お知らせ

- 連結モードで使用中にメイン機とサブ機を接続するRS-232C ケーブルが外れてしまうと、自動的に単体モードに切り替わります。再度連結モードに設定するには、ケーブルを外したまま10秒以上置いてから、いったん2台の電源を切って冷まし、再度RS-232C ケーブルを接続して電源を入れてください。

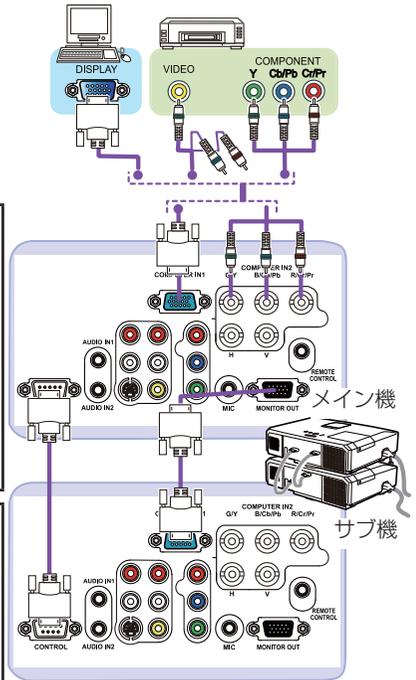
信号ケーブルを接続する

サブ機へ信号を入力するには、下記2つの方法があります。

- メイン機の **MONITOR OUT** 端子からサブ機へ信号を入力する。
- 2 台にそれぞれ同じ信号を入力する。

メイン機からサブ機へ信号を入力する

1. メイン機の **MONITOR OUT** 端子とサブ機の **COMPUTER IN1** 端子をケーブルで接続してください。
2. 映像信号を出力する外部機器をメイン機の入力端子のいずれかに接続してください。



連結モードの接続例

お知らせ 連結モードの場合

- 連結モードでは、メイン機の **COMPUTER IN1 / 2** 端子のみ入力端子として使用できます。他の端子は映像信号入力端子としては使用できません。
- コンポーネントビデオ信号を **COMPUTER IN1 / 2** 端子に入力することができます。
- ビデオ信号は、**COMPUTER IN 1 / 2** の **Y** 端子に入力してください。

お知らせ 単体モードの場合

- **MONITOR OUT** 端子からは **COMPUTER IN1 / 2** 端子から入力された映像信号のみ出力できます。他の入力端子を使用する場合は、2台のプロジェクターにそれぞれ映像信号を入力してください。

メイン機とサブ機へそれぞれ信号を入力する

1. 信号分配器などを使用して映像機器の出力信号を2つに分配してください。
2. 映像機器の出力をメイン機およびサブ機と同じ入力端子へ接続して下さい。

お知らせ 連結モードの場合

- 連結モードでは、**LAN** 端子、**USB TYPE A / B** 端子をメイン機の入力端子として使用することはできません。

お知らせ 単体モードの場合

- 全ての入力端子を使用することができます。

メニューを使って入力端子の設定をする

メニュー操作の準備

単体モードでご使用になる場合、リモコンの**コンピュータ**ボタンまたは**ビデオ**ボタンか、操作パネルの**入力切替**ボタンを押すと、ケーブルを接続する端子を選択することができます。モニターアウトの設定については「設置」メニューの「モニターアウト」(☞2-18)をご参照ください。

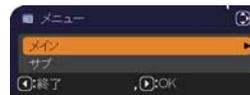
単体モードをご使用の場合の設定は終了です。

連結モードでご使用になる場合、連結モードのメニュー操作に関する全ての設定と変更はメイン機で行ってください。メイン機は連結モードの入力設定に従って動作します。

メイン機の動作状態を確認する

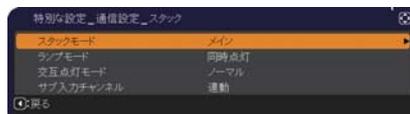
連結モードでご使用になる場合、連結モードのメニュー操作に関する全ての設定と変更はメイン機で行ってください。連結モードのメニューを操作する前に、メイン機が動作していることを確認してください。

1. リモコンの**メニュー**ボタンを押してください。
2. 右図のようなメニューダイアログが現れた場合は、2台のプロジェクトアークには「同時点灯」モードが設定されています。「メニューを設定する」(☞2-99)へ進んでください。



ダイアログが現れない場合、「ランプモード」は「交互点灯」に設定されており、メイン機またはサブ機のどちらかで動作しています。次へ進んでください。

3. カーソルボタン ▲ / ▼ / ◀ / ▶ で以下のメニューに進んでください。



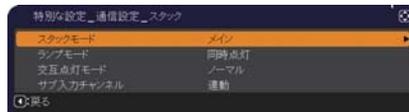
「詳細メニュー」-「その他」メニューの「特別な設定」-「通信設定」-「スタック」(☞2-33, 34)「スタック」メニューが表示されます。

4. 「スタック」メニューで「スタックモード」の設定を確認して下さい。
 - 「メイン」が表示されれば、メイン機として動作しています。「メニューを設定する」(☞2-99)へ進んでください。
 - 「サブ」が表示されれば、メイン機は電源が切れており、サブ機が動作しています。「メイン機の電源を入れる」(☞2-98)へ進んでください。

メイン機の電源を入れる

前頁の「メイン機の動作状態を確認する」を行った結果、2台のプロジェクターは「交互点灯」モードに設定されており、サブ機が動作している事が確認されました。連結モードの設定はメイン機が動作している場合でなければ変更できないため、ここではサブ機からメイン機への切り替え方法について説明します。

1. カーソルボタン ▲ / ▼ / ◀ / ▶ で以下のメニューに進んでください。
「詳細メニュー」-「その他」メニューの「特別な設定」-「通信設定」-「スタック」(☞2-33, 34)
「スタック」メニューが表示されます。



2. 「交互点灯モード」の設定を確認します。

「ノーマル」が表示された場合は、2台のプロジェクターは交互にランプを点灯させる動作になっています。1度電源を落とし、再度電源を入れると、次はメイン機のランプが点灯します。

- (1) メイン機のリモコンか操作パネルの**点灯 / 消灯**ボタンを押すと、サブ機の電源が切れます。
- (2) プロジェクターが冷えたら、再度電源を入れるために**点灯 / 消灯**ボタンを押してください。メイン機の電源が入ります。

「オート」が表示された場合は、ランプの使用時間が短い方のプロジェクターの電源が入ります。(☞2-27) そのため、メイン機の電源が入らない可能性があります。メイン機の電源を入れるためには以下を行ってください。

- (1) カーソルボタン ▲ / ▼ で「スタックモード」を選択し、カーソルボタン ▶ を押すと「スタックモード」ダイアログが表示されます。
- (2) カーソルボタン ▲ / ▼ で「オフ」を選択し、カーソルボタン ▶ を押して設定を終了してください。(☞2-92)
- (3) 上記手順を繰り返し、再度「スタックモード」ダイアログを表示してください。
- (4) カーソルボタン ▲ / ▼ で「サブ」を選択し、カーソルボタン ▶ を押して設定を終了してください。(☞2-92)
- (5) メニュー終了後、10秒以上お待ちください。
- (6) リモコンまたはメイン機の操作パネルの**点灯 / 消灯**ボタンを押すと、サブ機の電源が切れます。
- (7) プロジェクターが冷えたら、再度電源を入れるために**点灯 / 消灯**ボタンを押してください。「ランプモード」が「オート」に設定されている場合でも、メイン機の電源が入ります。

3. メイン機が動作しているため、連結モードの設定を変更することができます。「メニューを設定する」(☞2-99)へ進んでください。

お知らせ

- 何らかのエラーが原因でメイン機の電源が入らない場合、上記の手順を行った場合でもサブ機の電源が入ることがあります。メイン機のエラーを解決した後、連結モードの設定を変更してください。

メニューを設定する

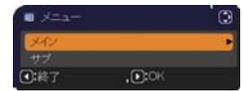
連結モードでご使用になる場合は、以下をお読みください。

メイン機を経由してサブ機へ映像信号を入力する場合、コンピューター信号とビデオ信号（コンポジットビデオ信号またはビデオ信号）の場合で操作が異なります。

メイン機からサブ機へ映像信号を入力する - コンピューター信号

1. 「スタック」メニューが既に表示されている場合は手順3へ進んでください。

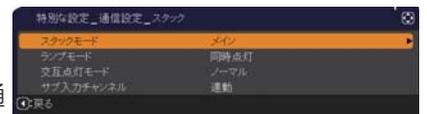
表示されていない場合はリモコンの**メニュー**ボタンを押してください。「メニュー」ダイアログが表示されたら、カーソルボタン▲/▼で「メイン」を選択し、カーソルボタン▶を押してください。メニューが表示されます。「メニュー」ダイアログが表示されない場合、「スタック」メニューが表示されます。



2. カーソルボタン▲/▼/◀/▶で以下のメニューに進んでください。

「詳細メニュー」 - 「その他」メニューの「特別な設定」 - 「通信設定」 - 「スタック」 (☞2-33, 34)

「スタック」メニューが表示されます。

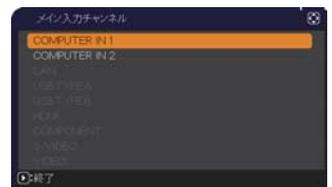


3. カーソルボタン▲/▼で「サブ入力チャンネル」を選択し、カーソルボタン▶を押して「サブ入力チャンネル」ダイアログを表示させてください。



4. カーソルボタン▲/▼で「固定 (COMPUTER IN 1)」を選択し、カーソルボタン▶を押して設定を終了してください。(☞2-92)

5. リモコンの**コンピュータ**ボタンまたは**ビデオ**ボタンか、メイン機の操作パネルの**入力切替**ボタンを押すと、「メイン入力チャンネル」ダイアログが表示されます。カーソルボタン▲/▼で信号を入力する端子を選択し、カーソルボタン▶を押して設定を終了させてください。



お知らせ

- 「サブ入力チャンネル」を「固定 (COMPUTER IN 1)」に設定すると、「モニターアウト」(☞2-18)の設定は無効になります。
- 「サブ入力チャンネル」を「固定 (COMPUTER IN 1)」に設定すると、**COMPUTER IN1 / IN2** 端子からの映像信号しか選択できなくなります。
- 「サブ入力チャンネル」を「固定 (COMPUTER IN 1)」に設定すると、リモコンの入力端子を選択するボタン、またはメイン機の**入力切替**ボタンが押された場合、入力信号を選択するダイアログが表示されます。

メイン機からサブ機へ映像信号を入力する

-ビデオ信号（コンポーネントビデオ信号またはビデオ信号）

1. 「スタック」メニューが既に表示されている場合は手順3へ進んでください。表示されていない場合はリモコンのメニューボタンを押してください。「メニュー」ダイアログが表示されたら、カーソルボタン▲/▼で「メイン」を選択し、カーソルボタン▶を押してください。メニューが表示されます。「メニュー」ダイアログが表示されない場合、「スタック」メニューが表示されます。

2. カーソルボタン ▲ / ▼ / ◀ / ▶ で「COMPUTER-イン」(図2-14)ダイアログを表示させてください。



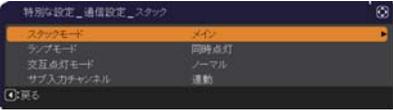
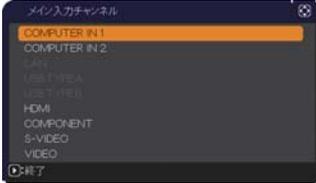
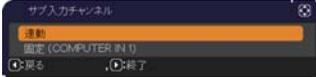
3. **COMPUTER IN1 / IN2** 端子へコンポーネントビデオ信号を入力する場合は、「オート」に設定してください。その後で、カーソルボタン ▲ / ▼ / ◀ / ▶ で「終了」を選択し、カーソルボタン ▶ を押して設定を終了させてください。**COMPUTER IN1 / IN2** 端子へビデオ信号を入力する場合は、「VIDEO」に設定してください。ビデオフォーマットを設定する必要がある場合は、カーソルボタン ▲ / ▼ / ◀ / ▶ で「戻る」を選択し、カーソルボタン◀を押して「入力」メニューを表示させてください。ビデオフォーマットを設定する必要がなければ、カーソルボタン ▲ / ▼ / ◀ / ▶ で「終了」を選択し、カーソルボタン ▶ を押して設定を終了させてください。

4. 「入力」メニューの「ビデオフォーマット」を選択するため、「ビデオフォーマット」ダイアログを表示させてください。「オート」または入力するビデオ信号に適切なフォーマットを選択してください。



その後、カーソルボタン ▲ / ▼ / ◀ / ▶ で「終了」を選択し、カーソルボタン ▶ を押して設定を終了させてください。

メイン機とサブ機へそれぞれ信号を入力する

1. 「スタック」メニューが既に表示されている場合は手順3へ進んでください。表示されていない場合はリモコンの**メニュー**ボタンを押してください。「メニュー」ダイアログが表示されたら、カーソルボタン▲/▼で「メイン」を選択し、カーソルボタン▶を押してください。メニューが表示されます。「メニュー」ダイアログが表示されない場合、「スタック」メニューが表示されます。
2. カーソルボタン▲/▼/◀/▶で以下のメニューに進んでください。
「詳細メニュー」-「その他」メニューの「特別な設定」-「通信設定」-「スタック」(☞2-33, 34)
「スタック」メニューが表示されます。
3. カーソルボタン▲/▼で「サブ入力チャンネル」を選択し、カーソルボタン▶を押して「サブ入力チャンネル」ダイアログを表示させてください。
4. カーソルボタン▲/▼で「連動」を選択し、カーソルボタン▶を押して設定を終了してください。(☞2-92)
5. リモコンの**コンピュータ**ボタンまたは**ビデオ**ボタンか、メイン機の操作パネルの**入力切替**ボタンを押すと、「メイン入力チャンネル」ダイアログが表示されます。カーソルボタン▲/▼で信号を入力する端子を選択し、カーソルボタン▶を押して設定を終了させてください。

お知らせ

- 「サブ入力チャンネル」で「連動」を選択した場合、メイン機またはサブ機の入力端子はもう片方のプロジェクターと同じ端子に自動的に設定されます。
- 「サブ入力チャンネル」で「連動」を選択した場合、LAN 端子、USB TYPE A / B 端子は選択できません。
- 「サブ入力チャンネル」で「連動」を選択した場合、リモコンの入力端子を選択するボタン、またはメイン機の**入力切替**ボタンが押されると、入力信号を選択するダイアログが表示されます。

スケジュール機能の制限について

連結モードで使用中は、以下のように Web コントロールで登録、実行するスケジュール機能が、一部制限を受けます。コマンドの内容については、「4.1.7 スケジュール設定」(P.3-25, 26)をご参照ください。単体モードの場合、制限はありません。

連結モードおよび単体モードのどちらをご使用の場合でも、使用前にスケジュール設定をご確認ください。スタック機能を使用することで設定が変更されていることがあります。

連結モードに関する制限については下表をご覧ください。単体モードをご使用の場合は、本章を読んで頂く必要はありません。

メイン機の制限

機能			ランプモード			
			同時点灯	交互点灯		同時点灯／ 交互点灯
	電源状態	メイン機 サブ機	オン	オン	オフ	オフ
電源 オン			✓	✓	✓	✓
電源 オフ			✓	✓	✓	✓
入力ソース			✓*1)	✓*1)	✓*1)	✓*1)
マイ イメージ			✓	✓	X*2)	X*2)
メッセージャー			✓	✓	X*2)	X*2)
スライドショー			X*3)	X*3)	X*3)	X*3)

サブ機の制限

機能			ランプモード			
			同時点灯	交互点灯		同時点灯／ 交互点灯
	電源状態	メイン機 サブ機	オン	オン	オフ	オフ
電源 オン			X*3)	X*3)	X*3)	X*3)
電源 オフ			✓	✓	✓	✓
入力ソース			✓*1)	✓*1)	✓*1)	✓*1)
マイ イメージ			✓	X*2)	✓	X*2)
メッセージャー			✓	X*2)	✓	X*2)
スライドショー			X*3)	X*3)	X*3)	X*3)

✓: 連結モード動作中でも Web コントロールで登録、実行することができます。

✓*1): 連結モード動作中でも Web コントロールで登録することができます。スケジュール機能によって切り替える端子が選択可能であれば、スケジュールは実行されます。選択不可である場合はスケジュールは実行されません。

(「サブ入力チャンネル」(P.2-34)を「連動」に設定している場合は、**COMPUTERIN1 / IN2** 端子、**HDMI** 端子、**COMPONENT** 端子、**S-VIDEO** 端子と **VIDEO** 端子、「固定」に設定している場合は、**COMPUTERIN1 / IN2** 端子のみ選択可能です。)

X*2): 連結モード動作中でも、Web コントロールでの登録はできますが、実行はできません。

X*3): 連結モード動作中は、登録も実行もできません。

お知らせ

- スケジュールが実行できなかった場合は、エラーの自動通知が設定されていれば、スケジュール実行エラーが通知されます (☞3-23)。
- メイン機かサブ機で電源 オフのコマンドが実行されると、2 台共の電源が切れます。
- メイン機で電源オンのコマンドが実行されると、「ランプモード」(☞2-34) の設定に従って 2 台とも、あるいはどちらかのみ電源が入ります。
- 「同時点灯」モードで使用し、どちらかのプロジェクターのメニュー画面を表示していると、もう片方のプロジェクターでは、マイ イメージ、およびメッセージのコマンドは実行されません。
- 表中の「電源オフ」は、連結モードの設定に従って、リモコンまたはメイン機の操作パネルの**点灯 / 消灯**ボタンを押したときにランプを消灯してスタンバイ状態になることを示します。
- 連結モードではサブ機のスケジュール機能を使って電源オンすることはできません。必要であればメイン機のスケジュールに電源オンのイベントを登録してください。
- 「交互点灯モード」でサブ機の電源が切れている間に、サブ機の電源オフのコマンドが実行されても、スケジュール実行エラーは発生しません。

故障かなと思ったら

以下のような現象は故障ではない場合があります。

修理をご依頼になるまえに、下表に従ってご確認のうえ、必要に応じて処置してください。

処置後も現象が改善しない場合は販売店またはお客様ご相談窓口 (☎4-43) にご相談ください。

故障と間違いやすい現象

現象	確認内容	参照頁
連結モードが正しく動作しない	<p>メイン機およびサブ機の電源コードは正しく接続されていますか？ 電源コードの接続状態を確認し、正しく接続してください。 連結モードでご使用になる場合、メイン機およびサブ機の両方に電源を供給する必要があります。どちらか片方にしか電源が供給されていない場合、連結モードは動作しません。</p>	☎1-30
	<p>メイン機およびサブ機に RS-232C ケーブルは正しく接続されていますか？ RS-232C ケーブルの接続状態を確認し、正しく接続してください。 連結モードでご使用になる場合、メイン機およびサブ機を RS-232C クロスケーブルで接続する必要があります。RS-232C ケーブルが接続されていない場合、メイン機はサブ機を制御できません。</p>	☎2-81
	<p>連結モードのメニュー設定は正しくされていますか？ メイン機とサブ機の「スタック」メニューの設定を確認してください。 連結モードでご使用になる場合、片方のプロジェクターをメイン機に設定し、もう片方をサブ機に設定する必要があります。</p>	☎2-87
	<p>信号ケーブルが正しく接続されていますか？ ケーブルの接続、およびメニューの端子設定が正しくされているかを確認してください。</p>	☎2-99 ~ 101 ☎1-21 ~ 25
メイン機とサブ機が同時に動作しない。	<p>メイン機およびサブ機に RS-232C ケーブルは正しく接続されていますか？ RS-232C ケーブルを正しく接続し、メイン機の電源を再度入れてください。</p>	☎2-81
「スタック」メニューが選択できない	<p>メイン機およびサブ機に連結モードの設定はされていますか？ メイン機およびサブ機において、以下の設定を確認してください。 - 「設置」メニューの「スタンバイモード」(☎2-18) を「通常」に設定する。 - 「その他」メニューの「特別な設定」- 「通信設定」- 「通信タイプ」(☎2-32) を「オフ」に設定する。 - 「セキュリティ」メニューの「スタックロック」(☎2-56) を「オフ」に設定する。</p>	☎2-78
リモコンを使ってプロジェクターを操作できない	<p>サブ機に向けてリモコン操作をしていませんか？ 連結モードでは、メイン機のみリモコン信号受信が可能です。 リモコンを使用する場合はメイン機に向けて使用してください。</p>	☎2-77
2台のプロジェクターの画像のフォーカス(焦点)が合わない、またはうまく重ならない	<p>2台のプロジェクターの画像が正しく重なっていません。 ズームリング、レンズシフトダイヤル(垂直)、レンズシフトダイヤル(水平)、またはフォーカスリングを調節してください。 必要であれば「コーナーフिट」および「キーストン」を調節してください。</p>	☎2-79, 80 ☎2-84

現象	確認内容	参照頁
微調整をしても2台のプロジェクターからの画像が重ならない	<p>2台の画像の調節で異なっている点はありませんか？</p> <p>問題解決のために以下の方法を試してみてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> - リモコンのオートボタンを押すか、それぞれのプロジェクターで「オートアジャスト実行」を行い、画面の自動調整をしてください。 - それぞれのプロジェクターの「垂直位置」および「水平位置」を調節してください。 - 「入力」メニューの「解像度」を確認し、メイン機とサブ機で異なっている場合は同じ設定にしてください。 	<p>📖2-11</p> <p>📖2-10</p> <p>📖2-15</p>